



慶應義塾大学病院
病院年報

2023 年度

Keio University Hospital

Annual Report 2023

慶應義塾大学病院の理念

患者さんに優しく患者さんに信頼される

患者さん中心の医療を行います

先進的医療を開発し質の高い安全な医療を提供します

豊かな人間性と深い知性を有する医療人を育成します

人権を尊重した医学と医療を通して人類の福祉に貢献します

理 念 実 施 方 針

1. 患者さんの立場で

私たちは、患者さんの立場になって考え、ともに疾病の克服に努めます。

2. 質の高い安全な医療

私たちは、質の高い安全な医療を持続できるよう努めます。

3. 不断の自己点検

私たちは、不断の自己点検と評価によって、病院機能の改善に努めます。

4. 独立自尊の医療人

私たちは、独立した一個人として責任をもって社会的使命を果たします。

5. 総合的なチーム医療

私たちは、各職種が一体となった総合的なチーム医療を展開します。

6. 新しい医療

私たちは、基礎と臨床が一体となって、積極的に新しい医療に挑戦します。

7. 倫理と人権

私たちは、高い倫理性を持って、人権を尊重した医療を推進します。

目 次

I. 概要

病院概要	2
沿革	9
組織の構成	13
教職員数	14
財務	15

II. 病院としての取り組み

2023 年度の主な取り組みと出来事	17
--------------------------	----

III. 統計・実績

外来患者数（科別）	21
救急外来患者数（科別）	23
入院患者延数（科別）	24
入院患者延数（病棟別）・病床稼働率	25
新入院・退院・死亡・在院患者延数・平均在院日数	25
分娩件数・出生児数・死産児数	26
手術件数（科別）	26
手術全身麻酔件数（科別）	27
薬剤・輸血関連実績	28
画像・検体・生理機能検査実績	28
公開講座・講演会・セミナー	28

IV. 診療科・部門の活動

<診療科部門>

呼吸器内科	52
循環器内科	52
消化器内科	54
腎臓・内分泌・代謝内科	55
神経内科	57
血液内科	57
リウマチ・膠原病内科	58
総合診療科	59

一般・消化器外科.....	59
呼吸器外科	61
心臓血管外科.....	62
脳神経外科	63
小児外科	64
整形外科	65
リハビリテーション科	65
形成外科	66
小児科.....	67
産科	68
婦人科.....	69
眼科	69
皮膚科.....	70
泌尿器科	71
耳鼻咽喉科・頭頸部外科.....	72
精神・神経科.....	73
放射線治療科.....	74
放射線診断科.....	74
麻酔科.....	75
救急科.....	76
歯科・口腔外科	76
臨床検査科	77
病理診断科	79

<診療施設部門>

スポーツ医学総合センター	79
内視鏡センター	80
腫瘍センター.....	81
漢方医学センター	82
血液浄化・透析センター	83
臨床感染症センター（感染症外来）	83
免疫統括医療センター	84
臨床遺伝学センター.....	85
緩和ケアセンター	86
救急センター.....	86

手術・血管造影センター	87
集中治療センター	88
輸血・細胞療法センター	88
予防医療センター	89
<診療支援部門>	
看護部.....	90
薬剤部.....	91
滅菌管理部	93
食養管理室	93
医用工学室	95
放射線技術室.....	96
臨床検査技術室	97
<臨床研究・教育部門>	
臨床研究推進センター	98
臨床研究監理センター	99
卒後臨床研修センター	101
<管理部門>	
医療安全管理部	101
感染制御部	102
病院情報システム部.....	104
患者総合相談部	104
医療連携推進部	106
放射線安全管理室	108
医療保険指導部	109
国際診療部	109
<病院事務局>	
経営企画室	110
医事統括室	111
秘書課.....	112
総務課.....	112
人事課.....	113
管財課.....	114
経理課.....	115
キャリア開発室	115
学術研究支援課	116
調達会計課	117

I 概要

■ 病院概要

(2023 年 10 月 1 日時点)

名称	慶應義塾大学病院	
所在地	〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35 番地 TEL (03)3353-1211 (代表)	
病院長	松本 守雄	
副病院長	志水 秀行／陣崎 雅弘／佐々木 淳一／福永 興彦／金子 祐子／内田 裕之	
病院長補佐	藤澤 大介／鳴海 覚志／朝倉 啓介	
診療科	○内科（呼吸器、循環器、消化器、腎臓・内分泌・代謝、神経、血液、リウマチ・膠原病）○外科（一般・消化器、呼吸器、心臓血管）○脳神経外科○小児外科 ○整形外科○リハビリテーション科○形成外科○小児科○産科○婦人科○眼科○皮膚科○泌尿器科○耳鼻咽喉科○精神・神経科○放射線治療科○放射線診断科○麻酔科○救急科○歯科・口腔外科○総合診療科○臨床検査科○病理診断科	
許可病床数	950 床	
承認指定（法令等による医療機関の指定等）	○開設許可（承認）○特定機能病院○臨床研究中核病院○日本医療機能評価機構認定病院（一般病院 3）○東京都災害拠点病院○日本 DMAT 指定医療機関 地域周産期母子医療センター○地域がん診療連携拠点病院○エイズ中核拠点病院 ○臓器移植登録施設（肝臓、小腸、腎臓）○臨床修練指定病院（外国医師・外国歯科医師）○東京都アレルギー疾患医療専門病院○がんゲノム医療中核拠点病院○地域リハビリテーション支援センター○結核患者収容モデル事業実施病院○臨床研修病院（基幹型・協力型）○歯科医師臨床研修施設	
施設基準等	基本診療科	
	情報通信機器を用いた診療 医療 DX 推進体制整備加算 地域歯科診療支援病院歯科初診料 歯科外来診療環境体制加算 歯科外来診療感染対策加算 4 特定機能病院入院基本料 救急医療管理加算 超急性期脳卒中加算 診療録管理体制加算 3 医師事務作業補助体制加算 1 急性期看護補助体制加算 2 重症患者初期支援充実加算 褥瘡ハイリスク患者ケア加算	看護職員夜間配置加算 療養環境加算 無菌治療室管理加算 1、2 緩和ケア診療加算 精神科身体合併症管理加算 精神科リエゾンチーム加算 摂食障害入院医療管理加算 栄養サポートチーム加算 医療安全対策加算 1 感染対策向上加算 1 患者サポート体制充実加算 せん妄ハイリスク患者ケア加算 精神疾患診療体制加算

ハイリスク妊娠管理加算 ハイリスク分娩等管理加算 呼吸ケアチーム加算 術後疼痛管理チーム加算 病棟薬剤業務実施加算 1、2 データ提出加算 2 (200 床以上) 入退院支援加算 2 医療的ケア児（者）入院前支援加算 認知症ケア加算 1	精神科急性期医師配置加算 2 のイ 排尿自立支援加算 地域医療体制確保加算 地域歯科診療支援病院入院加算 特定集中治療室管理料 2、3 ハイケアユニット入院医療管理料 1 総合周産期特定集中治療室管理料 小児入院医療管理料 1
特掲診療科	
ウイルス疾患指導料 遠隔モニタリング加算（ペースメーカー指導管理料） 糖尿病合併症管理料 がん性疼痛緩和指導管理料 がん患者指導管理料イ・ロ・ハ・ニ 外来緩和ケア管理料 移植後患者指導管理料（臓器移植後）（造血幹細胞移植後） 糖尿病透析予防指導管理料 小児運動器疾患指導管理料 乳腺炎重症化予防ケア・指導料 婦人科特定疾患治療管理料 腎代替療法指導管理料 一般不妊治療管理料 生殖補助医療管理料 1 二次性骨折予防継続管理料 1、3 下肢創傷処置管理料 慢性腎臓病透析予防指導管理料 院内トリアージ実施料 救急搬送看護体制加算 1 外来放射線照射診療料 外来腫瘍化学療法診療料 1 連携充実加算（外来腫瘍化学療法診療料） がん薬物療法体制充実加算（外来腫瘍化学療法診療料） ニコチン依存症管理料 相談支援加算（療養・就労両立支援指導料） がん治療連携計画策定料 外来排尿自立指導料	脳波検査判断料 1 神経学的検査 補聴器適合検査 全視野精密網膜電図 ロービジョン検査判断料 コンタクトレンズ検査料 1 小児食物アレルギー負荷検査 内服・点滴誘発試験 経頸静脈的肝生検 センチネルリンパ節生検（片側） 有床義歯咀嚼機能検査、咀嚼能力検査及び咬合圧検査 精密触覚機能検査 画像診断管理加算 1、4 遠隔画像診断 ボジトロン断層撮影、ボジトロン断層・コンピューター断層複合撮影、ボジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影又は乳房用ボジトロン断層撮影 ボジトロン断層・コンピューター断層複合撮影（アミロイド PET イメージング剤を用いた場合に限る。） CT 撮影及び MRI 撮影 冠動脈 CT 撮影加算 血流予備量比コンピューター断層撮影 心臓 MRI 撮影加算 乳房 MRI 撮影加算 頭部 MRI 撮影加算 全身 MRI 撮影加算

ハイリスク妊産婦連携指導料 1 肝炎インターフェロン治療計画料 プログラム医療機器等指導管理料 薬剤管理指導料 医療機器安全管理料 1、2、歯科 精神科退院時共同指導料 1、2 歯科治療総合医療管理料 禁煙治療補助システム指導管理加算 遠隔モニタリング加算(在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料) 在宅腫瘍治療電場療法指導管理料 在宅経肛門的自己洗腸指導管理料 持続血糖測定器加算 遺伝学的検査 染色体検査の注 2 に規定する施設基準 骨髓微小残存病変量測定 BRCA1/2 遺伝子検査 がんゲノムプロファイリング検査 先天性代謝異常症検査 抗アデノ随伴ウイルス 9 型 (AAV9) 抗体 抗 HLA 抗体 (スクリーニング検査) 及び抗 HLA 抗体 (抗体特異性同定検査) HPV 核酸検出及び HPV 核酸検出 (簡易ジェノタイプ判定) ウイルス・細菌核酸多項目同時検出 ウイルス・細菌核酸多項目同時検出 (髄液) 検体検査管理加算 (I)、(IV) 国際標準検査管理加算 遺伝カウンセリング加算 遺伝性腫瘍カウンセリング加算 心臓カテーテル法による諸検査の血液内視鏡検査加算 時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト 胎児心エコー法 ヘッドアップティルト試験 皮下連続式グルコース測定 長期継続頭蓋内脳波検査 単線維筋電図 光トポグラフィー	肝エラストグラフィ加算 抗悪性腫瘍剤処方管理加算 外来化学療法加算 1 無菌製剤処理料 心大血管疾患リハビリテーション料 (I) 脳血管疾患等リハビリテーション料 (I) 運動器リハビリテーション料 (I) 呼吸器リハビリテーション料 (I) がん患者リハビリテーション料 リンパ浮腫複合的治療料 歯科口腔リハビリテーション料 2 経頭蓋磁気刺激療法 療養生活環境整備指導加算 (通院・在宅精神療法) 療養生活継続支援加算 (通院・在宅精神療法) 救急患者精神科継続支援料 認知療法・認知行動療法 1、2 精神科ショート・ケア (小規模なもの) 抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。) 医療保護入院等診療料 処置の休日加算 1、時間外加算 1 及び深夜加算 1 静脈圧迫処置 (慢性静脈不全に対するもの) 人工腎臓 透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算 導入期加算 3 及び腎代替療法実績加算 下肢末梢動脈疾患指導管理加算 移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法 ストーマ合併症加算 手術用顕微鏡加算 歯科技工士連携加算 1 及び光学印象歯科技工士連携加算 歯科技工士連携加算 2 光学印象 CAD/CAM 冠及び CAD/CAM インレー 有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算 皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ
---	--

緊急整復固定加算及び緊急挿入加算	節加算を算定する場合に限る。)
骨悪性腫瘍、類骨骨腫及び四肢軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法	皮膚移植術（死体）
骨移植術（軟骨移植術を含む。）（自家培養軟骨移植術に限る。）	組織拡張器による再建手術（一連につき）（乳房（再建手術）の場合に限る。）
後縦靱帯骨化症手術（前方進入によるもの）	処理骨再建加算
椎間板内酵素注入療法	腹腔鏡下噴門側胃切除術（単純切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合））及び腹
腫瘍脊椎骨全摘術	腔鏡下噴門側胃切除術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの））
緊急穿頭血腫除去術	腹腔鏡下胃全摘術（単純全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合））及び腹腔鏡下
脳腫瘍覚醒下マッピング加算	胃全摘術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの））
原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算	腹腔鏡下胃縮小術（スリーブ状によるもの）
内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
頭蓋骨形成手術（骨移動を伴うものに限る。）	腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術（胆嚢床切除を伴うもの）
脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うものに限る。）
癒着性脊髄くも膜炎手術（脊髄くも膜剥離操作を行うもの）	体外衝撃波胆石破碎術
仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術	腹腔鏡下肝切除術
角結膜悪性腫瘍切除手術	腹腔鏡下肝切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
治療的角膜切除術（エキシマレーザーによるもの（角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。））	移植用部分肝採取術（生体）（腹腔鏡によるもの）
角膜移植術（内皮移植加算）	生体部分肝移植術
羊膜移植術	同種死体肝移植術
緑内障手術（緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの））	体外衝撃波腓石破碎術
緑内障手術（流出路再建術（眼内法）及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術）	腹腔鏡下腓腫瘍摘出術及び腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
緑内障手術（濾過胞再建術（needle 法））	腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
網膜再建術	腹腔鏡下腓頭部腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
経外耳道の内視鏡下鼓室形成術	腹腔鏡下腓中央切除術
人工中耳植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	生体部分小腸移植術
内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型（拡大副鼻腔手術）及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍	同種死体小腸移植術
手術（頭蓋底郭清、再建を伴うもの）	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
鏡視下咽頭悪性腫瘍手術（経口蓋悪性腫瘍手術を含む。）	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
内喉頭筋内注入術（ボツリヌス毒素によるもの）	
鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	

鏡視下喉頭悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	内視鏡的小腸ポリープ切除術
上顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科診療以外の診療に係るものに限る。）	腹腔鏡下直腸切除・切断術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
下顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科診療以外の診療に係るものに限る。）	副腎腫瘍ラジオ波焼灼療法
上顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科診療に係るものに限る。）、下顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科診療に係るものに限る。）	体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
乳腺悪性腫瘍手術（乳がんセンチネルリンパ節加算1又は乳がんセンチネルリンパ節加算2を算定する場合に限る。）	腎腫瘍凝固・焼灼術（冷凍凝固によるもの）
乳腺悪性腫瘍手術（乳頭乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの）及び乳頭乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴うもの））	腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）	腎悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
胸腔鏡下拡大胸腺摘出術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	腹腔鏡下腎盂形成手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	同種死体腎移植術
胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	生体腎移植術
気管支バルブ留置術	膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術（経尿道）
胸腔鏡下肺切除術（区域切除及び肺葉切除又は1肺葉を超えるものに限る。）（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合）	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	尿道狭窄グラフト再建術
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（気管支形成を伴う肺切除）	人工尿道括約筋植込・置換術
肺悪性腫瘍及び胸腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法	膀胱頸部形成術（膀胱頸部吊上術以外）、埋没陰茎手術及び陰嚢水腫手術（鼠径部切開によるもの）
胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	精巣温存手術
内視鏡下筋層切開術	精巣内精子採取術
食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃・十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
	腹腔鏡下仙骨脛固定術
	腹腔鏡下仙骨脛固定術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
	腹腔鏡下腔式子宮全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る。）
	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮頸がんに限る。）
	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
	腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術

	視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、結腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腎（腎盂）腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、尿管腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膀胱腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）及び腔腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）胸腔鏡下弁形成術及び胸腔鏡下弁置換術胸腔鏡下弁形成術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）経カテーテル弁置換術（経心尖大動脈弁置換術及び経皮的動脈弁置換術）経カテーテル弁置換術（経皮的肺動脈弁置換術）経皮的僧帽弁クリップ術胸腔鏡下心房中隔欠損閉鎖術不整脈手術 左心耳閉鎖術（胸腔鏡下によるもの）不整脈手術（左心耳閉鎖術（経カテーテルの手術によるもの）に限る。）経皮的中隔心筋焼灼術ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術両心室ペースメーカー移植術及び両心室 ペースメーカー交換術植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極除去術両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術大動脈バルーンパンピング法（IABP 法）経皮的循環補助法（ポンプカテーテルを用いたもの）補助人工心臓経皮の下肢動脈形成術腹腔鏡下リンパ節群郭清術（側方）（傍大動脈）骨盤内悪性腫瘍及び腹腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法内視鏡的逆流防止粘膜切除術腹腔鏡下十二指腸弓切除術（内視鏡処置を併施するもの）腹腔鏡下胃切除術（単純切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合））及び腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの））	胎児胸腔・羊水腔シャント術胎児輸血術体外式膜型人工肺管理料手術の休日加算 1、時間外加算 1 及び深夜加算 1医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 19 に掲げる手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。）医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 19 に掲げる手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器摘出術に限る。）輸血管理料 Iコーディネート体制充実加算同種クリオプレシビート作製術人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算歯周組織再生誘導手術広範囲顎骨支持型装置埋入手術歯根端切除手術の注 3レーザー機器加算麻酔管理料（Ⅰ）、（Ⅱ）周術期薬剤管理加算放射線治療専任加算外来放射線治療加算高エネルギー放射線治療1 回線量増加加算強度変調放射線治療（IMRT）画像誘導放射線治療（IGRT）体外照射呼吸性移動対策加算定位放射線治療定位放射線治療呼吸性移動対策加算画像誘導密封小線源治療加算保険医療機関間の連携による病理診断病理診断管理加算 2悪性腫瘍病理組織標本加算口腔病理診断管理加算 2クラウン・ブリッジ維持管理料看護職員処遇改善評価料
先進医療 (2023 年 7 月 1 日時点)	先進医療 A 抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子検査／悪性脳腫瘍	診療科 脳神経外科

	子宮内膜擦過術	産婦人科
	子宮内膜刺激術	産婦人科
	子宮内膜受容能検査 1	産婦人科
	子宮内細菌叢検査 1	産婦人科
	内視鏡的胃局所切除術	腫瘍センター
	先進医療 B	診療科
	腹腔鏡下センチネルリンパ節生検／早期胃がん※新規患者受入は終了	一般・消化器外科
	全身性エリテマトーデスに対する初回副腎皮質ホルモン治療におけるクロピドグレル硫酸塩、ピタバスタチンカルシウム及びトコフェロール酢酸エステル併用投与の大腿骨頭壊死発症抑制療法／全身性エリテマトーデス（初回の副腎皮質ホルモン治療を行っている者に係るものに限る。）	リウマチ・膠原病 内科
	テモゾロミド用量強化療法／膠芽腫（初発時の初期治療後に再発又は増悪したものに限る。）	脳神経外科
	反復経頭蓋磁気刺激療法／薬物療法に反応しない双極性障害の抑うつエピソード	精神・神経科
	イマチニブ経口投与及びベムプロリズマブ静脈内投与の併用療法／進行期悪性黒色腫（KIT 遺伝子変異を有するものであって、従来の治療法に抵抗性を有するものに限る。）	皮膚科
	抗腫瘍自己リンパ球移入療法／子宮頸癌（切除が不能と判断されたもの又は術後に再発したものであって、プラチナ製剤に抵抗性を有するものに限る。）	産婦人科
	ネシツムマブ静脈内投与療法／切除が不可能な E G F R 遺伝子増幅陽性固形がん（食道がん、胃がん、小腸がん、尿路上皮がん又は乳がんに限る。）	腫瘍センター
	生体肝移植術／切除が不可能な肝門部胆管がん	一般・消化器外科
患者申出療養	名称	診療科
	トラスツズマブ エムタンシン静脈内投与療法/乳房外パジェット病（HER2 が陽性であって、切除が困難な進行性のものであり、かつ、トラスツズマブ静脈内投与が行われたものに限る。）	皮膚科
	マルチプレックス遺伝子パネル検査による遺伝子プロファイリングに基づく分指標的治療（※通称 受け皿試験）/根治切除が不可能な進行固形がん（遺伝子プロファイリングにより、治療対象となる遺伝子異常が確認されたものに限る。）	腫瘍センター他
	経皮的胸部悪性腫瘍凍結融解壊死療法／肺悪性腫瘍、縦隔悪性腫瘍、胸膜悪性腫瘍又は胸壁悪性腫瘍	呼吸器外科

■ 沿革 ～慶應義塾大学医学部・病院のあゆみ～

1835 年	福澤諭吉、大阪中津藩蔵屋敷で誕生	
		福澤諭吉
1855 年	福澤諭吉、緒方洪庵の適塾に入門	
1858 年	慶應義塾開塾 江戸築地鉄砲洲に蘭学塾を開く	
1860 年	福澤諭吉、はじめての外遊 咸臨丸で渡米	
1862 年	福澤諭吉、遣欧使節として欧州各国を巡歴	
1868 年	慶應義塾と命名	
1871 年	慶應義塾、三田に移転	
1873 年	三田山上に「慶應義塾医学所」設立（～1880 年）	
1890 年	大学部を発足し、文学・理財・法律 3 科を設置	
1892 年	北里柴三郎博士を所長とする伝染病研究所設立	
		北里柴三郎博士
1893 年	北里柴三郎博士、土筆ヶ岡養生園設立	
1901 年	2 月 3 日、福澤諭吉逝去	
1917 年	慶應義塾大学部医学科開設 4 月、医学科予科の授業を三田山上で開始 11 月、四谷区信濃町の陸軍用地を購入	
1918 年	医学科附属看護婦養成所開設（～2000 年）	
1920 年	4 月、文学・経済学・法学・医学の 4 学部からなる総合大学へ 11 月 6 日、医学部開校ならびに大学病院開院式 11 月 8 日、慶應医学会第一回総会開催 翌大正 10（1921）年『慶應医学』創刊	

	   大学病院開院式 開院当時の病院全景 開院当時の病院玄関内部
1922 年	医学部附属産婆養成所開設
1923 年	関東大震災（火災にあった病院の救済・診療を支援。32 万 4 千人以上の患者を診療）
1924 年	大学病院特別病棟竣工
1926 年	食養研究所設立（～1990 年）
1928 年	多磨墓地に医学研究に献体されたご遺体を葬り冥福を祈るための納骨堂建設 第一回の解剖諸霊供養法会を芝増上寺で開催
1929 年	ロックフェラー財団寄付により、予防医学校舎竣工
1932 年	新赤倉温泉の地に三四会、赤倉山荘建設 （昭和 35（1960）年焼失、平成 6（1994）年再建） 病院別館竣工 （鉄筋コンクリート地下 1 階地上 4 階建、219 病床）
1934 年	福澤諭吉生誕 100 年ならびに日吉開校記念祝賀会開催
1936 年	日吉第二校舎竣工、日吉キャンパスで医学部教育開始
1937 年	北里記念医学図書館竣工 特殊薬化学研究所設立
1941 年	月ヶ瀬温泉治療学研究所開設 昭和 33（1958）年狩野川台風により流失、同年廃止
1944 年	軍医不足という社会的要請を受け大学附属医学専門部 を開設し、463 名の人材を輩出（～1951 年）
1945 年	5 月 24 日、空襲により医学部・病院施設の約 6 割焼失 8 月 15 日、終戦
1946 年	基礎医学教室、武蔵野分校へ移転（～1956 年春）
1948 年	病院本館竣工（戦後最大の木造建築 2 階建、153 病床）   病院本館玄関 病院本館受付
1950 年	エール大学ロング教授らを招聘し、CPC（臨床・病理症例検討会）開始 電子顕微鏡研究室開室

	医学部附属厚生女子学院開設
1952 年	新制大学医学部発足 “The Keio Journal of Medicine”創刊 北里柴三郎博士生誕 100 年 三四会より第一回北里賞授与
1955 年	進学課程 2 年、専門課程 4 年の戦後の医学教育体系確立
1956 年	大学院医学研究科（博士課程）設置
1958 年	慶應義塾創立 100 年記念式典
1961 年	米国チャイナ・メディカル・ボードの寄付を受け、基礎 医学第二校舎竣工
1963 年	病院中央棟竣工
1965 年	病院 1 号棟竣工 「財団法人慶應がんセンター」発足（～2002 年）
1967 年	医学部創立 50 周年記念式 医学部創立 50 周年記念式
1969 年	「医学部改革委員会」設置、臨床講堂竣工
1970 年	「財団法人慶應健康相談センター」発足（～2008 年）
1972 年	北里記念医学図書館（1971 年より医学情報センター）の情報サービス部門を独立、「財団法人国際医学情報センター」発足
1973 年	病院ボランティア導入（日本病院ボランティア協会に入会）
1974 年	三重県伊勢市の病院の寄付を受け、慶應義塾大学伊勢慶應病院を開院（～2003 年）
1977 年	月が瀬リハビリテーション・センター開設（～2011 年）
1979 年	医学部共同利用 R.I（. ラジオアイソトープ）研究棟竣工
1983 年	慶應義塾創立 125 年記念式典
1984 年	米国医科大学での学生臨床研修開始
1986 年	大学病院新棟（現 2 号館）竣工 大学病院新棟開院当時の病院全景 大学病院正面玄関

1988 年	看護短期大学開設（～2000 年）
1990 年	第一回自主学習成果発表会
1994 年	特定機能病院として認定 大学院医学研究科（修士課程）設置
1996 年	医学部新教育研究棟竣工 坂口光洋記念慶應義塾医学振興基金による第一回慶應医学賞授賞式および記念講演会開催
2001 年	看護医療学部開設 総合医科学研究棟竣工・リサーチパーク発足
2007 年	クリニカルリサーチセンター発足 「信濃町キャンパス改革・刷新プロジェクト」設置（～2008 年 3 月）
2008 年	共立薬科大学との合併により、薬学部開設 慶應義塾創立 150 年記念式典 臨床研究棟竣工
2010 年	3 号館（北棟）竣工
2011 年	東日本大震災、慶應義塾救援医療団派遣 医療系三学部（医看薬）による合同教育開始
2012 年	総合医療情報システム（電子カルテ）導入 3 号館（南棟）竣工・予防医療センター開設 3 号館（南棟）
2015 年	1 号館（Ⅰ期棟）竣工
2016 年	臨床研究中核病院として認定
2017 年	医学部開設 100 年 JSR・慶應義塾大学 医学化学イノベーションセンター（通称 JKIC）開所
2018 年	1 号館（Ⅱ期棟）竣工・1 号館開院 慶應看護 100 年
2020 年	大学病院開院 100 年
2022 年	大学病院グランドオープン
2023 年	大学病院予防医療センターが麻布台ヒルズに移転

■ 組織の構成

(2023 年 10 月 1 日現在)

病院執行部

病院長（管理者）	松 本 守 雄
副病院長	志 水 秀 行 陣 崎 雅 弘 佐々木 淳 一 福 永 興 壱 金 子 祐 子 内 田 裕 之
病院長補佐	藤 澤 大 介 鳴 海 覚 志 朝 倉 啓 介
病院事務局長	古 田 正
看護部長	加 藤 恵里子

診療科部門

呼吸器内科	診療科部長(教授)	福 永 興 壱	産科	診療科部長(教授)	田 中 守
循環器内科	診療科部長(教授)	家 田 真 樹	婦人科	診療科部長(教授)	山 上 亘
消化器内科	診療科部長(准教授)	中 本 伸 宏	眼科	診療科部長(教授)	根 岸 一 乃
腎臓・内分泌・代謝内科	診療科部長(教授)	林 香	皮膚科	診療科部長(准教授)	船 越 建
神経内科	診療科部長(教授)	中 原 仁	泌尿器科	診療科部長(教授)	大 家 基 嗣
血液内科	診療科部長(教授)	片 岡 圭 亮	耳鼻咽喉科	診療科部長(教授)	小 澤 宏 之
リウマチ・膠原病内科	診療科部長(教授)	金 子 祐 子	精神・神経科	診療科部長(教授)	内 田 裕 之
一般・消化器外科	診療科部長(准教授)	尾 原 秀 明	放射線治療科	診療科部長(教授)	茂 松 直 之
呼吸器外科	診療科部長(教授)	朝 倉 啓 介	放射線診断科	診療科部長(教授)	陣 崎 雅 弘
心臓血管外科	診療科部長(教授)	志 水 秀 行	麻酔科	診療科部長(教授)	森 崎 浩
脳神経外科	診療科部長(教授)	戸 田 正 博	救急科	診療科部長(教授)	佐々木 淳 一
小児外科	診療科部長(教授)	藤 野 明 浩	歯科・口腔外科	診療科部長(教授)	中 川 種 昭
整形外科	診療科部長(教授)	中 村 雅 也	総合診療科	診療科部長(教授)	佐々木 淳 一
リハビリテーション科	診療科部長(教授)	辻 哲 也	臨床検査科	診療科部長(教授)	松 下 弘 道
形成外科	診療科部長(教授)	貴 志 和 生	病理診断科	診療科部長(准教授)	大喜多 肇
小児科	診療科部長(教授)	鳴 海 覚 志			

診療施設部門

予防医療センター	センター長(教授)	高 石 官 均	臨床遺伝学センター	センター長(教授)	小 崎 健次郎
血液浄化・透析センター	センター長(教授)	大 家 基 嗣	免疫統括医療センター	センター長(教授)	金 子 祐 子
内視鏡センター	センター長(教授)	加 藤 元 彦	緩和ケアセンター	センター長(専任講師)	竹 内 麻 理
腫瘍センター	センター長(教授)	大 家 基 嗣	手術・血管造影センター	センター長(教授)	志 水 秀 行
輸血・細胞療法センター	センター長(教授)	田野崎 隆 二	集中治療センター	センター長(教授)	森 崎 浩

スポーツ医学総合センター	センター長(教授)	佐藤 和 毅	救急センター	センター長(教授)	佐々木 淳 一
漢方医学センター	センター長(教授)	福永 興 彦	臨床感染症センター	センター長(教授)	長谷川 直 樹

診療支援部門

看護部	部長	加藤 恵里子	医用工学室	室長(教授)	佐々木 淳 一
薬剤部	部長(教授)	大谷 壽 一	放射線技術室	室長	田原 祥 子
滅菌管理部	部長(准教授)	尾原 秀 明	臨床検査技術室	室長	横田 浩 充
食養管理室	室長代理	大木 いづみ			

臨床研究・教育部門

臨床研究推進センター	センター長(教授)	長谷川 奉 延	卒後臨床研修センター	センター長(教授)	平 形 道 人
臨床研究監理センター	センター長(教授)	金子 祐 子			

管理部門

病院情報システム部	部長(教授)	陣崎 雅 弘	医療連携推進部	部長(教授)	福永 興 彦
医療安全管理部	部長(教授)	志水 秀 行	放射線安全管理室	室長(教授)	茂松 直 之
感染制御部	部長(教授)	長谷川 直 樹	医療保険指導部	部長(専任講師)	武内 俊 樹
患者総合相談部	部長(教授)	内田 裕 之			

病院事務局

事務局長	古 田 正
------	-------

■ 教職員数

(各年度3月1日時点)

内 訳	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
臨床系医師(うち研修医)	899(81)	905(88)	871(82)	875 (77)	894 (79)
歯科医師(うち研修医)	47(16)	39(15)	43(16)	41 (15)	40 (14)
看護師	994	1,015	1,030	1,051	1,073
薬剤師	103	96	99	106	115
臨床検査技師	147	146	152	155	151
診療放射線技師	82	83	86	85	86
管理栄養士	12	13	13	14	15
栄養士	—	—	—	—	—
視能訓練士	15	14	14	16	18
臨床工学技士	27	29	31	32	34
理学療法士	13	13	13	14	16
作業療法士	4	4	4	4	4
言語聴覚士	6	5	6	6	6
その他技師	57	64	67	68	69
事務職員	235	224	226	223	226
技能員	82	84	71	73	72
教職員合計	2,723	2,734	2,726	2,763	2,819

■ 財務

(2023 年度) (単位：千円)

	科目	医学部・大学付属病院	慶應義塾全体
教育活動収支	事業活動収入の部		
	学生生徒等納付金	2,893,243	56,325,062
	手数料	99,377	2,052,684
	寄付金	1,746,146	6,032,734
	経常費等補助金	2,633,400	14,268,327
	付随事業収入	9,160,033	18,062,742
	医療収入	75,247,934	75,247,934
	雑収入	2,411,938	5,234,658
	教育活動収入計	94,192,072	177,224,141
	事業活動支出の部		
	人件費	30,634,210	74,168,010
	教育研究経費	63,230,765	97,136,293
	(内 医療経費)	38,012,405	38,012,405
	管理経費	987,184	5,203,659
	徴収不能額等	30,364	54,672
	教育活動支出計	94,882,523	176,562,635
	教育活動収支差額	△690,451	661,506
教育活動外収支	事業活動収入の部		
	受取利息・配当金	527,721	8,565,782
	その他の教育活動外収入	0	359,096
	教育活動外収入計	527,721	8,924,878
	事業活動支出の部		
	借入金等利息	0	15,251
	その他の教育活動外支出	0	186,924
	教育活動外支出計	0	202,175
	教育活動外収支差額	527,721	8,722,702
	経常収支差額	△162,731	9,384,208
特別収支	事業活動収入の部		
	資産売却差額	0	0
	その他の特別収入	1,354,863	2,648,436
	特別収入計	1,354,863	2,648,436
	事業活動支出の部		
	資産処分差額	49	3,304,517
	その他の特別支出	20,860	54,404
	特別支出計	20,909	3,358,920
	特別収支差額	1,333,954	△710,484
	予備費		
	基本金組入前当年度収支差額	1,171,224	8,673,724
	基本金組入額合計	△703,299	△7,651,039
	当年度収支差額	467,925	1,022,685
	前年度繰越収支差額	△37,651,271	△164,066,965
	翌年度繰越収支差額	0	△163,044,280
	事業活動収入計	96,074,656	188,797,454
	事業活動支出計	94,903,432	180,123,731

※千円単位で表示する際に千円未満を四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合があります。

II 病院としての取り組み

2023 年度の主な取り組みと出来事

■ 予防医療センターの移転 ―麻布台ヒルズでの検査を 11 月 6 日から開始しました―

慶應義塾は、医学部・大学病院開設当初より、慶應医学の原点として予防医療の意義を掲げてきました。1929 年「予防医学教室」、1966 年「財団法人慶應がんセンター」を開設し、1970 年には「財団法人慶應健康相談センター」を設立し人間ドックを開始するなど、予防医療の発展に力を注いでまいりました。そして、2012 年には「慶應義塾大学病院予防医療センター」を開設し、現在に至っております。人生 100 年時代において、病気の早期発見はもちろんのこと、できるだけ長く健康な生活を送れるように、予防医療センターは未来型予防医療の提供を目指して 2023 年 11 月に麻布台ヒルズに移転しました。11 月 6 日より検査を開始しています。



■ DMAT 隊と能登半島地震

Disaster Medical Assistance Team (DMAT) は、災害急性期に活動できる機動性を持った災害派遣医療チームです。DMAT は医師、看護師、ロジ（医師・看護師以外の医療職や事務職員）で構成され、大規模災害や多傷病者事故などの現場で急性期から活動できるよう、専門的な訓練を受けています。また、当院では BCP と連携して院内の災害訓練を企画・運営し、病院が被災した際に安全・迅速に災害拠点病院としての機能を発揮できるように努めています。



DMAT 隊員は、災害の際の活動を円滑に行うため、年数回の実働訓練に参加します。全国規模の訓練では遠隔地に参集することもあり、大型医療機器を含めた多くの資材を飛行機で運搬し、現地で車を確保して早朝から被災想定地域へ向かうこともあります。それらの訓練を通じて得られた課題は、月 1 回の院内の DMAT ワーキンググループにて解決案を相談します。備えあれば患いなしを体現するため、非災害時での濃密な話し合いを通じて、隊員個人および DMAT 隊としての成長を図っています。

DMAT の全隊員はライフラインが途絶えた被災地での自立生活、活動中の自己および隊の安全管理、他の DMAT 隊との連携、病院外で DMAT の医療活動などに関して、知識・技術を獲得しています。その上で、医師は隊員全員の体調管理や医療活動の取りまとめと実施、看護師は医療活動における医師のサポートや被災者に寄りそった身体・精神面のケア、ロジは隊の機動力を確保した上での長距離運転や隊の活動記録などを分担して行います。普段は皆それぞれの職場で全く異なる通常業務を行っていますが、災害派遣や訓練の際にはチーム一丸となって取り組みます。

2024 年 1 月 1 日に発生した能登半島地震では、1 月 11 日に 5 名の DMAT 隊員が能登半島へ出動し

ました。途絶したライフラインと長期活動を考慮してキャンピングカーでの移動を選択し、1月12日、参集拠点である輪島市役所内の輪島市保健医療調整本部に到着し、少しでも被災者の負担を軽くするよう到着直後から活動を開始しました。慶應 DMAT 隊は隊長が DMAT 活動拠点本部の副本部長の任に就き、関東地方から派遣された DMAT 隊最大 11 隊を指揮しながら、市内福祉施設および入居者の支援を行いました。現地活動 7 日目、新たに来た DMAT 隊へ業務を引き継いだ後、帰路につきました。

DMAT 隊は病院内での活動を再開しており、今後も続く能登半島への慢性期医療支援の調整、院内災害訓練の準備などを進めています。

■ 災害時の BCP（事業継続計画）

BCP とは災害などの緊急事態における企業や団体の事業継続計画（Business Continuity Planning）のことで、特に日本では 2011 年の東日本大震災をきっかけにその重要性がますます注目されてきました。

防災マニュアルが、災害時に患者さんや従業員の安全、資源の確保を目的とするのに対し、BCP は災害時でも病院の医療機能提供を維持することが目的です。特に災害拠点病院において BCP は

大規模災害などの緊急事態に必要不可欠で、当院では 2013 年に初版を作成し、その後、元消防庁の専門家による見直しなどの改定を経て、2022 年 8 月に第 3 版が完成し現在に至っています。

その後もこの BCP の検証も含め、当院 DMAT 隊の主導による災害対応訓練を定期的に行っており、病院長、副病院長、看護部長も参加して、いざという時に迅速に対応し患者さんへの医療の提供が継続できるよう病院一丸となって努めております。

病院や社会の状況は常に変化を続けていますので、策定した BCP の内容も定期的に見直し、改善していくことが大切です。BCP は緊急時において患者さんや医療従事者、そして病院機能を守るための砦になる計画です。深刻なリスクに直面しても冷静に対応できるよう、当院では今後も BCP の見直しに積極的に取り組んでまいります。



■ 国際診療部の設置

国際診療部は、医療渡航支援企業などと効果的な連携を図りつつ、外国人患者さんを円滑に受け入れる目的で、2023 年 11 月 1 日に発足いたしました。当院では、従前から医療を受けることを目的に訪日される（医療インバウンド）外国人患者さんを多く受け入れてきましたが、どの部門が主に担当しているかわからないケースが散見されて



いました。この度、国際診療部を設置することで、内外に向けて窓口をわかりやすくし、医療インバウンド患者さん等の受け入れを拡大していきます。また、医療目的以外で日本に滞在している外国人数も年々増加傾向にあります。そこで、彼らが医療を必要とした際には円滑に受け入れができるよう利便性を向上させるため、国際診療部では各部門のサポートを強化していきます。

■ 大血管浸潤腫瘍治療センターの開設

2023 年 10 月より、大血管浸潤腫瘍治療センターを開設いたしました。大血管浸潤腫瘍とは、大動脈や下大静脈といった大血管を巻き込んで拡大した腫瘍の総称であり、抗がん剤や放射線照射では治療効果が得られないことも多く、手術で腫瘍をすべて摘出する外科的手術が唯一の治療法となることが少なくありません。しかし、本疾患に対する外科的手術はリスクの高い高難度手術であるため、治療可能な施設は極めて限られます。当センターでは、正確な診断の下、適切な治療方針の決定から、外科的手術の適応判断と実践、および周術期管理を行うべく、全 22 部門のエキスパートが一枚岩のチームとなって、本疾患治療のゲートキーパーかつ最後の砦として診療を行っています。これまでの豊富な診療経験に基づいて、個々の患者さんに応じた適切な治療方法を検討し、手術以外の治療法も含めてあらゆる手段を駆使して全力で治療にあたっております。

■ 聴覚センターの開設

聴覚障害（難聴）による症状は「聞き取れない」「電話ができない」などの生活・仕事への支障があるのにとどまらず「気持ちが落ち込む」「疲れやすい」などの精神面への影響も大きく出ます。特に、高齢者における難聴は「認知機能低下」「うつ・不安」につながることから、現在社会的な注目が高まっています。また、小児期の難聴は言語・精神発達に大きな影響があることがわかっています。

そこで、聴覚の専門医である耳鼻咽喉科・頭頸部外科を中心に、多くの科が協同して聴覚障害への科横断的な多面的診療を行うため、聴覚センターを開設いたしました。多くの診療科が参画する聴覚センターは国内初であり、国内最高レベルの全人的な治療を行うことを目指しています。先進的な聴覚評価に基づき、聴力改善手術から補聴器、人工内耳など、患者さんに適した治療を行います。

■ 医療連携推進フォーラム ハイブリッド開催

医療連携強化に向けた情報交換や交流を行うため、近隣の医師会や連携契約医療機関、産業医、関連医療機関、ならびに看護や介護に係る施設をお招きし、2018 年 8 月より「医療連携推進フォーラム」を開催しております。COVID-19 感染症拡大以降は Web 開催が続いておりましたが、2023 年 4 月 7 日には第 11 回「医療連携推進フォーラム」を、初となる Web と対面のハイブリッド形式で開催し、東京都西部医療圏の医師会の先生方をお招きいたしました。

フォーラムテーマは「医療連携強化の取り組み」をはじめ、2023 年 4 月より着任した新診療科部長による婦人科、小児外科、精神・神経科、呼吸器外科の「医療の発展的な取り組み」が紹介されました。本フォーラムを通して慶應義塾大学病院における強みや新たな取り組みの紹介が行われました。

遠方の医療機関からのご参加もあり、後日配信した動画も多数視聴され、地域の皆様から今回も強い関心が寄せられました。今後も医療連携推進フォーラムを通じて地域の皆様のご意見をうかがいながら、より緊密に連携し、医療連携を推進してまいります。

Ⅲ 統計・実績

■ 外来患者数（科別）

		2023年												2024年		合計	1日平均
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
実日数		22	22	24	23	24	23	23	22	23	21	22	23	272			
呼吸器内科	初	73	70	105	88	65	78	70	82	101	74	90	79	975		4	
	再	2,955	2,863	3,242	3,018	2,912	3,066	3,087	2,945	3,227	2,790	2,940	3,182	36,227		133	
	計	3,028	2,933	3,347	3,106	2,977	3,144	3,157	3,027	3,328	2,864	3,030	3,261	37,202		137	
循環器内科	初	95	90	117	99	90	94	119	104	122	110	117	141	1,298		5	
	再	3,688	3,513	4,051	3,543	3,489	3,879	4,013	3,553	4,126	3,459	3,586	3,997	44,897		165	
	計	3,783	3,603	4,168	3,642	3,579	3,973	4,132	3,657	4,248	3,569	3,703	4,138	46,195		170	
消化器内科	初	125	156	162	128	128	121	147	152	170	143	186	154	1,772		7	
	再	5,962	5,894	6,470	6,245	5,927	6,614	6,553	6,131	6,733	5,954	6,004	6,775	75,262		277	
	計	6,087	6,050	6,632	6,373	6,055	6,735	6,700	6,283	6,903	6,097	6,190	6,929	77,034		283	
腎臓・内分泌・代謝内科	初	48	58	47	46	40	41	37	23	49	36	47	46	518		2	
	再	4,654	4,399	5,114	4,742	4,555	4,968	4,913	4,477	5,055	4,587	4,499	4,877	56,840		209	
	計	4,702	4,457	5,161	4,788	4,595	5,009	4,950	4,500	5,104	4,623	4,546	4,923	57,358		211	
神経内科	初	61	62	80	62	60	52	59	62	62	55	54	57	726		3	
	再	2,188	2,246	2,287	2,217	2,082	2,384	2,303	2,123	2,385	2,090	2,094	2,321	26,720		98	
	計	2,249	2,308	2,367	2,279	2,142	2,436	2,362	2,185	2,447	2,145	2,148	2,378	27,446		101	
血液内科	初	25	22	30	22	35	25	21	23	26	16	22	21	288		1	
	再	1,172	1,233	1,318	1,205	1,331	1,300	1,292	1,258	1,388	1,237	1,246	1,335	15,315		56	
	計	1,197	1,255	1,348	1,227	1,366	1,325	1,313	1,281	1,414	1,253	1,268	1,356	15,603		57	
リウマチ・膠原病内科	初	47	43	38	41	27	33	42	39	40	37	37	55	479		2	
	再	2,645	2,762	2,951	2,659	2,706	2,848	2,752	2,554	2,951	2,596	2,497	2,994	32,915		121	
	計	2,692	2,805	2,989	2,700	2,733	2,881	2,794	2,593	2,991	2,633	2,534	3,049	33,394		123	
総合内科	初	45	46	47	45	43	52	42	47	55	57	37	35	551		2	
	再	61	55	45	78	75	60	64	68	82	87	56	54	785		3	
	計	106	101	92	123	118	112	106	115	137	144	93	89	1,336		5	
総合診療科	初	15	11	13	12	12	21	21	20	20	9	13	18	185		1	
	再	417	372	391	419	376	395	441	381	439	365	355	380	4,731		17	
	計	432	383	404	431	388	416	462	401	459	374	368	398	4,916		18	
一般・消化器外科	初	72	80	72	60	69	57	51	64	61	55	70	52	763		3	
	再	2,577	2,665	2,961	2,638	2,673	2,828	2,805	2,636	2,834	2,407	2,546	2,811	32,381		119	
	計	2,649	2,745	3,033	2,698	2,742	2,885	2,856	2,700	2,895	2,462	2,616	2,863	33,144		122	
呼吸器外科	初	35	35	34	50	48	44	43	46	41	32	38	53	499		2	
	再	623	627	716	700	618	706	697	558	693	688	656	740	8,022		29	
	計	658	662	750	750	666	750	740	604	734	720	694	793	8,521		31	
心臓血管外科	初	9	13	9	6	13	12	10	16	20	11	9	16	144		1	
	再	504	583	611	580	511	585	510	579	656	463	498	566	6,646		24	
	計	513	596	620	586	524	597	520	595	676	474	507	582	6,790		25	
脳神経外科	初	50	48	48	59	50	63	63	80	73	66	54	71	725		3	
	再	870	854	943	836	914	924	914	917	973	813	843	966	10,767		40	
	計	920	902	991	895	964	987	977	997	1,046	879	897	1,037	11,492		42	
小児外科	初	12	34	29	19	33	23	23	20	15	14	15	18	255		1	
	再	246	231	273	333	295	295	251	291	343	303	272	343	3,476		13	
	計	258	265	302	352	328	318	274	311	358	317	287	361	3,731		14	
整形外科	初	316	320	371	351	276	269	328	285	314	239	282	309	3,660		13	
	再	4,612	4,184	4,603	4,810	4,438	4,625	4,733	4,538	5,120	4,250	4,315	5,141	55,369		204	
	計	4,928	4,504	4,974	5,161	4,714	4,894	5,061	4,823	5,434	4,489	4,597	5,450	59,029		217	
リハビリテーション科	初	5	5	9	4	8	6	10	6	6	9	10	3	81		0	
	再	428	451	509	482	519	558	491	566	589	493	536	638	6,260		23	
	計	433	456	518	486	527	564	501	572	595	502	546	641	6,341		23	
形成外科	初	75	68	87	90	87	86	77	69	89	76	74	84	962		4	
	再	889	762	999	957	1,180	954	939	849	1,139	940	906	1,240	11,754		43	
	計	964	830	1,086	1,047	1,267	1,040	1,016	918	1,228	1,016	980	1,324	12,716		47	
小児科	初	144	180	200	209	199	164	204	146	184	162	141	147	2,080		8	
	再	1,549	1,526	1,796	1,800	2,154	1,829	1,645	1,606	1,949	1,586	1,625	2,113	21,178		78	
	計	1,693	1,706	1,996	2,009	2,353	1,993	1,849	1,752	2,133	1,748	1,766	2,260	23,258		86	
産婦人科	初	205	186	196	206	178	173	179	203	213	191	180	176	2,286		8	
	再	4,735	4,674	5,311	4,924	4,412	4,967	4,746	4,621	4,825	4,432	4,471	4,956	57,074		210	
	計	4,940	4,860	5,507	5,130	4,590	5,140	4,925	4,824	5,038	4,623	4,651	5,132	59,360		218	
眼科	初	279	301	267	323	313	238	294	313	265	274	265	284	3,416		13	
	再	4,199	4,277	4,445	4,394	4,285	4,356	4,556	4,261	4,492	4,160	4,176	4,648	52,249		192	
	計	4,478	4,578	4,712	4,717	4,598	4,594	4,850	4,574	4,757	4,434	4,441	4,932	55,665		205	
皮膚科	初	116	123	159	163	158	113	141	131	139	113	141	149	1,646		6	
	再	3,548	3,301	3,808	3,665	3,555	3,776	3,638	3,537	3,780	3,299	3,261	3,552	42,720		157	
	計	3,664	3,424	3,967	3,828	3,713	3,889	3,779	3,668	3,919	3,412	3,402	3,701	44,366		163	
泌尿器科	初	70	82	72	74	86	86	68	83	80	57	87	104	949		3	
	再	3,290	3,217	3,609	3,392	3,264	3,612	3,477	3,215	3,705	3,184	3,103	3,598	40,666		150	
	計	3,360	3,299	3,681	3,466	3,350	3,698	3,545	3,298	3,785	3,241	3,190	3,702	41,615		153	
耳鼻咽喉科	初	148	168	154	151	141	142	155	145	163	135	123	149	1,774		7	
	再	2,474	2,356	2,684	2,427	2,451	2,456	2,502	2,336	2,645	2,376	2,288	2,514	29,509		108	
	計	2,622	2,524	2,838	2,578	2,592	2,598	2,657	2,481	2,808	2,511	2,411	2,663	31,283		115	

		2023年												2024年		合計	1日平均
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
実日数		22	22	24	23	24	23	23	22	23	21	22	23	272			
精神・神経科	初	59	93	77	57	72	57	75	54	88	57	65	62	816	3		
	再	2,967	2,926	3,038	2,950	2,992	2,936	3,074	2,966	3,203	2,941	2,891	3,224	36,108	133		
	計	3,026	3,019	3,115	3,007	3,064	2,993	3,149	3,020	3,291	2,998	2,956	3,286	36,924	136		
放射線治療科	初	5	5	11	4	6	2	4	4	5	4	4	6	60	0		
	再	1,312	1,410	1,326	1,247	1,256	1,383	1,240	1,092	989	1,224	1,421	1,240	15,140	56		
	計	1,317	1,415	1,337	1,251	1,262	1,385	1,244	1,096	994	1,228	1,425	1,246	15,200	56		
放射線診断科	初	55	54	58	36	48	49	49	45	54	43	36	43	570	2		
	再	41	37	27	47	50	52	53	34	27	41	37	43	489	2		
	計	96	91	85	83	98	101	102	79	81	84	73	86	1,059	4		
麻酔科	初	11	13	16	14	23	23	21	13	10	8	13	14	179	1		
	再	1,547	1,536	1,671	1,654	1,628	1,623	1,633	1,705	1,681	1,414	1,617	1,674	19,383	71		
	計	1,558	1,549	1,687	1,668	1,651	1,646	1,654	1,718	1,691	1,422	1,630	1,688	19,562	72		
救急科	初	400	438	456	539	457	471	506	455	485	481	400	425	5,513	20		
	再	235	198	240	256	253	262	252	231	246	246	239	218	2,876	11		
	計	635	636	696	795	710	733	758	686	731	727	639	643	8,389	31		
歯科・口腔外科	初	403	427	476	422	410	393	425	411	434	390	414	456	5,061	19		
	再	2,790	2,694	3,210	2,903	2,567	2,910	3,128	2,845	3,134	2,829	2,850	3,043	34,903	128		
	計	3,193	3,121	3,686	3,325	2,977	3,303	3,553	3,256	3,568	3,219	3,264	3,499	39,964	147		
血液浄化・透析センター	初	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	再	64	68	79	83	81	86	79	80	68	66	70	65	889	3		
	計	64	68	79	83	81	86	79	80	68	66	70	65	889	3		
スポーツ医学総合センター	初	28	29	15	25	24	13	19	20	19	18	27	14	251	1		
	再	397	431	451	461	378	511	292	375	395	295	299	442	4,727	17		
	計	425	460	466	486	402	524	311	395	414	313	326	456	4,978	18		
漢方医学センター	初	4	6	12	9	11	3	6	8	4	7	4	5	79	0		
	再	545	544	647	527	534	594	574	510	618	514	511	585	6,703	25		
	計	549	550	659	536	545	597	580	518	622	521	515	590	6,782	25		
感染症外来	初	35	4	3	3	5	1	1	2	1	1	4	4	64	0		
	再	1,022	190	173	174	183	218	184	199	201	165	166	158	3,033	11		
	計	1,057	194	176	177	188	219	185	201	202	166	170	162	3,097	11		
輸血・細胞療法センター	初	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	再	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
内視鏡センター	初	11	13	7	11	11	13	14	24	22	11	19	27	183	1		
	再	6	13	8	13	9	3	9	12	11	10	10	13	117	0		
	計	17	26	15	24	20	16	23	36	33	21	29	40	300	1		
免疫統括医療センター	初	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	再	75	57	58	50	42	49	32	40	29	36	23	36	527	2		
	計	75	57	58	50	42	49	32	40	29	36	23	36	527	2		
腫瘍センター	初	74	69	73	66	70	68	87	97	101	83	106	122	1,016	4		
	再	1,730	1,675	1,895	1,902	1,909	1,838	1,861	1,950	2,003	1,799	1,854	1,959	22,375	82		
	計	1,804	1,744	1,968	1,968	1,979	1,906	1,948	2,047	2,104	1,882	1,960	2,081	23,391	86		
メモリー外来	初	11	10	17	16	12	8	14	12	8	10	5	13	136	1		
	再	303	224	303	304	230	290	299	294	293	278	284	364	3,466	13		
	計	314	234	320	320	242	298	313	306	301	288	289	377	3,602	13		
緩和ケアセンター	初	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0		
	再	79	80	81	67	71	69	70	77	87	70	71	82	904	3		
	計	79	80	81	67	72	70	70	77	87	70	71	82	906	3		
臨床遺伝学センター	初	3	1	2	7	12	8	8	7	12	9	14	6	89	0		
	再	57	42	52	43	69	61	70	78	60	64	64	89	749	3		
	計	60	43	54	50	81	69	78	85	72	73	78	95	838	3		
予防医療センター	初	1	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5	0		
	再	35	25	26	39	34	38	42	1	1	0	0	0	241	1		
	計	36	26	28	39	34	39	42	1	1	0	0	0	246	1		
保健管理センター	初	57	59	57	60	52	66	87	50	68	60	64	61	741	3		
	再	146	112	133	139	135	163	170	173	184	137	156	167	1,815	7		
	計	203	171	190	199	187	229	257	223	252	197	220	228	2,556	9		
その他	初	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	再	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	初	3,227	3,423	3,628	3,577	3,373	3,170	3,520	3,361	3,619	3,153	3,267	3,479	40,797	150		
	再	67,637	65,307	72,555	68,923	67,143	71,071	70,384	66,662	73,359	64,688	65,336	73,143	826,208	3,038		
	計	70,864	68,730	76,183	72,500	70,516	74,241	73,904	70,023	76,978	67,841	68,603	76,622	867,005	3,188		
1日平均	初	147	156	151	156	141	138	153	153	157	150	149	151	150			
	再	3,074	2,969	3,023	2,997	2,798	3,090	3,060	3,030	3,190	3,080	2,970	3,180	3,038			
	計	3,221	3,124	3,174	3,152	2,938	3,228	3,213	3,183	3,347	3,231	3,118	3,331	3,188			

■ 救急外来患者数（科別）

	自力受診					救急車搬入					合計				
	受診数	初診	受診科 入院数	実入院科 患者数	転送	受診数	初診	受診科 入院数	実入院科 患者数	転送	受診数	初診	受診科 入院数	実入院科 患者数	転送
呼吸器内科	93	9	53	117	1	49	4	44	189	0	142	13	97	306	1
循環器内科	89	2	33	69	1	41	8	35	178	0	130	10	68	247	1
消化器内科	137	9	74	219	1	47	4	43	271	0	184	13	117	490	1
腎臓・内分泌・代謝内科	42	2	23	42	1	7	0	7	57	0	49	2	30	99	1
神経内科	58	8	32	65	0	30	2	25	233	0	88	10	57	298	0
血液内科	48	0	12	32	0	6	0	5	17	0	54	0	17	49	0
リウマチ・膠原病内科	13	0	6	26	0	10	1	9	20	0	23	1	15	46	0
総合内科	1,613	378	344	0	8	207	4	135	0	1	1,820	382	479	0	9
総合診療科	7	1	5	0	0	0	0	0	0	0	7	1	5	0	0
一般・消化器外科	264	8	104	119	0	45	4	39	92	0	309	12	143	211	0
呼吸器外科	70	19	30	30	0	11	5	10	16	0	81	24	40	46	0
心臓血管外科	37	0	7	5	0	9	2	8	15	0	46	2	15	20	0
脳神経外科	85	22	15	19	0	28	10	20	47	0	113	32	35	66	0
小児外科	81	10	31	38	0	5	1	3	4	0	86	11	34	42	0
整形外科	216	57	19	18	1	25	2	15	23	1	241	59	34	41	2
リハビリテーション科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
形成外科	224	132	0	1	0	5	3	1	1	1	229	135	1	2	1
小児科	798	299	94	90	11	77	31	44	59	0	875	330	138	149	11
産婦人科	604	18	310	308	0	52	12	40	68	0	656	30	350	376	0
眼科	189	64	47	42	0	15	12	4	13	0	204	76	51	55	0
皮膚科	220	100	11	20	0	7	1	5	23	0	227	101	16	43	0
泌尿器科	219	14	45	47	0	21	1	10	32	0	240	15	55	79	0
耳鼻咽喉科	132	59	8	19	0	12	3	7	29	0	144	62	15	48	0
精神・神経科	36	2	5	5	0	4	0	1	6	0	40	2	6	11	0
放射線治療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線診断科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
麻酔科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
救急科	1,734	123	118	71	4	7,823	4,945	1,235	339	204	9,557	5,068	1,353	410	208
歯科・口腔外科	411	222	8	5	0	17	12	1	8	0	428	234	9	13	0
血液浄化・透析センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スポーツ医学総合センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
漢方医学センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染症外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
免疫統括医療センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腫瘍センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
メモリー外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緩和ケアセンター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	7,422	1,558	1,434	1,407	28	8,553	5,067	1,746	1,740	207	15,975	6,625	3,180	3,147	235

■ 入院患者延数（科別）

	2023年									2024年				1日 平均
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
呼吸器内科	1,546	1,604	1,405	1,434	1,538	1,849	1,790	1,748	1,768	1,626	1,700	1,710	19,718	54
循環器内科	1,548	1,364	1,488	1,583	1,392	1,438	1,426	1,286	1,532	1,477	1,352	1,654	17,540	48
消化器内科	2,374	2,004	2,242	2,209	2,306	2,232	2,438	2,158	2,139	2,059	2,337	2,361	26,859	73
腎臓・内分泌・代謝内科	620	634	693	568	628	795	656	556	590	490	630	658	7,518	21
神経内科	1,181	1,222	1,276	1,251	1,300	977	1,242	1,136	1,140	1,124	1,030	1,015	13,894	38
血液内科	1,236	1,472	1,401	1,523	1,422	1,534	1,597	1,536	1,659	1,611	1,354	1,420	17,765	49
リウマチ・膠原病内科	687	701	696	726	649	571	648	788	633	648	568	679	7,994	22
一般・消化器外科	2,491	2,793	2,911	2,688	2,826	2,733	2,645	2,606	2,568	2,615	2,531	2,650	32,057	88
呼吸器外科	489	517	525	576	578	549	570	570	556	486	536	636	6,588	18
心臓血管外科	674	593	647	673	723	744	677	563	614	714	646	774	8,042	22
脳神経外科	724	643	879	880	958	939	765	596	707	928	902	838	9,759	27
小児外科	246	155	216	243	341	355	247	292	276	218	276	314	3,179	9
整形外科	2,793	2,615	2,651	2,628	2,701	2,373	2,503	2,473	2,680	2,529	2,702	2,977	31,625	86
リハビリテーション科	88	82	111	106	97	93	97	92	92	103	118	127	1,206	3
形成外科	334	349	365	437	437	376	396	361	459	315	292	344	4,465	12
小児科	1,531	1,742	1,764	1,768	1,607	1,529	1,764	1,510	1,707	1,463	1,505	1,605	19,495	53
産婦人科	2,385	2,150	2,291	2,177	2,204	1,995	2,165	2,063	2,250	1,914	1,812	1,961	25,367	69
眼科	641	720	707	710	735	615	638	620	731	649	725	772	8,263	23
皮膚科	476	616	550	516	663	514	431	420	450	382	325	380	5,723	16
泌尿器科	940	1,086	1,067	1,101	1,099	982	1,095	1,041	1,223	1,110	991	1,149	12,884	35
耳鼻咽喉科	863	774	894	1,109	1,016	842	832	966	872	698	746	730	10,342	28
精神・神経科	445	424	453	425	431	403	454	456	473	429	415	460	5,268	14
放射線治療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線診断科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
麻酔科	9	6	0	2	12	10	17	4	6	6	6	11	89	0
救急科	423	516	344	593	539	568	657	651	667	784	693	679	7,114	19
歯科・口腔外科	229	193	271	255	296	248	217	143	182	275	355	278	2,942	8
スポーツ医学総合センター	22	7	18	18	15	17	30	26	33	26	31	35	278	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	24,995	24,982	25,865	26,199	26,513	25,281	25,997	24,661	26,007	24,679	24,578	26,217	305,974	836

■ 入院患者延数（病棟別）・病床稼働率

	2023年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024年 1月	2月	3月	合計
3号館南棟5階	424	481	612	539	571	498	507	538	671	649	643	586	6,719
3号館南棟6階	535	600	666	642	705	714	705	647	716	657	625	660	7,872
1号館10A	1,099	1,143	1,189	1,204	1,241	1,176	1,172	1,123	1,152	1,086	1,138	1,205	13,928
1号館10B	1,099	1,127	1,175	1,213	1,166	1,139	1,231	1,152	1,201	1,146	1,140	1,210	13,999
1号館10C	833	883	870	898	868	866	877	823	870	880	814	912	10,394
1号館10D	408	397	437	461	501	486	459	400	459	400	414	421	5,243
1号館9A	1,191	1,198	1,233	1,224	1,249	1,157	1,204	1,165	1,130	1,153	1,134	1,236	14,274
1号館9B	1,153	1,156	1,169	1,178	1,178	1,159	1,153	1,116	1,163	1,100	1,137	1,203	13,865
1号館9C	1,166	1,121	1,122	1,150	1,212	1,100	1,132	1,105	1,114	1,078	1,095	1,130	13,525
1号館9D	1,214	1,166	1,154	1,178	1,164	1,089	1,169	1,125	1,169	1,122	1,104	1,118	13,772
1号館8A	984	1,015	963	994	1,081	1,049	1,065	1,029	1,044	1,043	990	1,058	12,315
1号館8B	990	1,000	1,041	1,055	1,094	1,056	1,065	1,046	1,094	1,036	1,062	1,083	12,622
1号館8C	1,041	1,001	1,028	1,040	1,088	1,093	1,069	992	1,032	1,020	1,001	1,118	12,523
1号館8D	1,090	1,096	1,136	1,146	1,152	1,132	1,097	1,067	1,099	1,059	1,096	1,178	13,348
1号館7A	1,229	1,192	1,236	1,262	1,295	1,246	1,235	1,198	1,276	1,251	1,197	1,280	14,897
1号館7B	1,234	1,142	1,204	1,249	1,259	1,170	1,195	1,170	1,191	1,166	1,144	1,227	14,351
1号館7C	1,139	1,135	1,158	1,151	1,221	1,159	1,129	1,091	1,134	1,119	1,126	1,181	13,743
1号館7D	1,177	1,127	1,229	1,233	1,260	1,217	1,193	1,153	1,176	1,091	1,159	1,190	14,205
1号館6A・1	766	917	887	1,024	1,046	929	912	861	1,081	957	945	1,063	11,388
1号館6A・2	424	398	368	353	348	328	411	406	476	449	434	481	4,876
1号館6A・3	101	89	108	115	111	99	85	97	112	112	108	104	1,241
1号館6C	764	663	741	701	662	616	770	609	656	613	559	610	7,964
1号館6C MFICU	131	113	133	151	101	158	113	141	131	142	60	109	1,483
1号館6D GCU	587	617	717	744	598	577	712	479	539	427	453	510	6,960
1号館6D NICU	263	268	268	273	263	237	276	249	278	254	214	252	3,095
1号館4B	419	406	429	411	398	388	433	439	436	405	367	416	4,947
1号館4D ICU	442	453	450	459	476	453	480	460	469	477	448	480	5,547
1号館4C HCU	714	708	697	737	749	712	725	733	760	793	731	771	8,830
2号館5S	1,219	1,194	1,262	1,213	1,276	1,157	1,248	1,179	1,208	896	1,153	1,226	14,231
2号館5N	1,144	1,142	1,181	1,199	1,180	1,120	1,173	1,068	1,170	1,098	1,086	1,197	13,758
2号館6N	15	34	2	2	0	1	2	0	0	0	1	2	59
合計	24,995	24,982	25,865	26,199	26,513	25,281	25,997	24,661	26,007	24,679	24,578	26,217	305,974
病床稼働率	87.7%	84.8%	90.8%	89.0%	90.0%	88.7%	88.3%	86.5%	88.3%	83.8%	89.2%	89.0%	平均 88.0%

※新型コロナウイルス感染症対応病床を含む。

■ 新入院患者数・退院患者数・死亡患者数・在院患者延数・平均在院日数

	2023年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024年 1月	2月	3月	合計
実日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
新入院患者数	2,191	2,211	2,291	2,264	2,384	2,135	2,327	2,161	2,250	2,249	2,168	2,285	26,916
退院患者数	2,204	2,120	2,290	2,298	2,358	2,195	2,261	2,113	2,516	2,016	2,130	2,442	26,943
死亡患者数	30	15	26	23	24	18	26	34	22	36	27	33	314
在院患者延数	22,791	22,862	23,575	23,901	24,155	23,086	23,736	22,548	23,491	22,663	22,448	23,775	279,031
平均在院日数	11.0	11.3	11.1	11.1	10.9	11.3	11.0	11.3	10.4	11.3	11.1	10.8	年間平均 11.1

* 平均在院日数は、基本診療料の施設基準において定められた対象外患者を除いた患者数で算出。

■ 分娩件数・出生児数・死産児数

	2023年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024年 1月	2月	3月	合計
分娩件数	81	67	81	76	83	70	92	61	70	62	57	59	859
(帝王切開)	39	29	40	32	22	32	41	23	32	20	27	21	358
出生児数	80	68	82	78	84	71	90	59	71	60	57	58	858
(早期産児)	13	10	11	5	5	8	8	4	9	7	4	8	92
(低出生体重児)	18	13	17	11	14	10	11	9	15	12	12	13	155
(多胎児)	4	6	6	4	4	2	2	0	4	0	1	2	35
死産児数	3	2	2	2	1	3	3	2	1	2	1	2	24

■ 手術件数（科別）

(1) 入院

	2023年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024年 1月	2月	3月	合計
内科	39	39	41	42	47	42	44	35	44	35	40	48	496
一般・消化器外科	140	136	137	125	161	155	152	137	128	124	142	135	1,672
呼吸器外科	43	52	49	51	59	47	49	50	55	48	52	52	607
心臓血管外科	25	30	39	27	32	36	34	27	31	37	32	39	389
脳神経外科	32	28	34	40	36	35	34	25	39	26	36	27	392
小児外科	8	15	16	15	17	19	16	23	18	11	13	19	190
整形外科	151	153	155	155	152	131	144	151	167	138	153	153	1,803
形成外科	52	56	60	65	64	48	52	54	66	58	59	49	683
小児科	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	4
産婦人科	168	164	185	166	170	150	168	136	176	122	152	163	1,920
眼科	193	221	223	221	240	205	219	221	238	216	231	254	2,682
皮膚科	17	16	16	15	20	16	17	18	18	14	14	15	196
泌尿器科	95	101	104	95	110	94	85	108	116	105	94	123	1,230
耳鼻咽喉科	54	43	64	55	54	60	55	57	63	61	53	51	670
精神・神経科	58	45	46	46	61	48	55	43	34	20	36	42	534
麻酔科	2	3	1	3	3	5	5	3	2	3	4	2	36
救急科	15	16	13	27	15	14	20	22	21	14	10	17	204
歯科・口腔外科	17	16	17	16	21	15	14	14	12	21	18	13	194
その他	11	13	13	19	4	7	15	7	12	10	7	13	131
合計	1,120	1,147	1,214	1,183	1,266	1,128	1,178	1,131	1,241	1,063	1,146	1,216	14,033

(2) 外来

	2023年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024年 1月	2月	3月	合計
内科	15	17	16	15	14	16	15	10	15	14	16	19	182
一般・消化器外科	1	1	2	2	2	2	3	2	5	3	4	0	27
呼吸器外科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
心臓血管外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳神経外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
整形外科	11	18	21	27	20	16	27	22	19	20	14	19	234
形成外科	19	14	19	15	20	16	18	15	12	15	23	21	207
小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科	27	27	24	31	36	26	16	36	28	21	27	26	325
眼科	108	95	111	96	93	71	112	93	78	73	91	90	1,111
皮膚科	28	25	38	29	28	28	31	27	24	23	17	29	327
泌尿器科	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
耳鼻咽喉科	3	2	6	4	2	5	5	5	2	5	4	6	49
精神・神経科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救急科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科・口腔外科	22	11	18	11	16	12	19	18	15	15	29	36	222
その他	1	6	0	2	4	1	0	4	0	0	4	0	22
合計	235	216	256	232	235	194	246	232	199	189	229	246	2,709

■ 手術全身麻酔件数（科別）

	2023年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024年 1月	2月	3月	合計
内科	19	16	22	25	27	22	24	19	22	20	25	23	264
一般・消化器外科	112	112	105	95	129	129	115	110	102	98	108	111	1,326
呼吸器外科	40	49	47	49	58	45	47	50	52	45	49	49	580
心臓血管外科	25	26	33	25	32	33	33	25	31	28	30	39	360
脳神経外科	29	18	26	32	30	28	25	20	32	24	29	24	317
小児外科	6	13	15	15	17	18	15	23	15	10	12	19	178
整形外科	148	150	149	153	145	124	140	143	158	133	151	148	1,742
形成外科	35	39	41	44	46	38	38	39	45	40	35	36	476
小児科	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	4
産婦人科	81	79	86	76	90	71	70	70	86	67	72	85	933
眼科	6	8	7	9	8	13	5	6	13	10	10	12	107
皮膚科	7	9	5	8	9	6	11	8	8	6	7	8	92
泌尿器科	62	69	69	63	74	61	60	64	73	63	65	70	793
耳鼻咽喉科	44	39	55	49	46	55	48	52	56	51	48	45	588
精神・神経科	58	45	45	46	61	48	55	43	34	20	36	42	533
麻酔科	0	1	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	5
救急科	11	16	10	23	15	13	17	22	19	13	9	16	184
歯科・口腔外科	17	15	17	14	20	13	13	12	12	19	17	12	181
その他	10	10	11	15	3	7	14	7	12	10	7	13	119
合計	710	714	744	742	812	726	730	713	771	657	710	753	8,782

■ 薬剤・輸血関連実績

内訳	件数等
処方せん枚数（枚）	外 来： 415,511 / 入 院： 365,292
入院注射薬調製件数（件）	抗がん剤： 11,554 / 一般注射薬： 109,659
外来注射薬調製件数（件）	抗がん剤： 22,869 / 抗体製剤： 11,170 / 一般注射薬： 13,001
薬剤管理指導件数（件）	31,729
輸血用血液製剤使用数（単位）	59,865
輸血検査件数（件）	97,330

■ 画像・検体・生理機能検査実績

内訳	件数
単純撮影（健診含む）	172,413
CT（健診含む）	64,543
MRI（健診含む）	31,406
超音波（健診含む）	34,733
核医学 PET+SPECT	13,000
IVR（画像下治療）+血管造影	4,068
検体検査（輸血検査含まず）	9,936,570
生理機能検査	113,435

■ 公開講座・講演会・セミナー

診療科・部門	名称	開催場所	開催日
呼吸器内科	第 12 回呼吸器治療フォーラム	Web	2023/4/6
			2023/4/8
	呼吸器内科サタデーレクチャー	Web	2023/4/22
			2023/5/13
			2023/5/27
			2023/6/10
			2023/6/24
			2023/7/8
			2023/7/22
			2023/7/29
			2023/8/26
			2023/9/9
			2023/9/30
			2023/10/14
			2023/10/28
			2023/11/11
			2023/11/25
			2023/12/9

			2023/12/23 2024/1/6 2024/1/13 2024/1/27 2024/2/10 2024/2/24 2024/3/9 2024/3/23 2024/3/30
	Mepolizumab Severe Asthma National Conference in Fukuoka	ヒルトン福岡シーホーク	2023/4/9
	卒煙セミナー	TBS 放送	2023/4/26
	Respiratory symposium	Web	2023/5/10
	群馬県重症喘息地区講演会	群馬ロイヤルホテル	2023/5/12
	GSK Severe Expert Forum	渋谷エクセルホテル東急	2023/5/17
	Respiratory Expert Seminar	Web	2023/5/17
	こころとからだの健康	早稲田大学	2023/5/19
	GSK 喘息セミナーin 川崎	川崎コンベンションホール	2023/5/19
	GSK Asthma Seminar in Tokai	ホテルグリーンパーク津	2023/5/24
	Respiratory TV Symposium	Web	2023/5/26
	GSK severe asthma seminar	Web	2023/5/31
	ILD expert conference	明治記念館	2023/6/3
	GSK Severe Asthma Seminar	Web	2023/6/7
	Respiratory Total Care Seminar	ホテルブリランテ武蔵野	2023/6/12
	Meet the Expert on Lung Cancer 2023	Web	2023/6/14
	肺癌治療 WEB カンファレンス 2023	Web	2023/6/16
	Treatment of respiratory Partner meeting	Web	2023/6/23
	Total Allergist をめざす会	Web	2023/6/23
	GSK Early Summer Asthma National Forum	ザ・プリンスパークタワー東京	2023/6/25
	感染症フォーラム-COVID-19 診療を考える-	Web	2023/6/26
	Severe Asthma Symposium	Web	2023/6/28
	第 71 回アレルギーフォーラム	埼玉医科大学病院	2023/6/30
	LUMAKRAS Web Seminar	Web	2023/7/4
	AZ Immuno-Oncology Seminar	Web	2023/7/7
	Change COPD Meeting in 鳥取	ホテルモナーク鳥取	2023/7/12
	ILD expert seminar	TKP 市谷カンファレンスセンター	2023/7/18
	EGPA Management Webinar	Web	2023/7/28
	第 116 回呼吸生理フォーラム	京都アカデミアフォーラム	2023/7/29

Respiratory Expert Seminar 喘息・COPD のトータルケア	Web	2023/8/9
COPD Expert Meeting	Web	2023/8/25
香川重症喘息講演会 2023	JR ホテルクレメント高松	2023/8/25
Severe Asthma Symposium in TOKAI	Web	2023/8/25
Tokyo Lung Cancer Biopsy Seminar	Web	2023/8/26
One Air Way	Web	2023/9/1
GSK Asthma Portfolio National Conference in Osaka	リーガロイヤルホテル大阪	2023/9/3
新宿区喫煙防止教室	四谷第六小学校	2023/9/4
がん教育プログラム	杉並区立高南中学校	2023/9/9
GSK severe asthma seminar	Web	2023/9/15
Next Generation Respiratory & LC conference	Web	2023/9/15
Severe Asthma Management Seminar	名古屋マリオットアソシアホテル	2023/10/6
AstraZeneca SCLC Web Symposium	Web	2023/10/13
Severe Asthma Online Seminar	Web	2023/10/13
Daiichi Sankyo Web Seminar On Cancer Treatment	Web	2023/10/24
JRCNet Seminar	Web	2023/10/27
第 32 回 Pneumo Forum	Web	2023/10/28
COPD SEM from West-Kanagawa	神奈川県厚木	2023/11/2
Mepolizumab Severe Asthma National Conference in Sapporo	ロイトン札幌	2023/11/4
Global Respiratory Symposium 2023 East Japan	ベルサール東京日本橋	2023/11/6
COPD Scientific Exchange Meeting 2023 in Tokai	名古屋	2023/11/10
第 46 回ブラッシュアップセミナー in Yokohama	TKP ガーデンシティ PREMIUM みなとみらい	2023/11/17
Clinical research findings of Japan COVID-19 task force	Web	2023/11/21
GSK Severe Asthma Seminar	Web	2023/11/29
アレルギー診療の新展開～Dupilumab で切り拓く近未来～	ホテル雅叙園東京	2023/12/6
ILD PREMIUM Seminar	Web	2023/12/7
第 2 回宮崎好酸球研究会	Web	2023/12/14
新宿 lung cancer summit meeting Jr	Web	2023/12/15
Mepolizumab Severe Asthma National Conference in OSAKA	帝国ホテル大阪	2023/12/17
AZ Immuno-Oncology Seminar	Web	2023/12/19
肺機能セミナー	Web	2023/12/20
肺癌ゲノム医療カンファレンス	Web	2023/12/20
Scientific Exchange Meeting for Hokkaido Next 2023	京王プラザホテル札幌	2023/12/22
新宿区民講演会	新宿区四谷保険センター	2024/2/2
第 4 回 いまさら聞けない!! 肺がん化学療法セミナー	Web	2024/2/9
GSK the next stage in Severe Asthma Treatment	セルリアンタワー東急ホテル	2024/2/9
Respiratory symposium in 千葉	Web	2024/2/16

	Cross-disciplinary Conference 2024	Web	2024/2/19
	Respiratory TV Symposium	Web	2024/3/1
	Mepolizumab Severe Asthma National Conference in Fukuoka	ヒルトン福岡シーホーク	2024/3/2
	SAS 診療 Up to Date	Web	2024/3/7
	GSK Eosinophilic Disease Seminar in 群馬	群馬ロイヤルホテル	2024/3/29
循環器内科	インターネット講演会	Web	2023/6/2
	第 95 回 東京心臓の会	Web	2023/6/10
	千駄木心不全勉強会	Web	2023/6/12
	第 36 回 茨城県 PCI 研究会	Web	2023/7/27
	第 5 回若手医師セミナー	Web	2023/8/2
	第 33 回 慶應医師会 市民公開講座	慶應義塾大学病院	2023/10/4
	第 42 回 朝日健康ゼミナール	有楽町	2023/10/15
	第 14 回循環器地域連携勉強会	Web	2023/10/18
	第 69 回 日本内科学会信越支部生涯教育講演会	新潟	2023/10/21
	地域で考える狭心症治療	Web	2023/11/17
	第 77 回 神奈川循環器講演会	Web	2023/11/25
	Next Generation Forum in Ehime	Web	2023/12/4
	心不全 Conference in 多摩	TAMA MIRAI Square	2023/12/12
	第 15 回 KiCS 循環器科レジストリ・オープンセミナー	Web	2023/12/18
	第 37 回 乙訓循環器懇話会	Web	2024/2/15
	愛知県循環器病対策推進セミナー	TKP ガーデンシティ名古屋	2024/3/1
	川崎医療連携会	ステーションコンファレンス川崎	2024/3/13
消化器内科	日本消化器病学会総会ランチョンセミナー	出島メッセ長崎	2023/4/6
	第 109 回日本消化器病学会総会モーニングセミナー 8	出島メッセ長崎	2023/4/8
	慢性便秘症 web セミナー in 首都圏	Web	2023/4/28
	日本消化器内視鏡学会総会ランチョンセミナー	グランドプリンスホテル新高輪	2023/5/26
	内視鏡学会総会ランチョンセミナー	高輪ホテル	2023/5/26 2023/5/27
	病態制御内科学セミナー	Web	2023/5/29
	IBD Forum in Sano	Web	2023/6/7
	Hepato-Diabetology Conference	Web	2023/6/7
	3 大学合同講演会	パレスホテル大宮	2023/6/9
	信濃町リバーカンファレンス	Web	2023/6/12
	春季消化器疾患学術講演会	明治記念館	2023/6/21
	関東胆膵疾患研究会	横浜	2023/6/22
	第 2 回信州消化器学術セミナー	Web	2023/6/26
	第 23 回関東胆膵治療懇話会	東京	2023/7/1

	内視鏡学会関東地方会教育講演会	Web	2023/7/8～ 2023/7/23
	腸脳相関研究会 2023	Web	2023/10/11
	Ulcerative Colitis 全国 WEB セミナー	Web	2023/10/20
	消化器病学会北陸支部教育講演会	金沢大学	2023/10/22
	第 2 回ガットフレイル研究会	島津製作所基盤技術研究所	2023/11/1
	JDDW2023	神戸ポートピアホテル	2023/11/3
	第 3 章腸内微生物叢研究の最前線シリーズ（第 8 弾）	Web	2023/11/7
	日本消化器病学会関東支部第 43 回教育講演会	Web	2023/11/19
	第 9 回信濃町上部消化管セミナー	Web	2024/1/24
	第 28 回慶應義塾大学内視鏡懇談会	慶應義塾大学病院	2024/1/12
	信濃町胆膵カンファレンス	慶應義塾大学病院	2024/2/7
	Tokyo Pancreatobiliary Workshop	Web	2024/3/23
腎臓・内分 泌・代謝内科	DUAL Seminar in 東京	Web	2023/4/21
	Mounjaro online Seminar	Web	2023/5/15
	ケレンディア WEB カンファレンス	Web	2023/5/23
	第一三共 Web Seminar～各ご専門のお立場より～	Web	2023/5/23
	Updated Meeting of Sarcopenia	Web	2023/5/24
	Hypertension Expert Meeting	ノバルティスファーマ株式会社本社	2023/6/7
	城南 Communications	Web	2023/6/12
	Diabetecs Therapy Web	Web	2023/6/14
	第 3 回 SAP 合同医局会	Web	2023/6/20
	KOWA Web Conference	Web	2023/6/21
	血圧から見る多発性嚢胞腎	Web	2023/6/22
	GLP-1 updated web seminar	Web	2023/6/22
	糖尿病 WEB ライブセミナー	Web	2023/6/28
	糖尿病教室	慶應義塾大学病院	2023/7/8 2023/9/30 2023/11/2 2024/1/13 2024/2/8 2024/3/23
	Meet the Expert～高血圧治療について考える～	Web	2023/7/10
	第 12 回大分糖尿病治療研究会	J:COM ホルトホール大分	2023/7/18
	第 235 回 練馬区医師会学術部 消化器懇話会	ホテルカデンツァ東京	2023/7/20
	神経障害性疼痛と内分泌疾患 Web セミナー	Web	2023/7/27
	GUT FORUM 2023	Web	2023/8/5

Cardio-Renal Collaboration Seminar	Web	2023/8/23
Nephrology Expert Seminar～腎病理 Up to date～	Web	2023/8/24
Meet the Expert 糖尿病に合併する高血圧治療について考える	Web	2023/8/30
第 6 回病薬連携セミナー	Web	2023/9/7
新宿区医師会戸塚支部二火会学術講演会	Web	2023/9/12
Sanofi Meet the expert 2023	Web	2023/9/12
Nephrology Expert Seminar	Web	2023/9/20
Renal Endocrine Metabolism Web conference	Web	2023/9/26
KYOWA KIRIN リモートセミナー	Web	2023/10/5
第 16 回 中小病院実務研究会	Web	2023/10/14
杉並区医師会 2 組学術講演会	AP 西新宿	2023/10/18
Clinical&Basic Research 糖尿病と神経障害性疼痛	Web	2023/10/18
第 7 回文京腎研究会	お茶の水ソラシティカンファレンスセンター	2023/10/19
ARNI 高血圧 Diabetes Expert Meeting	Web	2023/10/26
Evrenzo Summit～エベレンゾ発売 4 周年を迎えて～	アステラス製薬株式会社	2023/11/11
ARNI Hypertension Web Seminar	Web	2023/11/20
糖尿病先制医療研究会	京王プラザホテル	2023/11/21
糖尿病トータルケアセミナー	Web	2023/11/21
第 49 回慶應産業保健研究会	明治記念館	2023/12/7
Cardio-Renal Web Seminar	Web	2023/12/12
肥満と痛み Web セミナー	Web	2023/12/14
腎臓病教室	慶應義塾大学病院	2023/12/15 2024/3/9
Diabetes Seminar～合併症管理について考える～	Web	2023/12/18
RETIONO-DOMINO Conference 2023	Web	2023/12/19
1st Endocrinology and Metabolism Annual Dialogue	ハイアットリージェンシー東京	2024/1/6
第 18 回 JJK 東京 腎・脈管フォーラム	住友会館	2024/1/11
慶應義塾大学 頭蓋底センター 学術講演会	京王プラザホテル	2024/1/24
腎臓内分泌 WEB セミナー	Web	2024/1/30
日野市医師会学術講演会	Web	2024/2/6
心腎連関から考える糖尿病セミナー	Web	2024/2/13
都立荏原病院 NST 講演会	Web	2024/2/15
第 17 回 慶應腹膜透析カンファレンス	TKP ガーデンシティ PREMIUM 東京駅丸の内中央	2024/2/16
下垂体診療連携セミナー	帝人株式会社	2024/2/21
3 市医師会学術講演会	Web	2024/2/21
人生 100 年時代の健康寿命を考える会	Web	2024/2/27
SAS 診療 Up to Date	帝人株式会社	2024/3/7

	Forxiga Lunch Seminar TV	Web	2024/3/19
	第 26 回 BRB Nephrology Conference	Web	2024/3/30
血液内科	Hematology Meeting in Tochigi	Web	2023/5/25
	新宿血液ネットワークセミナー	京王プラザホテル	2023/7/18
	第 9 回 ATL 疾患検討会	東京コンファレンスセンター品川	2023/9/2
	第 10 回 Keio Hematology Alliance 研究会	Web	2023/9/6
	Breyanzi WEB Seminar	Web	2023/9/8
	CAR-T Seminar in Capital Area	Web	2023/10/18
	臨床薬学研究会	Web	2023/10/25
	AML WEB シンポジウム	Web	2023/11/1
	第 62 回日本臨床細胞学会 要望講演	福岡国際会議場	2023/11/5
	Tokai Hematological malignancy Club	Web	2023/11/10
	第 9 回日本 HTLV-1 学会学術集会 アフタヌーンセミナー 1	京都テルサ	2023/11/11
	CAR-T Network in Saitama	Web	2023/11/15
	Shinjuku AML Seminar	Web	2024/1/10
	PNH WEB セミナー	Web	2024/2/8
	第 14 回近畿血液疾患研究会	スイスホテル南海大阪	2024/2/16
	がん Leaders Conference ～がんゲノム & DVT 最前線～	Web	2024/3/15
	第 25 回東京骨髄病理研究会	ステーションコンファレンス東京	2024/3/16
リウマチ・膠原病内科	IL-6 の未来を考える会 ～Sarilumab 5th Anniversary～	Web	2023/4/6
	第 55 回大阪リウマチカンファレンス	北浜フォーラム	2023/4/8
	東北 SLE セミナー2023	盛岡	2023/4/12
	関節リウマチと肺病変を考える会	岡山	2023/4/14
	第 67 回日本リウマチ学会・学術集会 記念市民公開講座	北九州国際会議場メインホール	2023/4/29
	成人スチル病 WEB セミナー	Web	2023/5/11
	2023 年なでしこ RA フォーラム Part2	Web	2023/5/25
	ケブザラ 5 周年記念講演会 in 新潟	ANA クラウンプラザホテル新潟	2023/5/26
	第 15 回埼玉 biologics 研究会	THE MARK GRAND HOTEL	2023/5/27
	第 10 回若手整形外科のためのリウマチ Web セミナー	中外製薬 熊本オフィス	2023/5/29
	第 13 回市民公開講座	藤沢商工会 ミナパーク	2023/6/10
	第 15 回トシリズマブ適正使用検討会	中外製薬 松山オフィス	2023/6/14
	Lupus Expert Seminar	ボストンプラザ草津	2023/6/20
	若年関節リウマチ女性のライフイベントを考える会 in Tohoku	仙台市内ホテル	2023/6/24
	GSK LEAP Webinar	Web	2023/6/28
	ゼルヤンツ RA10 周年 UC5 周年講演会	都内	2023/6/29
	群馬リウマチ講演会-肺病変合併を考える-	前橋	2023/6/30
	早期 RA 治療を考える会 in 島根	出雲ツインリーブス	2023/7/7

CIM10 周年	Web	2023/7/13
Meet the Experts 成人スチル病	函館	2023/7/14
ケブザラ発売 5 周年記念講演会	金沢	2023/7/15
RA National Conference 2023	東京	2023/7/23
第 4 回 IL-6 Expert Forum in 岡山	ホテルグランビア岡山	2023/8/21
JAK 研究会 2023	新潟	2023/8/25
愛知 RA と IL-6 研究会	名古屋	2023/8/26
若手膠原病の会	大阪	2023/9/2
次世代が挑む難治性病態の会	宮崎県	2023/9/5
多摩西南地区リウマチフォーラム	京王プラザホテル八王子	2023/9/7
栃木リウマチ研究会	ライトキューブ宇都宮	2023/9/8
リウマチの治療とケア教育研修会	東京ステーションカンファレンス	2023/9/10
第 18 回順天堂リウマチ・膠原病研究会	東京ドームホテル	2023/9/16
第 9 回福島県 IL-6 講演会	エルティウエディング	2023/9/22
第 17 回埼玉西南地区リウマチ研究会	新座市	2023/9/27
統計メトジェクト	東京	2023/9/29
Small RA Meeting	宇都宮	2023/10/12
メトジェクト Expert Meeting in 近畿北陸	大阪	2023/10/17
CMZ10 周年 in 神戸	神戸	2023/10/19
千葉 SLE 診療連携セミナー	浦安ブライTONホテル	2023/10/24
メトジェクト適正使用講演会 in 桜山	名古屋	2023/10/25
RINVOQ Digital Platform From MIYAZAKI	宮崎市	2023/10/27
IL-6 研究会	グランドプリンスホテル新高輪	2023/10/28
JOY in KANAZAWA 2023	ハイアットセントリック金沢	2023/10/29
IL-6 Expert Forum in Kagoshima～Sarilumab 5th Anniversary～	グランドプリンスホテル新高輪	2023/11/8
RA・OA communication 2023	三重県津市	2023/11/9
Rheumatoid Arthritis Web Seminar	ホテルマリオット名古屋	2023/11/16
JAK 阻害剤を考える会 in 帯広	帯広市内ホテル	2023/11/27
東京都医師会生涯教育講座	東京都医師会館	2023/12/14
RA-ILD	金沢	2023/12/19
岐阜 CIM 講演会	岐阜	2023/12/21
SLE Expert Online Seminar	中之島ダイビル	2023/12/23
リウマチ治療を考える会 in 東海	浜松市内ホテル	2024/1/12
東京都臨床整形外科医会 (TCOA)	東京	2024/1/13
RA-ILD	東京	2024/1/17
ナノゾラオートインジェクター発売記念 Web セミナー	Web	2024/1/20
Thrive Leaders Workshop (Phase3)	ホテルグランヴィア京都	2024/1/28

	関節リウマチ Up to date in 豊明	名古屋マリオットアソシア	2024/1/31
	RA Expert Meeting in 北九州	北九州ホテル	2024/2/13
	TAISHO 関節リウマチセミナー in 湘南・鎌倉	鎌倉プリンスホテル	2024/2/14
	第1回岩手リウマチ多職種連携の会	岩手	2024/2/16
	TAISHO Rheumatoid Arthritis Seminar	東京	2024/2/27
	AUTOIMMUNE DISEASE YOUNG EXPART MEETING	岡山	2024/2/29
	MS ウィメンズデイ	Web	2024/3/9
	メトジェクト皮下注講演会	神戸	2024/3/12
	TNF 阻害薬の最適な使用法を考える	宇都宮	2024/3/15
	メトジェクト発売1周年記念講演会	東京	2024/3/23
総合診療科	地域医療における多職種連携	東京国際フォーラム	2023/4/16
	第9回 KEIO ジェネラリストセミナー	Web	2023/4/20
	多様性と包摂のある社会を創る	東京国際フォーラム	2023/4/22
	Virtual Reality(VR)を活用した在宅医療教育の可能性	ポートメッセなごや	2023/5/14
	第10回 KEIO ジェネラリストセミナー	Web	2023/6/22
	新・医学教育モデル・コア・カリキュラムに追加された「総合」の学び方・教え方	Web	2023/6/22
	第2回プライマリ・ケア看護研修	日本医療福祉生活協同組合連合会ビル	2023/7/2
	多職種に影響する医師の特性	Web	2023/7/15
	多職種連携教育をどのようにシームレスに行うのか	出島メッセ長崎	2023/7/28
	医学教育に新たに求められる資質・能力「GE：総合的に患者・生活者をみる姿勢（Generalism）」の狙いと実践 ～令和4年度改訂版モデル・コア・カリキュラムを題材に～「GE：総合的に患者・生活者をみる姿勢」にある4つの視点とアプローチを学ぶためには？	出島メッセ長崎	2023/7/28
	モデル・コア・カリキュラムを軸とした共にお互いからお互いについて学び合うための多職種連携教育の設計 モデル・コア・カリキュラムから考えるシームレスに多職種連携を学ぶプログラム開発と評価	出島メッセ長崎	2023/7/29
	現場の多職種連携を振り返る	Web	2023/8/24 2023/9/21
	在宅医療におけるVR（Virtual Reality）を活用した学習効果の探索	日本医科大学	2023/8/27
	第11回 KEIO ジェネラリストセミナー	Web	2023/8/30
	医学教育の歴史と理論的な背景、そしてこれから	Web	2023/9/20
	専門職連携教育(Interprofessional Education:IPE)は今なぜ求められているのか？ 学生/教員は何を意識すればよいのか？	神戸学院大学	2023/9/30
	第12回 KEIO ジェネラリストセミナー	Web	2023/10/5
	The Impact of Societal Changes on Health and the Needs for Collaborative Solutions in Japan	National Taiwan University College of Medicine Lecture Hall	2023/11/4
	多職種連携能力の獲得 教育講演	Web	2023/11/26

	屋根瓦式指導の背後にある理論 成人学習と実践共同体の交差点	長崎大学病院	2023/12/8
	人文社会科学や情報工学者との共同研究で見えてきた知見	Web	2023/12/17
	第 13 回 KEIO ジェネラリストセミナー	Web	2024/1/25
	第 14 回 KEIO ジェネラリストセミナー	Web	2024/3/21
	プライマリ・ケア領域の薬剤師の役割	パシフィコ横浜	2024/3/31
一般・消化器 外科	uHCC Expert Seminar	Web	2023/4/3
	KEYTRUDA National Symposium for Esophageal Cancer in Tokyo	ホテルニューオータニ東京	2023/4/15
	ゼロコンシアター	Web	2023/4/21
	Up to Date Information of LEAD	Web	2023/5/23
	第 12 回大阪血管疾患懇話会	梅田スカイビル	2023/6/10
	Meet the Specialist WEB Conference2023	高崎モノリス	2023/6/20
	第 24 回下関循環器研究会	下関グランドホテル	2023/6/22
	Esophageal Cancer Forum in Tokyo	京王プラザホテル	2023/6/22
	第 48 回食道内視鏡外科研究会	大阪国際会議場	2023/6/30
	信濃町フットケア講演会	Web	2023/7/1
	食道がん 1 次治療承認 1 周年記念講演会	ANA インターコンチネンタルホテル東京	2023/7/22
	肝硬変・肝不全 Web セミナー	Web	2023/7/22
	横浜南循環器談話会	横浜南共済病院講堂	2023/8/24
	心臓血管外科サマースクール 2023 教育セミナー	ANA インターコンチネンタルホテル東京	2023/8/26
	Tokyo Sepsis Forum 2023	明治記念館	2023/8/29
	東京 Vascular 研究会	Web	2023/9/2
	透析合併症セミナー	カネカメディックス東京事業所	2023/9/6
	AMESA 特別企画 AMG 外科フォーラム	上尾中央総合病院	2023/10/2
	Shinanomachi Meeting	Web	2023/10/12
	The 12th Chugai Oncology Seminar in SHINANOMACHI	Web	2023/11/8
	慶應義塾大学・九州大学 Collaboration Seminar	Web	2023/11/10
	第 23 回別府癌治療懇話会	ビーコンプラザ別府	2023/11/21
	第 40 回肝臓内視鏡外科ハンズオンセミナー	インテュイティブサージカル	2023/11/26
	第 11 回東京周術期管理講演会	Web	2023/12/20
	外科感染症フォーラム 2024	ホテルニューオータニ東京	2024/1/12
	市民公開講座	一橋大学	2024/1/13
	外科フォーラム 2024	ベルサール東京日本橋	2024/1/27
	Keio Breast Cancer Symposium	明治記念館	2024/1/31
	第 18 回 食道・胃外科フォーラム	品川プリンスホテル	2024/2/3
	第 8 回 Supportive Care Conference	Web	2024/2/14
	肝がんクラスター講演会 2024	明治記念館	2024/2/19
	Next Generation Digestive Surgery Forum	高松国際ホテル	2024/2/23

	Tokyo Symposium of Gastric Cancer 2024	九段会館テラス	2024/2/24
	食道がんオブジーボ WEB ライブセミナー	Web	2024/3/11
呼吸器外科	第 11 回 医療連携推進フォーラム	Web	2023/4/7
	中外製薬 社内研修会	中外製薬株式会社	2023/4/21
	中外 e セミナー on Lung Cancer 凍結診断・治療セミナー	Web	2023/5/19
	第 4 回呼吸器外科ビデオセミナー	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社	2023/6/9
	AI ホスピタル事業関連プロジェクト報告会	慶應義塾大学病院	2023/6/14
	慶應呼吸器外科安全使用 Web セミナー	Web	2023/6/23
	Meet the Expert on Lung Cancer	Web	2023/7/5
	Lung Cancer Surgery Seminar	明治記念館	2023/7/21
	慶應義塾大学関連病院会 2023 年度春季総会	慶應義塾大学病院	2023/7/22
	Ethicon Plenary	Web	2023/9/14
	中外製薬 WEB 講演会	東京医療センター	2023/10/25
	Lung Cancer Web Symposium	Web	2023/11/14
	第 8 回山形呼吸器外科手術手技セミナー	ホテルメトロポリタン山形	2023/11/25
	肺癌周術期治療 WEB 検討会 ブリストル	Web	2023/12/4
	Lung Cancer Symposium2023	京王プラザホテル	2023/12/14
	中外肺癌 GCP 講演会	Web	2023/12/20
	コヴィディエンジャパンの初期臨床研修医向け webinar+ティッシュラボ	Web	2023/12/22
	TAGRISSO 座談会	アストラゼネカ	2024/1/8
	第 43 回慶應関連薬剤部長会	明治記念館	2024/1/13
	Lung Cancer Surgery Seminar	明治記念館	2024/1/24
	第 1 回 JATS-NEXT Annual Conference アフタヌーンセミナー	大阪ナレッジキャピタル	2024/1/27
	第 5 回呼吸器外科ビデオセミナー	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社	2024/2/2
	令和 5 年度東京都大学医師会連絡協議会	京王プラザホテル	2024/2/7
	第一三共 社内研修会	第一三共本社ビル	2024/2/14
	群馬県呼吸器外科懇話会	ホテルサンダーソン	2024/2/15
	17th GTSF	品川グランドホール	2024/2/17
	Lung CancerWeb シンポジウム	Web	2024/2/20
	Expert Surgery Web Seminar 2024	Web	2024/3/6
	Thoracic Cancer Expert Seminar	Web	2024/3/13
	AZ Lung Cancer Adjuvant Seminar	Web	2024/3/22
	Lung Cancer Rehabilitation Starting Point Seminar	Web	2024/3/27
心臓血管外科	心臓手術周術期 iNO セミナー	明治記念館	2023/4/14
脳神経外科	Neurosurgery Expert Web Seminar	Web	2023/6/4
	SAH Seminar	ハイアットリージェンシー東京	2023/7/1
	Brain & Mind Collaboration Web Seminar	第一三共株式会社	2023/7/19

	Neurosurgery Expert Web Seminar	Web	2023/8/30
	第 26 回 Cadaver Dissection Course	慶應義塾大学病院	2023/9/2-3
	第 27 回 KNC 脳疾患研究会	Web	2023/11/18
	第 10 回経鼻内視鏡手術シミュレーションセミナー	慶應義塾大学病院	2024/3/2
小児外科	教育セミナー	グランドプリンスホテル新高輪	2023/4/14
	Medii E-カンファレンス	Web	2023/8/3
	professional meeting	Web	2023/8/6
	乳幼児健診を中心とする小児科医のための研修会	Web	2023/8/20
	共済シンポジウム「難治性リンパ管疾患への薬物療法」	今池ガスホール	2023/9/8
	患者会参加シンポジウム	今池ガスホール	2023/9/8
	シンポジウム「血管腫・脈管奇形・血管奇形・リンパ管奇形に対する新しい治療戦略」	ロイトン札幌	2023/10/1
	難治性リンパ管疾患 Expert Seminar in 千葉	Web	2023/11/1
	第 14 回信濃町小児がんクラスター症例検討会	TKP 新宿西口	2024/2/19
整形外科	第一三共 Web Seminar on cancer treatment	Web	2023/4/19
	熊本運動器疾患懇話会（令和 5 年度）	熊本県医師会館	2023/4/21
	IoT デザインガール+MC7:M18	Web	2023/5/8
	山梨骨粗鬆症フォーラム	山梨	2023/5/18
	浜松整形外科セミナー	浜松医科大学	2023/5/20
	第 23 回 岐阜整形外科教育研修会講演	岐阜グランドホテル	2023/5/27
	慶應産業保険研究会共催講演会	御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター	2023/5/31
	第 16 回京大外傷研究会	TKP 新大阪ビジネスセンター	2023/6/3
	シンポジウム：認知症問題解決のためのサイエンス	福岡市科学館	2023/6/4
	再生・細胞医療が届く未来に向けたキックオフイベント	Research Gate Building TONOMACHI	2023/6/7
	山梨 CST セミナー2023	山梨	2023/6/10
	整形外科グロースアップセミナー2023 脊椎編	Web	2023/6/13
	つなぐセミナー	中野区医師会	2023/6/15
	CoEsse ユーザー会シンポジウム	ロイヤルホールヨコハマ	2023/6/22
	慶鹿会 発足記念講演	鹿児島	2023/6/23
	京都整形外科医会	TKP ガーデンシティ京都	2023/6/24
	Pain management web	Web	2023/6/27
	脊椎疾患セミナー in 大分	大分	2023/6/29
	整形疾患セミナー in 姫路	ホテル日航姫路	2023/6/30
	AZ・慶應セミナー	湘南アイパーク	2023/7/5
	手外科医のための末梢神経障害 web セミナー	Web	2023/7/12
	EZO セミナー	科研製薬	2023/7/22
	日大さくら整形外科フォーラム	名古屋イオンモール	2023/7/22
	ムーンショット型研究開発事業・みらい健康ラボ	名古屋イオンモール	2023/7/23

	第 35 回 徳大脊椎外科カンファレンス	徳島	2023/8/13
	GRIPS 科学技術イノベーション政策プラットフォーム検討会	GRIPS 3 C 会議室	2023/8/25
	千葉県整形外科医会 第 42 回整形外科夏期卒後研修会	ホテルスプリングス幕張	2023/8/27
	ヘルスケア研究会	バイオインダストリー協会	2023/9/1
	第 3 回 信濃町上肢の外科セミナー	コモレ四谷タワーコンファレンス	2023/9/16
	第 30 回 脊髄損傷理学療法研究会 特別講演	神奈川リハビリテーション病院	2023/9/30
	日本ラグビー協会 研究報告会	JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE	2023/10/8
	BioJapan	パシフィコ横浜	2023/10/12
	AMED 原材料供給事業・市民公開セミナー	Web	2023/10/14
	慈恵医科大学整形外科同門会講演	東京プリンスホテル	2023/10/21
	令和 5 年川崎三四会セミナー	ステーションコンファレンス川崎	2023/10/25
	南風病院講演会 医療の最前線	南風病院	2023/10/27
	損害保険ジャパン講演会	損保ジャパン	2023/10/27
	再生医療特論	Web	2023/11/6
	山口県整形外科セミナー	第一三共株式会社	2023/11/8
	静岡県東部臨床整形外科医学会学術講演会	沼津リバーサイドホテル	2023/11/20
	第 95 回 山形整形外科研究会 講演	山形大学医学部	2023/11/25
	痛みの治療フォーラム	明治記念館	2023/12/7
	第 24 回 慶應科学技術展・KEIO TECHNO-MALL 2023	東京国際フォーラム	2023/12/15
	第 16 回 慶應義塾大学整形外科上肢班冬期研修会	目黒雅叙園	2024/1/13
	第 25 回 KSG 研究会	大坂	2024/1/20
	Asahi 股関節セミナー	Web	2024/1/23
	東京西ロータリークラブ 講演会	The Okura Tokyo	2024/1/26
	地域連携のための脊椎疾患セミナー	Web	2024/2/15
	RINK FESTIVAL 2024 with LINK-J	東京ミッドタウン八重洲	2024/2/16
	つきじ放射線研究会	聖路加国際大学	2024/2/17
	2023 年度全国脊髄損傷者連合会 ビアサポータースキルアップ研修	アスティ 45 ACU-A 中研修室	2024/2/17
	第 66 回 獨整会学術講演会	宇都宮東武ホテルグランデ	2024/2/21
	東葛北部 整形外科セミナー	聖徳大学	2024/3/5
	徳大整形登竜門会	徳島大学藤井節郎記念ホール	2024/3/8
	Pain Live Symposium in Hyogo	Web	2024/3/13
	脊椎疾患 Up To Date	東京	2024/3/21
リハビリテーション科	第 39 回 リハビリテーション医療懇話会	慶應義塾大学病院	2023/7/22
	東京都地域リハビリテーション支援事業研修会	Web	2023/7/28
	杉並区高次脳機能障害者支援セミナー	杉並区役所	2023/9/9
	GSK 痙攣治療アドバンスセミナー in 兵庫	ホテルクラウンパレス神戸	2023/9/15
	東京都高次脳機能障害支援普及事業研修会	Web	2023/9/21

	臨床筋電図・電気診断学入門講習会	Web	2023/10/14
	リンパ浮腫ケア研修会	慶應義塾大学病院	2023/11/22
	A D L 評価法講習会	Web	2023/11/25
	GSK 痙縮治療アドバンスセミナー	Web	2024/2/14
	東京都地域リハビリテーション支援事業研修会	Web	2024/3/19
形成外科	口唇口蓋裂のチームアプローチと治療方針に関する第 44 回研究会	Web	2023/7/19
	口唇口蓋裂のチームアプローチと治療方針に関する第 45 回研究会	Web	2024/1/17
小児科	JAPAN IPP セミナーシリーズ	Web	2023/4/11～ 2023/9/12
	第 44 回永田町こども未来会議	衆議院第 2 議員会館	2023/4/12
	症例検討、セミナーなど	Web	2023/4/12～ 2024/3/13
	WT 1 遺伝子異常症	Web	2023/4/14
	第 45 回慶應感染班勉強会（症例検討会）	慶應義塾大学病院	2023/4/19
	慶應小児アレルギー班勉強会	Web	2023/4/22
			2023/5/20
			2023/6/17
			2023/7/15
			2023/9/16
			2023/12/16
			2024/1/20
			2024/2/17
			2024/3/2
	京都大学大学院医学研究科ゲノム医療学講義	Web	2023/4/28
	熊本 M&M カンファレンス第 3 回学術講演会	熊本市医師会館	2023/4/28
	シナジス関西エキスパートミーティング	Web	2023/5/13
	草加市子ども急病夜間クリニック救急トリアージ研修会	アークプラザ	2023/5/20
	第 65 回日本小児神経学会学術集会実践教育セミナー	岡山コンベンションセンター・岡山県医師会館	2023/5/24
	第 65 回日本小児神経学会学術集会シンポジウム	岡山コンベンションセンター・岡山県医師会館	2023/5/27
	乳幼児精神保健オンライン I 期	Web	2023/6/2
	つきのみや会	埼玉会館	2023/6/7
	第 15 回 Sedation Essence in Children Under Restricted Environment コース	香川県立中央病院	2023/6/17
	国立障害者リハビリセンター関係発達臨床講義	国立障害者リハビリセンター	2023/7/5
	第 59 回日本周産期・新生児医学会教育講演	名古屋国際会議場	2023/7/9
	第 59 回日本周産期新生児学会	名古屋国際会議場	2023/7/9～ 2023/7/11

	第 32 回日本心エコー図学会夏期講習会	Web	2023/7/23
	南関東小児呼吸器勉強会@信濃町	慶應義塾大学病院	2023/7/29
	科学的な考え方	名古屋	2023/8/20
	AMED「成育疾患克服等総合研究事業」・「女性の健康の包括的支援実用化研究事業」連携シンポジウム	Web	2023/9/16
	副腎ホルモン産生異常	Web	2023/12/16
産科	千葉県産科婦人科医学会研修会	オークラ千葉ホテル	2023/4/17
	第 18 回 2023 Miss SAKE ナデシコプログラム	石川酒造	2023/4/23
	Perinatal Seminar in 多摩	Web	2023/4/28
	令和 5 年度岐阜産科婦人科学会	じゅうろくプラザ	2023/5/21
	社内講師セミナー	日本新薬株式会社東京支店	2023/5/22
	第 145 回関東連合産科婦人科学会学術集会 教育講演	都市センターホテル	2023/6/18
	第 243 回熊本産科婦人科学会学術講演会	ANA クラウンプラザ熊本ニュースカイホテル	2023/7/1
	第 8 回日本母性内科学会学術集会 特別講演	御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター	2023/7/23
	市民公開講座	コラッセふくしま	2023/8/5
	FAOPS2023 モーニング・ランチョンセミナー	京王プラザホテル	2023/10/8
	第 4 回熊本 M&M カンファレンス学術講演会	熊本市医師会館	2023/10/12
	Dr's Prime Academia 勉強会	Web	2023/10/18
	GE HealthCare 2023 産婦人科 Web seminar	Web	2023/10/26
	日本女子大学特別講義	日本女子大学	2023/10/26
	函館産婦人科医会学術講演会	Web	2023/10/27
	生殖医療ガイドライン作成と改訂に向けたプロセス	Ferring 本社	2023/11/17
	第 34 回日本医学会公開フォーラム	日本医師会館	2023/11/25
	産科の現場のリアル（分娩対応）について	ゼリア新薬東京支店	2023/12/22
	東京医科大学産科婦人科学分野 同窓会	京王プラザホテル	2024/1/6
	日本臨床エンブリオロジスト学会学術集会	国際医療福祉大学 東京赤坂キャンパス	2024/1/7
	日本新薬社内講演	日本新薬京都本社	2024/1/31
	昭和女子大学特別講義	昭和女子大学	2024/2/6
	ART Clinical Research Conference	TKP ガーデンシティ Premium 秋葉原	2024/2/9
	産科領域における各種対応要領について	Web	2024/2/20～ 2024/3/20
	2024 年女性の健康週間 丸の内キャリア塾スペシャルセミナー	Web	2024/3/1
	新百合ヶ丘総合病院胎児エコーセミナー	新百合ヶ丘総合病院	2024/3/2
	科研製薬社内勉強会	科研製薬本社	2024/3/4
	IDA web seminar～周産期から見た貧血治療～	Web	2024/3/5
	周産期領域における貧血治療の実際	日本新薬城西営業所	2024/3/8
	生殖細胞・生殖系列に関する生命倫理セミナー	Web	2024/3/9

	子宮内膜症・良性子宮疾患の取り扱いと生殖医療に関する座談会	ラストシティ・カンファレンス丸ノ内	2024/3/20
	第 45 回 DOHaD 寺子屋	Web	2024/3/23
	2023 年度スポーツライミング部医科学委員会主催 Web セミナー	Web	2024/3/31
婦人科	慶應義塾大学病院 第 11 回医療連携推進フォーラム	Web	2023/4/7
	日本産科婦人科学会学術講演会ランチョンセミナー	東京国際フォーラム	2023/5/14
	慶應 HBOC センター市民公開講座 遺伝性乳がん卵巣がんを知らう！2023	慶應義塾大学病院	2023/6/10
	東京子宮体がん Web セミナー	Web	2023/7/20
	Endometrial Cancer Symposium in Tokyo	芝パークホテル	2023/8/21
	信州 Endometrial Cancer Seminar	Web	2023/9/1
	産科婦人科内視鏡学会ランチョンセミナー	びわ湖大津プリンスホテル	2023/9/14～ 2023/9/16
	愛知県産婦人科医会 第 6 回学術研修会	東京第一ホテル錦	2023/9/16
	新宿・中野・杉並 三区合同学術講演会	杉並区医師会館	2023/9/26
	第 2 回卵巣癌治療の「未来」を考える in 南東北	TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口	2023/9/28
	女性のための健康セミナー	Web	2023/10/1～ 2023/10/30
	Endometrial Cancer Web Seminar	Web	2023/10/3
	慶應婦人科関連医局セミナー	Web	2023/10/12
	Endometrial Cancer Seminar in 湘南	Web	2023/10/17
	第 69 回埼玉 KG 会	パレスホテル大宮	2023/10/26
	第 48 回岡山産科婦人科学会学術講演会	岡山県医師会館 三木記念ホール	2023/11/19
	HPV ワクチンセミナー ～子宮頸がんの予防と治療～	ベルクラシック旭川	2023/11/24
	慶應義塾大学関連病院会 2023 年度秋季総会	慶應義塾大学病院	2023/12/9
	第 3 回滋賀県産科婦人科医会学術研修会	びわ湖大津プリンスホテル	2023/12/17
	Endometrial Cancer Seminar in 新潟	ホテルオークラ新潟	2024/1/19
	Gifu Gynecologic Cancer Webinar	Web	2024/1/25
	第二回 桜山 Endometrial Cancer Seminar	Web	2024/1/26
	愛知産婦人科地域連携講演会	名鉄グランドホテル	2024/2/3
	子宮がん検診従事者講習会	鳥取県西部医師会館	2024/2/4
	Endometrial Cancer Web Seminar	昭和大学上條記念館	2024/2/6
	Gynecological Cancer Rainbow Conference in FUKUOKA	Web	2024/2/16
	Endometrial Cancer Meeting in 栃木	ライトキューブ宇都宮	2024/2/22
	Endometrial Cancer Web Seminar in 佐倉	Web	2024/3/1 2024/3/18
	Endometrial Cancer Seminar in 大阪	Web	2024/3/27
眼科	慶大眼科臨床懇話会	慶應義塾大学病院	2024/2/7
皮膚科	関東臨床皮膚疾患研究会	明治記念館	2023/10/26

	皮膚免疫癌研究会	明治記念館	2024/3/21
泌尿器科	5th Urology Conference at Shinanomachi	慶應義塾大学病院	2023/9/29
	The 3rd International Congress of the Asian Oncology Society	パシフィコ横浜	2023/10/19～ 2023/10/21
	第 61 回日本癌治療学会学術集会	パシフィコ横浜	2023/10/19～ 2023/10/21
	第 61 回日本癌治療学会学術集市民公開講座	パシフィコ横浜 京王プラザホテル	2023/10/21 2023/10/22
耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	第 9 回南関東頭頸部腫瘍懇話会	ベルサール新宿グランドコンファレンスセンター	2023/4/21
	神奈川県難聴言語障害教育研究協議会講演	神奈川県立総合教育センター	2023/5/1
	慶耳会学術講演会	慶應義塾大学病院	2023/6/3
	第 3 回「側頭骨 Cadaver Dissection・人工内耳実習」	慶應義塾大学病院	2023/6/10
	きこえとことばの教室	台東区立黒門小学校	2023/6/27
	中小岩小学校講演	中小岩小学校	2023/6/27
	ハンズオンセミナー	慶應義塾大学病院	2023/7/8
	甲状腺がん治療WEBカンファレンス	エーザイ株式会社	2023/7/13
	第 5 回慶應耳鼻咽喉科手術手技研究会	マロニエゲート銀座 1	2023/7/15
	言友会関東ブロック大会	厚木総合専門学校	2023/8/6
	保護者向け講演会	江戸川区立南葛西小学校	2023/8/31
	江戸川区保護者向け講演会	南葛西第三小学校	2023/8/31
	第 131 回慶應義塾大学医学部生涯教育研修セミナー	Web	2023/10/14
	第 5 回にいがた吃音フォーラム	上越市市民プラザ	2023/10/23
	令和 5 年度教室総会	COMFORT 新宿	2023/10/28
	第 14 回日本耳鼻咽喉科心身医学研究会	慶應義塾大学病院	2023/10/28
	新潟言友会第 5 回にいがた吃音フォーラム	上越市市民プラザ	2023/10/29
	第 22 回 ENT 病診連携カンファレンス	明治記念館	2023/11/29
	早期吃音児への対応	船橋市こども発達相談セミナー	2023/12/13
	第 20 回臨床懇話会	エーザイ株式会社	2024/1/20
	第 1 回慶應人工内耳茶話会	慶應義塾大学病院	2024/1/30
	慶耳会学術講演会	慶應義塾大学病院	2024/2/3
	第 29 回東大・慶大ジョイントカンファレンス	興和株式会社 東京支店	2024/2/22
精神・神経科	第 29 回多摩 Schizophrenia 研究会	東京	2023/6/1
	Psychiatry Forum in Tama	東京	2023/6/5
	第 8 回 Neuroscience Expert Seminar	Web	2023/6/28
	第 1 回川崎市精神科医会学術講演会	川崎	2023/7/15
	Brain & Mind Collaboration	Web	2023/7/20
	Mental Care Net Forum	Web	2023/8/8

	MSD オンラインセミナー	Web	2023/8/31
	精神医学 WEB セミナー	Web	2023/9/1
	NCNP 精神病態生理セミナー	Web	2023/10/13
	大塚製薬 WEB 講演会	Web	2023/10/19
	Psychiatry Seminar	Web	2023/10/28
	JKiC Seminar	Web	2023/10/30
	広小路ヴィアトリス講演会 2023	Web	2023/11/9
	令和 5 年度精神神経科連携セミナー	慶應義塾大学病院	2023/12/6
	社会精神医学・予防精神医学セミナー	東京	2023/12/12
	つくばアカデミー・オブ・サイカイアトリー	Web	2023/12/15
	埼玉県精神神経科診療所協会	埼玉	2024/1/27
	関西医科大学大学院講義	大阪	2024/1/29
	第 47 回栃木県臨床と薬理研究会	宇都宮	2024/2/7
	第 66 回多摩田園臨床精神医学研究会	川崎	2024/2/9
放射線治療科	がんを乗り越える逆境力	パシフィコ横浜ノース	2023/12/2
	茂松直之教授 退任記念講演会	明治記念館	2024/3/5
	Varian Oncology Seminar in Tokyo	帝国ホテル	2024/3/20
麻酔科	日野市医師会学術会合	Web	2023/4/4
	Area Meeting For Total Care - Geriatric Care -	Web	2023/4/21
	リリカ Web 講演	Web	2023/4/27
	低侵襲治療の最前線 in 愛媛	ホテルマイステイズ松山	2023/5/18
	痛みと排便を考える会	Web	2023/5/19
	日経ラジオ「ドクターサロン」	Web	2023/5/23
	うつ病治療の脳科学的マネジメント	Web	2023/5/24
	敗血症セミナー2023	Web	2023/9/10
	Pain web seminar ～術後疼痛管理と慢性術後痛への対応～	Web	2023/10/3
	インターベンショニスト医に知ってほしい麻酔鎮静の基礎	京王プラザ	2023/11/4
	TAVI 麻酔ワークショップ	慶應義塾大学病院	2023/11/7 2024/2/7
	研修医・医学生のためのアレルギー総合診療スキルアップセミナー	Web	2023/11/10
	周術期循環フォーラム	川崎	2023/11/18
	Pain web seminar ～術後疼痛管理と慢性術後痛への対応～	Web	2023/11/30
	地域で診る帯状疱疹 web セミナー	盛岡	2023/12/20
	Pain live symposium	Web	2024/3/14
救急科	ASSET コース (Advanced Surgical Skills for Exposure in Trauma)	慶應義塾大学病院	2023/6/25 2024/2/25
	救急医療検討会	慶應義塾大学病院	2023/11/8

			2024/2/7
	ICLS コース	慶應義塾大学病院	-
歯科・口腔外科	令和5年度 慶應義塾大学救急蘇生講習会	慶應義塾大学病院	2023/4/22
	歯科臨床研究会	Web	2024/3/8
臨床検査科	第12回血栓止血検査研究会 Tokyo	品川シーズンテラス	2023/6/10
	第2回慶応微生物コンソーシアム(KOMIC)	慶應義塾大学病院	2023/9/30
	私立医科大学病院中央検査技師長会	慶應義塾大学病院	2023/11/24
	第47回長野県臨床検査学会	佐久大学キャンパス	2023/12/2
	第24回 KEMS 研究会	慶應義塾大学病院	2024/2/24
	第24回 TTM フォーラム	大手町サンケイプラザ	2024/3/2
	第38回慶應血液検査研究会	慶應義塾大学病院	2024/3/16
	第3回慶応微生物コンソーシアム(KOMIC)	慶應義塾大学病院	2024/3/23
血液浄化・透析センター	東京腎透析ワークショップ	Web	2023/4/18
	東京腎疾患フォーラム	Web	2023/5/18
	CKD-MBD 交流会	Web	2023/5/30
	透析ナビゲーション	Web	2023/6/23
	東京腎透析ワークショップ	Web	2023/11/21
	慶應義塾大学病院腎代替療法研修会	Web	2024/2/6
漢方医学センター	隠れ我慢を紐解く女性のための漢方セミナー	Web	2023/4/26
	日野市医師会学術講演会	Web	2023/5/9
	生理に向き合い、「ワタシ」を整えるーしずちゃん&堀場裕子先生と学ぶ私たちのカラダー	Web	2023/5/17
	漢方の考え方が10分でわかるシリーズ（全8回シリーズ）	Web	2023/6/13～ 2024/1/16
	漢方ネットワークフォーラム	Web	2023/7/11
	京都産婦人科医会学術講演会 診療内容向上会	京都	2023/8/5
	第442回 足立区産婦人科医会合同学術講習会 二金会	足立区医師会館	2023/9/8
	第1回信州産婦人科漢方研修会	Web	2023/9/27
	奈良県産婦人科医会学術講演会	Web	2023/10/26
	朝霞地区医師会学術講演会	ベルセゾン	2024/1/17
	NPO 多摩地区の産婦人科医を育成する会	三鷹産業プラザ	2024/2/2
	宇都宮産婦人科医会 二金会	栃木県宇都宮市	2024/2/9
	漢方ネットワークフォーラム	Web	2024/2/29
	婦人科領域セミナー	ロワジールホテル豊橋	2024/3/16
臨床感染症センター	第97回日本感染症学会総会・学術講演会	パシフィコ横浜ノース	2023/4/28
	第71回日本化学療法学会学術集会 合同学会		
	第63回日本呼吸器学会学術講演会	東京国際フォーラム	2023/4/30

	第 98 回日本結核・非結核性抗酸菌症学会学術講演会	京王プラザホテル	2023/6/11
	感染症フォーラム-COVID-19 診療を考える-	山の上ホテル	2023/6/26
	Expert Seminar	ヒルトンお台場	2023/7/2
	クレセンバ発売記念講演会	浦安ブライTONホテル東京ベイ	2023/7/28
	COVID-19 オンラインセミナー	Web	2023/8/24
	抗菌感染症セミナー	ベルサール八重洲	2023/10/10
	第 72 回日本感染症学会東日本地方会学術講演会	東京ドームホテル	2023/10/25
	第 70 回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会		2023/10/26
	第 93 回日本感染症学会西日本地方会学術集会	ANA クラウンプラザホテル富山	2023/11/10
	第 71 回日本化学療法学会西日本支部総会合同学会		
	第 142 回日本結核・非結核性抗酸菌症学会東海支部学会	浜松市浜北文化センター	2023/11/12
	第 124 回日本呼吸器学会東海地方会		
	第 27 回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会中部支部会		
	第 54 回結核・非定型抗酸菌症治療研究会	浜松市浜北文化センター	2023/12/2
	Respiratory Infection Medical Webinar	Web	2023/12/21
	Hematology & Infection Seminar in Tokyo	Web	2024/1/17
	第 19 回呼吸器内科研究会	ホテルサンルートプラザ新宿	2024/1/20
	第 35 回日本臨床微生物学会総会・学術集会	パシフィコ横浜ノース	2024/2/10
	第 44 回感染症研究会	Web	2024/2/13
	東日本感染症 Conference	Web	2024/2/16
	Clinical Webinar 呼吸器感染症〈抗酸菌〉非結核性抗酸菌症の最新トピックス	Web	2024/2/19
	第 6 回立川呼吸器臨床懇話会	Web	2024/3/6
緩和ケアセンター	第 4 回慶應サポーターズケアセミナー	Web	2023/6/16
	がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会	慶應義塾大学病院	2023/8/5 2023/10/7
	第 5 回慶應サポーターズケアセミナー	Web	2023/10/13
	第 14 回城西緩和ケア講演会	Web	2023/11/15
	第 6 回慶應サポーターズケアセミナー	Web	2024/1/26
	第 8 回 Supportive Care Conference	Web	2024/2/14
予防医療センター	予防医療センター受診者セミナー	予防医療センター	2023/11/10
	慶應義塾予防医療センター地域医療連携セミナー	Web	2023/11/1～ 2023/12/3
看護部	2023 年度 がん看護研修①～⑧	Web	2023/6/1～ 2024/2/29
	9S 会 Web セミナー	Web	2023/6/3
	東京外傷セミナーin 慶應 (JPTEC コース)	Web	2023/6/11
	Web CLIMB®プログラム	Web	2023/6/18

			2023/6/25 2023/7/2 2023/7/9
	Web キッズ探検隊	Web	2023/9/9
	看護師のための心不全緩和ケア教育プログラム	Web	2023/11/20～ 2024/01/28
薬剤部	第 5 回がん薬物療法の地域医療連携セミナー	Web	2023/12/8
	第 6 回がん薬物療法の地域医療連携セミナー	Web	2024/3/23
食養管理室	第 25 回東京 NST 研究会	東京都済生会中央病院	2024/3/6
卒後臨床研修 センター	第 27 回慶應義塾大学病院臨床研修指導医養成ワークショップ	クロス・ウェーブ府中	2023/8/18～ 2023/8/19
感染制御部	第 13 回 四谷第六小学校手指衛生指導	四谷第六小学校	2023/10/2
放射線安全管理 室	食を通じて健康を考える	洗足学園中学高校 横浜雙葉中学高校 清泉女学院中学高校 立教女学院中学高校 埼玉県立所沢北高校等 実践女子中学高校 高知県立高知国際高校 東京都立広尾高校 山形県立東桜館高校 本郷中学高校 岡山ノートルダム清心女子中学高校 共立女子中学高校 成立学園中学高校 跡見学園中学高校	2023/6/3 2023/6/24 2023/7/15 2023/7/17 2023/8/5 2023/8/26 2023/8/28 2023/10/7 2023/11/11 2024/11/13 2023/12/16 2024/2/10 2024/3/19 2024/3/25
医療連携推進 部	第 11 回 医療連携推進フォーラム	慶應義塾大学病院/Web	2022/4/7
	第 12 回 医療連携推進フォーラム	慶應義塾大学病院/Web	2022/8/18
	第 4 回 看護と介護の意見交換会	慶應義塾大学病院/Web	2023/11/17
	第 13 回 医療連携推進フォーラム	慶應義塾大学病院/Web	2022/2/2
医事統括室 (腫瘍センタ ー)	2023 年度第 1 回～12 回がんゲノム医療講座	Web	2023/5/10 2023/5/31 2023/6/28 2023/7/26 2023/8/30 2023/9/27 2023/10/25 2023/11/29

			2023/12/27 2024/1/24 2024/2/28 2024/3/27
	2023 年度第 1 回がん患者サロン	Web	2023/6/8
	第 4 回慶應サポーターケアセミナー	Web	2023/6/16
	脳腫瘍とてんかん研究	Web	2023/6/20
	Medical Oncology Online Seminar	Web	2023/7/6
	第 6 回緩和ケア連携カンファレンス	Web	2023/7/10
	2023 年度第 1 回緩和ケア研修会	慶應義塾大学病院	2023/8/5
	WEB キッズ探検隊	Web	2023/9/9
	東京都がん教育	杉並区立高南中学校	2023/9/9
		杉並区立西宮中学校	2023/9/15
		都立中野工業高等学校	2023/12/20
		杉並区立高井戸中学校	2024/2/9
	2023 年度第 2 回緩和ケア研修会	慶應義塾大学病院	2023/10/7
	第 5 回慶應サポーターケアセミナー	Web	2023/10/13
	2023 年度第 2 回がん患者サロン	慶應義塾大学病院	2023/10/14
	第 61 回日本癌治療学会学術集会市民公開講座	京王プラザホテル	2023/10/22
	頭頸部がん皮膚症状対策検討会	明治記念館	2023/11/3
	CLIMB®プログラム	Web	2023/11/12
			2023/11/19
			2023/11/26
	第 7 回緩和ケア連携カンファレンス	Web	2023/11/13
	第 14 回城西緩和ケア講演会	Web	2023/11/15
	リンパ浮腫ケア研修会	慶應義塾大学病院	2023/11/22
	CLIMB®プログラム 親グループ	Web	2023/11/24
	がんを乗り越える逆境力	パシフィコ横浜ノース	2023/12/2
	第 5 回地域医療連携研修会	Web	2023/12/8
	悪性リンパ腫 ベレキシブル WEB ライブセミナー	Web	2023/12/12
	口腔がん WEB セミナー	Web	2023/12/21
	2023 年度第 3 回がん患者サロン	慶應義塾大学病院	2023/12/26
	がん教育	慶應義塾中等部	2024/1/11
	第 6 回慶應サポーターケアセミナー	Web	2024/1/26
	第 8 回 Supportive Care Conference (SCC)	Web	2024/2/14
	第 2 回 AYA×ACP	Web	2024/2/19
	第 14 回信濃町がんクラスター症例検討会	慶應義塾大学病院	2024/2/19

	次世代がん医療を担う多職種人材養成プラン「口腔がん・がん口腔支持療法に携わる医療者養成コース」開講記念 7 大学連携キックオフシンポジウム	慶應義塾大学病院	2024/3/3
	第 8 回緩和ケア連携カンファレンス	Web	2024/3/4
	2023 年度第 4 回がん患者サロン	慶應義塾大学病院	2024/3/22
	第 6 回地域医療連携研修会	Web	2024/3/23

IV 診療科・部門の活動

呼吸器内科

1 概要

当診療科では肺の病気や呼吸器症状を有する患者さんに対して、質の高い医療を提供しております。以下の方に対して、経験豊富なチームスタッフが患者さん毎に病状や症状を判断した上で適切かつ質の高い医療を行っております。

＜当科で対応している方＞

COPD(慢性閉塞性肺疾患)／肺癌／気管支喘息／呼吸器感染症／間質性肺炎／睡眠時無呼吸症候群などの肺の病気をお持ちの患者さん／息切れ、呼吸困難感、咳、痰などの呼吸器症状をお持ちの患者さん／健康診断や人間ドックのレントゲンなどで胸部異常陰影を指摘された患者さん

2 対象疾患

慢性閉塞性肺疾患（COPD）／肺癌／気管支喘息／間質性肺炎／睡眠時無呼吸症候群／非結核性抗酸菌症／結核症／胸膜中皮腫

3 検査

スパイログラム（肺活量・フローボリュームカーブ）／ガス拡散能力（DLCO）／気道過敏性検査／終夜睡眠無呼吸検査／気管支鏡／CTガイド下肺生検／呼気一酸化窒素（NO）測定／モストグラフ／超音波気管支鏡ガイド下リンパ節生検（EBUS-TBNA）

4 実績

2023年度診療実績(延べ人数)	件数
外来患者	約39,000件
入院患者	約1,000件
肺癌化学療法入院	約750件
在宅酸素療法・在宅持続陽圧呼吸療法導入	約280件
気管支鏡検査	約240件
CTガイド下肺生検	約130件

循環器内科

1 概要

特定機能大学病院の循環器診療部門として狭心症、心筋梗塞、不整脈、心臓弁膜症、心筋症、心不全、先天性心臓病、肺高血圧などあらゆる疾患に対して、高い専門性を生かした高度・最先端の技術を利用した治療を行っています。カテーテルによる心臓病の非薬物的治療は、近年急速に進歩し、従来外科的な治療が必要であった疾患に対しても、より低侵襲な治療での根治が期待できるようになりました。当院循環器内科の特徴はほ

とんど全ての循環器の治療領域に対し、高度な技術と見識を有する医師を擁していることで、国内でも屈指の陣容です。また、24 時間 365 日いつでも迅速に緊急疾患に対応し、心臓血管外科をはじめとした他診療部門と協力した集約的治療体制を整えています。「かかりつけ医」との連携を充実させ、関東全域にわたる地域関連病院との総合診療を実現しています。

2 対象疾患

虚血性心疾患（狭心症・心筋梗塞）／不整脈（頻脈性不整脈[心房細動・心房粗動・上室性頻拍・心室頻拍]・徐脈性不整脈[洞不全症候群・房室ブロック]）／心筋症（拡張型心筋症、肥大型心筋症、拘束型心筋症、不整脈源性心筋症）／心不全／肺高血圧症／肺性心／感染性心内膜炎／心膜疾患／心アミロイドーシス／ファブリー病／サルコイドーシス／ブルガダ (Brugada) 症候群／失神／弁膜症／先天性心疾患（心房中隔欠損症、卵円孔開存、動脈管開存など）／大動脈疾患（大動脈炎症候群・大動脈解離など）／高コレステロール血症／遺伝性心疾患

3 検査

12 誘導心電図検査（安静時、マスター運動負荷）／心エコー検査／経食／道心エコー図（TEE）／心肺運動負荷試験／心臓 CT／心筋シンチ／心臓 MRI／遺伝子検査／心臓カテーテル検査／カテーテルアブレーション／心房中隔欠損症治療／閉塞性肥大型心筋症に対する経皮的中隔心筋焼灼術／灼術／弁膜症に対するカテーテル治療／慢性肺血栓塞栓症に対するカテーテル／心臓電気生理学的検査／ペースメーカー／植込み型除細動器（ICD）／携帯型心電図記録伝送装置および伝送心電図ネットワーク

4 実績（2023 年）

病床数	79	心臓MRI	206
医師数	72	経皮的冠動脈形成術	173
年間入院患者数	1,924	経皮的僧帽弁交連切開術	2
平均入院日数	7.7	経カテーテル大動脈弁留置術	207
トレッドミル負荷試験	101	バルーン肺動脈形成術	7
心電図、負荷心電図	56,564	経皮的中隔心筋焼灼術	2
ホルター心電図	2,322	ペースメーカー手術	103
経胸壁心エコー	11,486	植込み型除細動器手術	33
経食道心エコー	300	心臓再同期療法手術	12
冠動脈造影検査	613	カテーテルアブレーション	276
心筋血流シンチ	730	経カテーテル的心房中隔欠損閉鎖術(動脈管開存閉鎖術、卵円孔開存閉鎖術を含む)	65
肺血流シンチ	115	Mitraclip	13
冠動脈CT	2,145		
心肺運動負荷試験	187		

消化器内科

1 概要

消化器内科では食道、胃、十二指腸、小腸、大腸などの消化管や、肝臓、胆道、膵臓におきる消化器疾患を対象に一般・消化器外科、腫瘍センター、内視鏡センター、免疫統括医療センター、アレルギーセンター、放射線診断科、病理診断科などとともに消化器クラスターとして総合的に診断と治療を行っております。

消化管、肝臓、膵臓疾患などのそれぞれの分野でも腫瘍、免疫、機能、内分泌、炎症などの多岐にわたる病態をカバーするそれぞれの専門医がおり、高いレベルの医療を提供しています。また横のつながりも強く、複数の消化器疾患を有する患者さんに対しても、速やかに診療をおこなえるようにしています。

2 対象疾患

<食道疾患>

逆流性食道炎／食道癌／好酸球性食道炎（EoE）／食道アカラシア／食道けいれん／機能性胸焼け

<胃・十二指腸疾患>

ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎／急性胃粘膜病変（AGML）／胃潰瘍／胃腺腫／胃癌／胃粘膜下腫瘍／機能性ディスペプシア（FD）／好酸／球性胃腸症／十二指腸潰瘍／十二指腸腺腫／十二指腸癌／十二指腸／乳頭部腫瘍／オッドイ括約筋弛緩不全／消化管粘膜下腫瘍／特発性胃不全麻痺／蛋白漏出性胃腸症

<小腸・大腸疾患>

大腸ポリープ／大腸腺腫／大腸癌／大腸ポリポシス／潰瘍性大腸炎（UC）／クローン病／腸管ベーチェット／好酸球性胃腸症／過敏性腸症候群（IBS）／腸閉塞（イレウス）／小腸癌／非特異性多発性小腸潰瘍／腸結核／出血性大腸炎／虚血性腸炎／大腸憩室炎／便秘症

<肝疾患>

肝機能障害／ウイルス性肝炎／非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）／肝硬変／肝細胞癌／薬剤性肝障害／自己免疫性肝炎（AIH）／原発性硬化性胆管炎（PSC）／原発性胆汁性肝硬変（PBC）／肝膿瘍／肝移植

<胆膵疾患>

総胆管結石／胆管炎／胆管癌／IgG4 関連胆管炎／原発性硬化性胆管炎／胆嚢ポリープ／胆石症／胆嚢腺筋症／胆嚢腫瘍／急性膵炎（重症膵炎含めて）／慢性膵炎／膵癌／膵内分泌腫瘍／膵嚢胞性疾患（IPMN、MCN、SCN）／自己免疫性膵炎

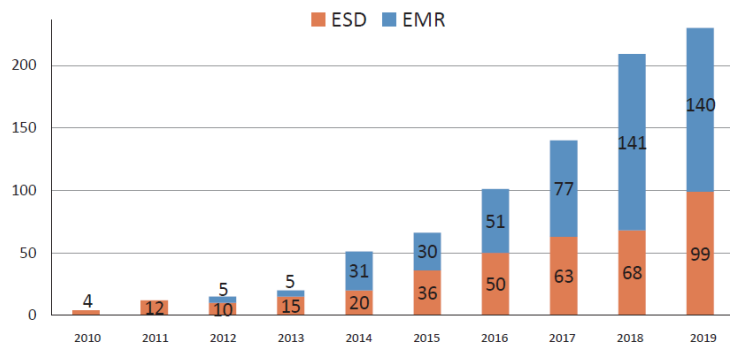
<その他腫瘍性疾患>

消化管間葉系腫瘍（GIST）／消化管悪性リンパ腫／MALT リンパ腫／粘膜下腫瘍／原発不明癌／軟部組織肉腫肝細胞癌／膵管内乳頭粘液性腫瘍（IPMN）／神経内分泌腫瘍（NET）

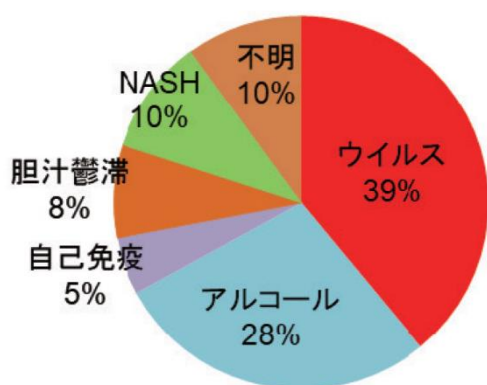
3 検査

上部消化管内視鏡／下部消化管内視鏡（大腸内視鏡）／膵胆道内視鏡（ERCP）／小腸内視鏡（バルーン小腸内視鏡、カプセル内視鏡）／超音波内視鏡（EUS）／EUS を用いた消化管外臓器腫瘍の針生検（EUS-FNA）／腹部超音波／腹部 CT／腹部 MRI／CT コロノグラフィー／MR エンテログラフィー／上部消化管 X 線造影注腸造影検査／小腸造影／尿素呼気試験／食道 pH インピーダンスモニタリング／食道内圧測定／肝生検

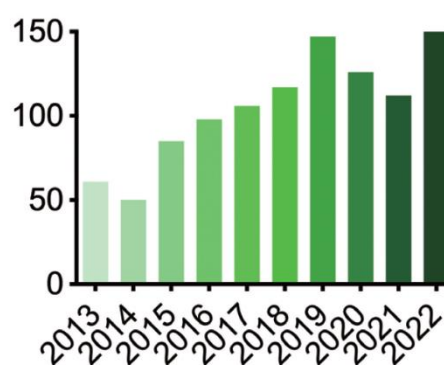
4 実績



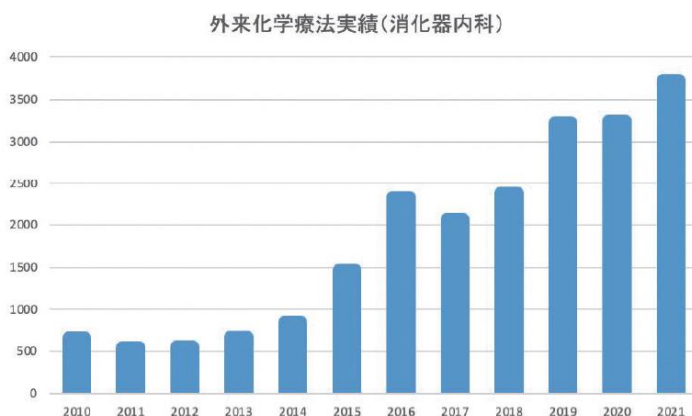
十二指腸内視鏡治療件数の推移



慶應義塾大学病院における肝硬変成因



年度別 肝臓局所療法件数



外来化学療法実績(消化器内科)

腎臓・内分泌・代謝内科

1 概要

慶應義塾大学病院の腎臓・内分泌・代謝内科は、腎臓部門、内分泌代謝部門という大きく2つの領域を包括する内科です。糖尿病、脂質異常、肥満、ホルモン異常などの内分泌代謝疾患と、高血圧、腎臓病は、病態の関連性が非常に強く、私達は連携して診療にあたることにより、病態のより深い理解と専門性の高い医療を目指しております。これらの疾患は、慢性的に進行する性質を持つものが多く、長期にわたるケアを要するものであることから、それぞれの患者さんの背景や人生に寄り添った最善の医療を目指して参ります。

2 対象疾患

<腎臓部門>

急性腎障害（AKI）／慢性腎臓病（CKD）／腎炎症候群／ネフローゼ／症候群／蛋白尿／血尿／電解質異常／酸塩基平衡異常／高血圧／遺伝性腎疾患（多発性嚢胞腎、アルポート症候群、ファブリー病、ミトコンドリア病など）／腎不全（腎代替療法を含む）／シャント不全

<代謝部門>

1 型糖尿病／2 型糖尿病／妊娠糖尿病／高尿酸血症／脂質異常症

<内分泌部門>

副腎疾患（原発性アルドステロン症、クッシング症候群、褐色細胞腫、バラガングリオーマなど）／下垂体疾患（下垂体腫瘍、下垂体機能低下症など）／甲状腺疾患（バセドウ病、橋本病、甲状腺腫瘍など）／原発性副甲状腺機能亢進症／膵内分泌腫瘍（インスリノーマ、ガストリノーマ、グルカゴノーマなど）

3 検査

<腎臓部門>

腎生検／シャントエコー／腎ドップラーエコー／下肢静脈エコー／ABPM（24 時間自由行動下血圧測定）／DEXA（体組成計測）／PET（腹膜平衡機能検査）／CT・MR（I 腎容積測定を含む）

<代謝部門>

75g ブドウ糖負荷試験／持続血糖モニタリング／RR 間隔検査（心拍数変動検査）○AB（I Ankle Brachial Pressure Index）検査／PWV(Pulse Wave Velocity, 脈波伝播速度)／頸動脈エコー／グルコースクランプ検査／CGM(Continuous Glucose Monitoring デックスコム G6)／FGM（フリースタイルリブレプロ）

<内分泌部門>

ホルモン検査／副腎静脈サンプリング（AVS）／甲状腺穿刺吸引細胞診／選択的動脈内 Ca 刺激下サンプリング検査（SACI）

4 実績

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
腎生検	46 症例	53 症例	39 症例	40 症例

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
バルーン拡張	193 症例	215 症例	199 症例	216 症例
長期留置型カテーテル	15 症例	10 症例	13 症例	9 症例

腹膜透析導入患者数(平均) :年間約10名

現在の維持腹膜透析患者数:40名

2007年以降の累計腹膜透析導入患者数:140名

甲状腺疾患

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
甲状腺穿刺吸引細胞診	114 症例	183 症例	168 症例	140 症例

神経内科

1 概要

神経内科では、中枢神経（大脳・小脳・脊髄）、末梢神経（運動・感覚・自律神経）、筋肉を障害する様々な疾患を診療します。体の動きや感覚の異常、認知機能障害などが疑われる際には神経内科疾患の可能性があり、気分の変化や精神的な問題との鑑別が重要になりますが、当科では“神経診察”によって神経系の器質的疾患の有無を確認後、精密検査、内科的治療の方針を決定します。

2 対象疾患

脳血管障害（脳梗塞、一過性脳虚血発作、脳出血、くも膜下出血、ウィリス動脈輪閉塞症、頸動脈狭窄、頭蓋内動脈狭窄）／パーキンソン病／進行性核上性麻痺／多系統萎縮症（脊髄小脳変性症）／その他の運動障害／晩発性小脳皮質萎縮症／遺伝性小脳失調症（SCA1, SCA2, SCA3, SCA6）／アルツハイマー病／レビー小体型認知症／前頭側頭葉型認知症／クロイツフェルト・ヤコブ病／その他の認知症／重症筋無力症／多発筋炎／進行性筋ジストロフィー／筋強直性ジストロフィー／その他の筋疾患／多発ニューロパチー／ギラン・バレー症候群／フィッシャー症候群／シャルコー・マリー・トゥース病／緊張型頭痛／片頭痛／群発頭痛／髄膜炎／脳炎／肥厚性硬膜炎／その他の神経感染症／多発性硬化症／急性散在性脳脊髄炎／進行性多巣性白質脳症／副腎白質ジストロフィー／てんかん／筋萎縮性側索硬化症／痙攣性対麻痺／脊髄性進行性筋萎縮症／ハンチントン病／ウィルソン病／ミトコンドリア脳筋症／その他の遺伝性神経疾患／顔面神経麻痺／動眼神経麻痺／滑車神経麻痺／外転神経麻痺／その他の脳神経麻痺／顔面痙攣／眼瞼痙攣／痙攣性斜頸／書痙／本態性振戦／周期性四肢麻痺／脊髄空洞症／平山病／三叉神経痛

3 検査

脳・脊髄 MRI／頭部 CT／頸動脈エコー／骨格筋 CT・MRI／脳波／脳血流 SPECT／脳血管造影／MIBG 心筋シンチ／DAT スキャン／PET／腰椎穿刺（脳脊髄液検査）／筋電図／筋生検

血液内科

1 概要

血液内科では、健康診断で指摘された白血球・赤血球・血小板数の異常値や異常細胞の出現、リンパ節の腫脹、血液凝固の異常などから血液疾患が疑われた方だけでなく、かかりつけの医療機関で血液疾患（鉄欠乏性貧血、特発性血小板減少性紫斑病などの良性疾患や、白血病、骨髄異形成症候群、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの造血器腫瘍）と診断された方を対象として幅広く診療を行っています。また、造血幹細胞移植の累計は約 1,400 件となり、国内有数の移植施設となっています。

2 対象疾患

急性骨髄性白血病／急性リンパ性白血病／慢性骨髄性白血病／慢性リンパ性白血病／骨髄異形成症候群／真性赤血球増加症／本態性血小板血症／骨髄線維症／悪性リンパ腫／多発性骨髄腫／キャッスルマン病／再生不良性貧血／発作性夜間ヘモグロビン尿症／鉄欠乏性貧血／特発性血小板減少性紫斑病／POEMS 症候群／成人 T 細胞白血病リンパ腫／骨髄増殖性腫瘍／自己免疫性溶血性貧血／血友病／凝固因子欠乏症／血球貪食症候群

＜次のような症状を扱っております＞

白血球が多い・少ない、赤血球が多い・少ない、血小板が多い・少ない、リンパ節の腫大、脾臓の腫大、出血しやすい、血が止まりにくい、連日著明な寝汗をかく、造血幹細胞移植や CAR-T 細胞療法が必要と言われた

3 検査

骨髄検査／HLA タイピング／リンパ節生検／CT・エコーガイド下生検

4 実績

当科では、造血器悪性腫瘍に対する化学療法はもちろんのこと、適応症例には造血幹細胞移植を積極的に行っています。特に 1984 年から開始した同種造血幹細胞移植は、累計で 800 件を超えており、良好な治療成績をあげています。また、当科では血液疾患もしくはその疑いのある方について幅広くご紹介を受けつけており、1 年間にご紹介いただく初診患者さんはおおよそ 300 名にのぼります。

	2021年	2022年	2023年	累計
同種造血幹細胞移植件数	35	35	40	936
自家造血幹細胞移植件数	27	18	23	608
CAR-T細胞療法件数	17	31	43	
入院化学療法件数	約1,927件/年			
外来化学療法件数	約3,682件/年			

リウマチ・膠原病内科

1 概要

リウマチ・膠原病内科は、関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、多発性筋炎・皮膚筋炎、強皮症、血管炎、シェーグレン症候群などのリウマチ・膠原病全般を主な診療対象としています。20 名の経験豊かな日本リウマチ学会認定リウマチ専門医が診療に従事しております。エビデンスに基づいて、個々の患者さんの症状、合併症、社会的背景に応じて治療方針をたてています。患者さんへの思いやり、礼と誠意を重んじ、患者さんを病気としてではなく、病気や障害を抱えながら家庭や社会とのかかわりの中に生きる人間(ひと)としてとらえる全人的な医療を心がけ、日々診療に当たっております。

2 対象疾患

関節リウマチ／全身性エリテマトーデス／全身性強皮症／多発性筋炎／皮膚筋炎／混合性結合組織病／シェーグレン症候群／顕微鏡的多発血管炎／結節性多発動脈炎／高安動脈炎／巨細胞性動脈炎／リウマチ性多発筋痛症（PMR; polymyalgia rheumatica）／成人発症スティール病（AOSD； adult-onset Still's disease）／乾癬性関節炎／強直性脊椎炎／ベーチェット病／IgG4 関連疾患／痛風／偽痛風／若年性特発性関節炎（若年性関節リウマチ）／再発性多発軟骨炎／RS3PE 症候群／回帰性リウマチ／サルコイドーシス／抗リン脂質抗体症候群／悪性関節リウマチ／多発血管炎性肉芽腫症（旧名 ウェゲナー肉芽腫症）／好酸球性多発血管炎性肉芽腫症（旧名 チャーグ・シュトラウス症候群）／アレルギー性肉芽腫性血管炎／IgA 血管炎（旧名 ヘノッホ-シェーンライン紫斑病）／クリオグロブリン血管炎／過敏性血管炎／コーガン症候群／反応性関節炎／炎症性腸疾患に伴う関節炎／SAPHO 症候群／自己炎症性疾患／びまん性筋膜炎（好酸球性筋膜炎）／フェルティ症候群／カプラン症候群／リウマチ熱／骨粗鬆症／アミロイドーシス

3 検査

関節超音波検査／関節穿刺検査／関節 MRI／骨シンチグラフィー／ガリウムシンチグラフィー／腎生検／レーザー血流計・サーモグラフィ／筋生検／キャピラロスコピー

近年は関節リウマチなどの関節疾患において、関節超音波検査を使用することが多くなってまいりました。当科では最新の関節超音波機器を用いて、担当医師が診断や治療効果判定を行っております。

週 4 日の関節エコー検査日を設定し、必要な患者に速やかにエコー検査が行える体制を整えております。

4 実績

2021 年度の診療実績として外来患者数は約 7,000 名、入院 224 名であり単科のリウマチ科としては国内随一の臨床規模となっています。

2017 年より APLAR CoE（アジア太平洋リウマチ学会認定リウマチ診療研究施設）に認定されました（国内で 2 施設目）。

総合診療科

1 概要

総合診療科では、受診科が判りづらい各種症状の診療や、複数の健康問題をお持ちの患者さんの総合的な診療を行い、必要に応じて専門各科や地域の医療機関につなぐ役割を担っています。どの診療科を受診すればよいか分からない場合は、まず当科を受診ください。また医療機関から当院をご紹介頂く場合でも、診療科の選定が困難な患者さんは当科宛にご紹介をお願い致します。当科では、個々の患者さんに最適な医療を、専門各科・予防医療センター・医療連携推進部（医療ソーシャルワーカー）などと連携しながら提供いたします。

2 対象疾患

原因不明の発熱、体重減少、全身倦怠感、原因の特定が難しい各種症状

受診すべき診療科の特定が難しい諸症状、救急車で受診するほどではない体調不良

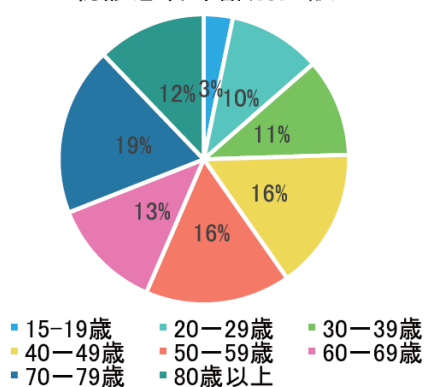
（＊当科では救急車は対応しておりません。）

3 検査

各種採血検査／尿検査／心電図検査／X 線検査／超音波検査／CT/MRI 検査／各種生理機能検査

4 実績

初診患者年齢別内訳



2017年4月～2018年12月に当科を受診した初診患者

主訴上位 10 項目

主訴	人数
発熱	95
全身倦怠感	89
腹痛	52
食欲不振	47
頭痛	43
関節痛	40
めまい	39
咳嗽・喀痰	38
胸痛	37
不安・抑うつ	36

一般・消化器外科

1 概要

一般・消化器外科では、食道、胃、大腸、肝臓、胆道、膵臓、乳腺、血管に対する外科治療を中心に行います。良性疾患から悪性疾患まで一般・消化器外科領域全ての疾患に対応しています。ロボット支援を含めた、腹腔鏡や胸腔鏡を用いた低侵襲治療やセンチネルナビゲーションサージェリーなどの先進技術を用いた治療

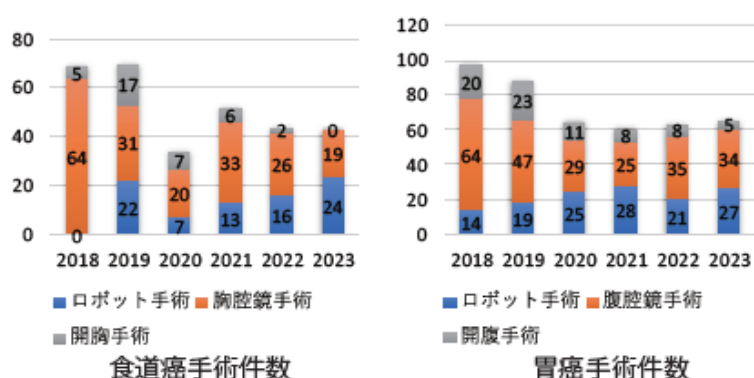
を積極的に取り入れています。同じ教室内にそれぞれ臓器のスペシャリストがいるため、多臓器に関わる疾患に対しても疾患ごとにチームを組んで患者さんに合わせた偏りのないオールラウンドな対応が可能な組織であることが特徴です。

2 対象疾患

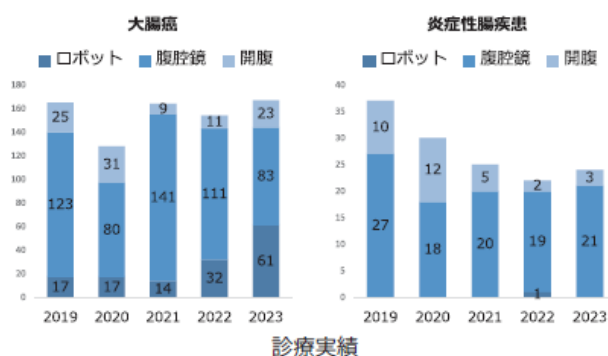
- 上部消化管班：胃癌、食道癌、逆流性食道炎、食道アカラシア、胃悪性リンパ腫、胃 GIST、その他の胃粘膜下腫瘍、難治胃・十二指腸潰瘍など
- 大腸班：大腸癌（結腸、直腸、肛門の癌）、大腸ポリープ、炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病など）、肛門疾患（痔核、痔瘻、裂肛）など
- 肝胆膵・移植班：肝癌（肝細胞癌、転移性肝癌）、胆道癌（肝門部胆管癌、胆嚢癌、遠位胆管癌、乳頭部癌）、膵癌（浸潤性膵管癌、膵内分泌腫瘍（PNET）、膵管内乳頭粘液性腫瘍（IPMN）、粘液性嚢胞腫瘍（MCN））、肝移植対象疾患（急性肝不全、肝癌、肝硬変、PBC、PSC、胆道閉鎖症など）、良性疾患（胆石症、総胆管結石、胆嚢炎、肝嚢胞、急性膵炎、慢性膵炎など）
- 乳腺班：乳がん、遺伝性乳癌卵巣癌症候群、乳房の再建、乳腺疾患（乳腺症（嚢胞症を含む）・線維腺腫・乳管内乳頭腫・男性乳癌・女性化乳房症など）、若年性乳がん患者さんの妊孕性（妊娠する力）の温存、乳がんに対する放射線治療
- 血管班：下肢閉塞性動脈硬化症、腹部大動脈瘤、腹部内臓動脈瘤（脾動脈瘤、腎動脈瘤など）、糖尿病性足病変、下肢静脈瘤、深部静脈血栓症など

3 実績

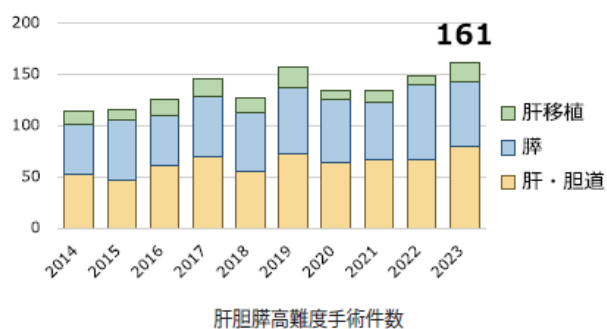
○上部消化管班



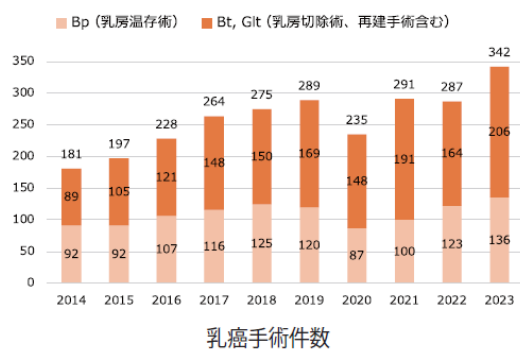
○大腸班



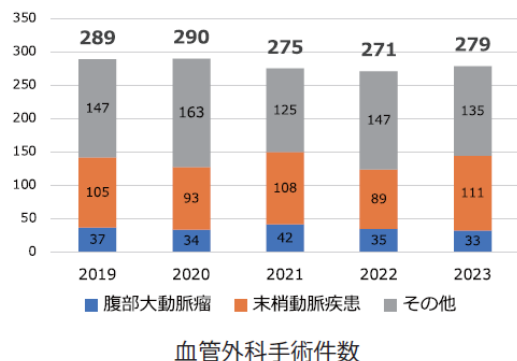
○肝胆膵・移植班



○乳腺班



○血管班



呼吸器外科

1 概要

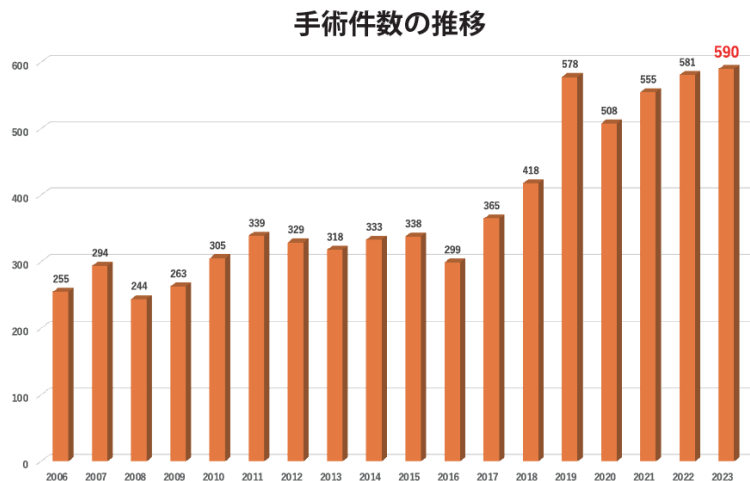
「安全」で「確実」な手術を提供すること、それが慶應義塾大学病院呼吸器外科のモットーです。当科では他院で手術不能とされたような高難度の呼吸器外科手術を数多く手がけていますが、標準手術である肺葉切除は通常、胸腔鏡（内視鏡）の併用、あるいはロボット支援下に体に負担の少ない低侵襲手術を行っています。

2 対象疾患

肺癌／転移性肺腫瘍／縦隔腫瘍／自然気胸（嚢胞性肺疾患）／漏斗胸／胸膜中皮腫／良性肺腫瘍／甲状腺腫瘍／重症筋無力症／肺結核／肺非定型抗酸菌症／膿胸／胸部外傷／胸壁腫瘍／横隔膜疾患／その他のあらゆる呼吸器外科疾患

3 実績

慶應義塾大学病院呼吸器外科では、2000 年以降、年間 300 前後という多数の呼吸器外科手術を行ってきました。さらに近年、医療連携強化の結果、手術件数が大幅な増加傾向にあります。



心臓血管外科

1 概要

心臓血管外科では大動脈疾患、後天性疾患(冠動脈疾患、心臓弁膜症、不整脈)、先天性心疾患等を対象に外科的治療を行なっています。3 分野をバランス良く発展してきた伝統のある教室です。最近では低侵襲心臓手術(MICS)、大動脈ステントグラフト、ハイブリッド手術など低侵襲先進医療の分野においても世界トップレベルの手術数と治療成績を誇り、心臓血管外科治療のパラダイムシフトを牽引しています。心臓血管外科専門医認定機構が認定した心臓血管外科専門医が 6 名常勤し 24 時間体制で緊急手術にも対応しています。

2 対象疾患

胸部大動脈瘤／腹部大動脈瘤／急性大動脈解離／解離性大動脈瘤／大動脈弁輪拡張症／狭心症／心筋梗塞／心筋梗塞後合併症(左室破裂、心室中隔穿孔、乳頭筋断裂など)／大動脈弁狭窄症／大動脈弁閉鎖不全症／僧帽弁狭窄症／僧帽弁閉鎖不全症／三尖弁閉鎖不全症／肺動脈性肺高血圧症／心臓腫瘍／心房中隔欠損症／心室中隔欠損症／動脈管開存症／大動脈縮窄症、など

代表的疾患のみ記載

3 実績

実績(2023年)	件数
大動脈手術	119件
弁膜症手術	81件
TAVI	200件
虚血性心疾患手術	47件
先天性心疾患手術	93件
その他	27件

脳神経外科

1 概要

脳腫瘍・脳血管障害・頭部外傷・機能的疾患・先天性脳疾患など、脳や脊髄の疾患を対象に関連診療科とも連携しながら、外科的治療を中心に、診断・予防にいたる幅広い診療を行っています。他院では難治性だと診断された複雑な病変や、高難度の疾患であっても、最新の画像機器や術中モニターを併用しながら、従来の開頭手術のみならず内視鏡頭蓋底外科や血管内治療などの先駆的な技術を用いて安全で確実な治療を行っています。悪性脳腫瘍に対しては、機能を温存しながら最大限の摘出を行ったうえで、化学療法、放射線療法を含めた集学的な治療を行い、症例に応じて免疫療法なども施行しております。また、小児特有の疾患にも豊富な診療経験を持った専門医が対応しております。加えて、大学病院の使命であるさらなる医療水準の向上を目指し、基礎ならびに臨床研究および優れた後進の育成に従事し、脳神経外科学の発展をもって国内外に向けた世界的貢献を目指します。

2 対象疾患

<脳腫瘍>

髄膜腫／神経鞘腫／神経膠腫（グリオーマ）／下垂体腺腫／転移性脳腫瘍／脳原発悪性リンパ腫／血管芽腫／血管周皮腫／脊索腫／軟骨肉腫／類上皮種／類皮腫／髄芽腫／上衣腫／胚細胞腫瘍／頭蓋咽頭腫／頭蓋骨腫瘍

<脳血管障害>

脳動脈瘤／脳動静脈奇形／硬膜動静脈瘻／海綿状血管腫／もやもや病／頸動脈狭窄／脳動脈狭窄・閉塞症／頭頸部脊髄血管奇形／くも膜下出血／脳出血／脳梗塞

<機能的疾患>

三叉神経痛／顔面けいれん／パーキンソン病／本態性振戦／ジストニア／正常圧水頭症

<先天性疾患>

キアリ奇形／水頭症／二分脊椎／二分頭蓋／くも膜のう胞／脊髄髄膜瘤／脊髄脂肪腫／脊髄空洞症／脊髄係留症候群／頭蓋骨縫合早期癒合症

<頭部外傷>

慢性硬膜下血腫／急性硬膜下血腫／急性硬膜外血腫

<遺伝性疾患>

神経線維腫症／Von Hippel-Lindau 病／遺伝性出血性末梢血管拡張症

3 検査

頭部レントゲン／CT／MRI／MRA／機能的MRI／脳・脊髄血管撮影／CT アンギオ／頸動脈エコー／脳血流検査／SPECT／PET／脳波検査／誘発電位検査／血液検査／ホルモン検査／神経膠腫の遺伝子解析

4 実績

2023年 手術実績	件数
脳神経外科 手術総数	472
脳腫瘍摘出術（髄膜腫、神経膠腫、下垂体腫瘍等） 総数	171
（広範囲頭蓋底腫瘍摘出術）	18
（経鼻内視鏡手術）	50
脳血管障害 開頭手術（クリッピング、バイパス、頸動脈内膜剥離術等）	13
脳血管障害 脳血管内手術	103
機能的手術	12
小児脳神経外科手術（15歳以下、脳脊髄腫瘍、二分脊椎等）	63

小児外科

1 概要

小児外科では、子どもの病気の中で鼠径ヘルニアのような比較的よく見られる病気から非常に珍しく難しい処置や手術が必要なものまで幅広く診療します。出生前診断された胎児や生まれたばかりの赤ちゃんも、産科・新生児科の医師との密接な連携によりスムーズに診療しています。私達慶應小児外科チームは日本の小児外科の先駆けとして発足して以来、小児外科医療をリードしてきました。常に最先端の医学知識と技術を追求め、それを患者さんの安心と安全をもたらす日常診療に還元しています。ただ病気を治すだけでなく、治療後の生活や、そして遠い将来のことまで深く考慮した治療を心がけ、皆様が十分ご納得しご満足いただけることを目標に日々の診療に力を注いでおります。

2 対象疾患

胆道閉鎖症／（先天性）胆道拡張症（総胆管拡張症／総胆管嚢腫）／小児の顔面・頸部疾患（正中頸嚢胞・側頸嚢、梨状窩嚢など）／小児悪性固形腫瘍（神経芽腫、肝芽腫、腎芽腫、横紋筋肉腫、胚細胞腫瘍など）／その他小児固形腫瘍（卵巣嚢腫、脂肪腫など）／先天性横隔膜ヘルニア／先天性食道閉鎖症／十二指腸閉鎖・狭窄症／腸閉鎖症／腸回転異常症（中腸軸捻転症）／臍帯ヘルニア・腹壁破裂／先天性肺気道奇形（CCAM、CPAM）／リンパ管疾患（リンパ管腫〈リンパ管奇形〉、リンパ管腫症、クリッペルトレノネー症候群など）／ヒルシュスプルング病／ヒ

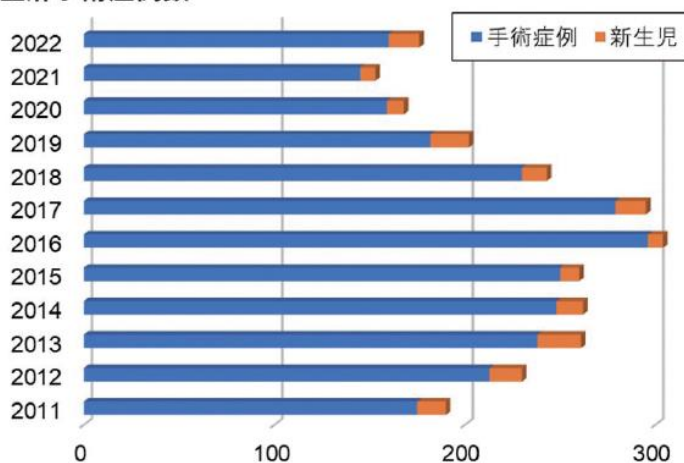
ルシュスプルング病類縁疾患／鎖肛（直腸肛門奇形）／総排泄腔遺残症／肥厚性幽門狭窄症／鼠径ヘルニア／陰嚢水腫／停留精巣／臍ヘルニア／急性虫垂炎／腸重積症／漏斗胸／メッケル憩室／胃食道逆流症／便秘症／包茎／異物誤飲／腸管不全（短腸症候群など）／肝臓移植・小腸移植 など／血管腫・血管奇形

3 検査

直腸肛門反射／食道 pH モニタリング／胃排出時間検査（アセトアミノフェンテスト）／食道内圧検査／上部消化管内圧検査／下部消化管内圧検査（肛門管内圧検査、HAPC 測定）／直腸粘膜生検／上部消化管（食道・胃・十二指腸）内視鏡／小腸内視鏡／大腸内視鏡／消化管造影検査／瘻孔・膿瘍造影検査／超音波検査／CT／MRI／シンチグラフィ（胆道・肝・リンパ管・肺など）／リンパ管腫（リンパ管奇形）の検査

4 実績

全麻手術症例数



整形外科

1 概要

整形外科では「骨・関節・靱帯・筋肉さらには脊椎・脊髄・末梢神経を含む、運動器官」に関する治療を行っています。世界的に類を見ない高齢化が進んでいる我が国において、運動器疾患の治療は社会的にも重要性を増しています。当院の整形外科は、4つの臨床グループ（脊椎・脊髄、上肢、下肢、腫瘍）からなり、一般のクリニック・病院では治療が難しい疾患・腫瘍や手術症例などを中心に診療し、特定機能病院の一翼を担っています。

2 対象疾患

- 脊椎脊髄外科：脊髄腫瘍、脊椎腫瘍、脊椎後弯症、側弯症、椎間板ヘルニア（頸椎・胸椎・腰椎）、腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニア、後縦靱帯骨化症（OPLL）、頸椎症性脊髄症、脊椎炎など
- 肩関節：反復性肩関節脱臼、腱板損傷、変形性肩関節症、野球肩、上肢の脱臼・骨折など
- 手肘の外科：上肢スポーツ障害、関節リウマチ、変形性肘関節症、末梢神経障害、胸郭出口症候群、テニス肘、ゴルフ肘、野球肘、上肢の脱臼・骨折、腱損傷と靱帯損傷、手の先天性奇形など
- 股関節：変形性股関節症、急速破壊型股関節症、股関節唇損傷、骨盤骨折、大腿骨近位部骨折、関節リウマチなど
- 膝関節：変形性膝関節症、膝靱帯・半月板損傷、骨壊死、反復性膝蓋骨脱臼、下肢骨折、関節リウマチなど
- 腫瘍：骨軟部腫瘍（悪性・良性）（原発性・転移性）など

3 検査

骨塩定量検査（BMD；Bone Mineral Density）／椎間板造影・椎間板ブロック／神経根造影・神経根ブロック／関節造影検査／脊髄造影／CT／MRI／PET/CT

4 実績

2023年	
脊椎脊髄	801件
上肢(肩、肘、手)	562件
下肢(股関節、膝関節)	579件
腫瘍(骨腫瘍、軟部腫瘍)	284件
合計	2,226件

リハビリテーション科

1 概要

リハビリテーション科は、主に神経・筋・骨格系の異常にもとづく運動機能障害者を対象として、医学的治療や治療的訓練を実施する診療科です。

疾患により生じた移動・身の回りの動作・コミュニケーションなどの障害に対して、失われた機能の回復を促すとともに、残存能力を最大限に高めるための治療を行い、患者さんが家庭や社会に復帰できるように援助しています。

治療手段には、薬物療法、神経ブロック、運動療法および温熱・電気刺激などの物理療法（理学療法）、作業療法、言語聴覚療法、装具療法、義肢作製などがあります。患者さんの状態にあわせてこれらの治療法を組み合わせ実施します。

2 対象疾患

脳卒中／脊髄損傷／神経・筋疾患／悪性腫瘍（がん）／リンパ浮腫／小児疾患／切断／骨関節疾患／心疾患／慢性閉塞性肺疾患／嚥下障害／高次脳機能障害／外傷性脳損傷／関節リウマチ

3 検査

神経伝導検査、針筋電図／運動誘発電位（MEP）、体性感覚誘発電位（SEP）／ビデオ嚥下造影検査（VF）、ビデオ嚥下内視鏡検査（VE）／蛍光リンパ造影検査

4 実績

実績件数(年集計概数)	実施件数(年集計概数)
筋電図検査	270件
ビデオ嚥下造影検査	120件
嚥下内視鏡	30件
ボツリヌス注射	500件

形成外科

1 概要

形成外科は、主に外から見える形態の異常を、手術で正常に近づける治療を行っています。体表の先天異常、悪性腫瘍切除後の組織欠損、外傷による変形や欠損などを治療しています。また、傷をきれいに治す、治り難い傷を治す治療も行っています。最新の皮弁やマイクロサージャリーによる再建、口唇・口蓋裂や頭蓋顎顔面の骨変形に対するチームアプローチ、人工物を用いた乳房や顔面骨の再建、巨大色素性母斑に対する治療、血管奇形の硬化療法、ケロイドや傷あとを目立たなくする治療、眼瞼下垂、リンパ浮腫に対する集学的治療など、幅広い疾患に対して一流の治療を提供しています。

2 対象疾患

きずあと・ケロイド・瘢痕拘縮／褥瘡・難治性潰瘍／顎顔面の変形／口唇口蓋裂／頭蓋縫合早期癒合症／眼瞼下垂／耳介の形態異常／外鼻変形／顔面の外傷や骨折／顔面神経麻痺／頭頸部再建／腫瘍切除後再建／乳房再建／巨大色素性母斑／血管腫・血管奇形／リンパ浮腫／多指症・合指症

3 実績

領域1	手術件数
外傷	35件
先天性疾患	252件
腫瘍	370件
瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	70件
難治性潰瘍	30件
炎症・変性疾患	62件
その他	88件

小児科

1 概要

私たちはすべての子どもたちの健康で幸せな人生のために、周産期・小児医療センターの一員として、全人的な医療を提供します。内科の各専門に対応する分野（神経・内分泌・代謝・腎臓・循環器・血液腫瘍・呼吸器・感染・免疫アレルギー・精神保健・総合診療・集中治療）に加え、小児に特有な分野（新生児・思春期医学・臨床遺伝）の診療を行っています。これらの専門チームが、周産期・小児医療センターに属する他の診療科と密に連携して、お子さんが病気を克服し、社会人として幸せな人生を手に入れることができるよう、成育医療の理念のもと、診療にあたっております。

2 対象疾患

- 神経：けいれん、てんかん、発達遅滞、頭痛、神経痛、中枢神経系の感染症、脳血管障害、末梢神経疾患、筋疾患、発達障害（神経発達症）、母斑症を含む遺伝性神経疾患
- 内分泌・代謝：低身長、高身長、性分化疾患、原発性無月経、小陰茎、停留精巣、尿道下裂、ターナー症候群、クラインフェルター症候群、先天性骨疾患、先天性代謝異常、小児生活習慣病
- 遺伝性疾患：先天異常症候群、未診断疾患
- 精神保健：神経性食欲不振症、神経症、心身症、小児期うつ病、統合失調症、虐待・育児不安・心的外傷後ストレス障害
- 腎臓：学校検尿異常（血尿、蛋白尿）、腎炎、ネフローゼ、腎不全、先天性腎尿路異常、尿路感染症、尿細管疾患、水腎症、嚢胞性腎疾患、高血圧、夜尿症、全身性エリテマトーデス
- 新生児：早産児、低出生体重児、合併症のある新生児
- 心臓：先天性心疾患、後天性心疾患、不整脈、肺動脈性肺高血圧症、川崎病
- 血液：白血病、リンパ腫、神経芽腫、骨肉腫、横紋筋肉腫、ユーイング肉腫、肝芽腫、再生不良性貧血、血小板減少性紫斑病、血友病 A/血友病 B、脳腫瘍
- 呼吸：長引く咳嗽、反復性肺炎、気管支喘息、先天性喘鳴、閉塞性睡眠時無呼吸、気管狭窄・軟化症、先天性嚢胞性肺疾患、間質性肺疾患、特発性肺ヘモジデロシス、慢性呼吸不全
- 感染：不明熱・重症感染症や COVID-19 感染症を含めた感染症コンサルト、肝移植前後のワクチン接種、各種感染症対策
- 外来総合：便秘、夜尿等の日常的な健康問題、思春期の健康問題、予防接種・成長・発達・育児・集団生活等に関する相談
- アレルギー：食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、アレルギー疾患全般
- リウマチ・膠原病：若年性特発性関節炎、若年性皮膚筋炎、シェーグレン症候群、ベーチェット病、血管炎、周期性発熱症候群
- 急性期集中治療：呼吸・循環・神経等主要臓器の機能不全がある、または起こる可能性が高い患者（原因疾患を問わず）

3 検査・治療

- 神経チーム：長時間ビデオ脳波、頭部画像検査
- 内分泌・代謝チーム：性の決定・分化に関与する疾患および小児副腎疾患を含む小児期発症内分泌疾患の遺伝子解析および各種内分泌負荷試験
- 遺伝チーム：エクソーム解析・全ゲノム解析・RNA 解析を含む各種遺伝学的検査
- 精神保健チーム：発達検査、知能検査
- 腎臓チーム：腎生検、核医学検査、透析、血漿交換
- 心臓チーム：心エコー検査（出生前を含む）、心臓カテーテル検査（年間検査約 100 件、うち治療約 20 件）、

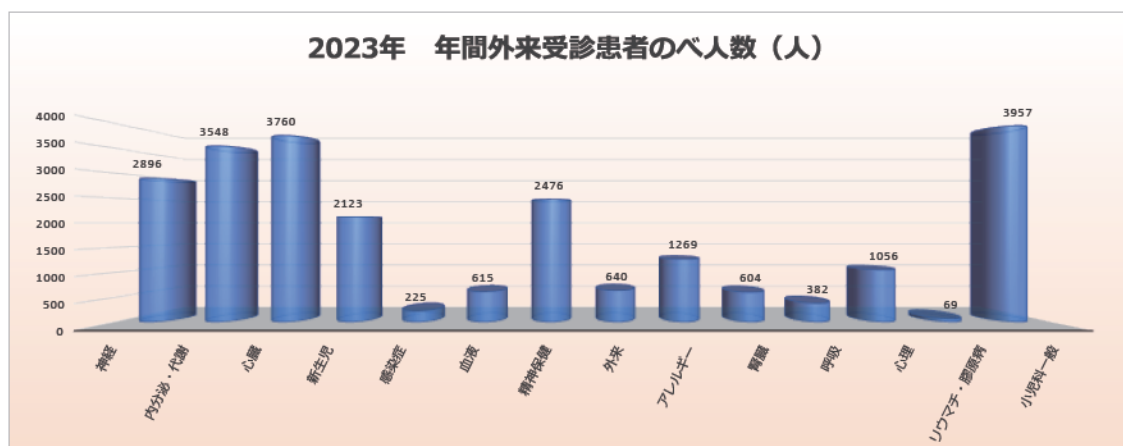
心臓電気生理学検査、運動負荷試験、心臓 MRI 検査、心臓核医学検査

○呼吸チーム：胸部の X 線・CT・超音波検査、喉頭・気管支内視鏡検査、気管支肺胞洗浄、肺機能検査、睡眠時無呼吸検査、肺換気血流シンチグラフィ

○アレルギーチーム：食物負荷試験、皮膚検査

○集中治療チーム：超音波検査、CT 検査、MRI 検査、喉頭・気管支内視鏡検査、ビデオ脳波検査など（他チームと連携して実施）

4 実績



産科

1 概要

産科では、生理でお困りの方、お子さんが欲しいカップルの方、妊娠中の方、お母様やおなかの中のお子様は何らかのご病気をお持ちの方に対して、ご家族に寄り添った形で最良の治療を提供しており、現在・未来の妊娠出産に向けてのトータルサポートを実践しています。周産期分野では、“Fetus as a Patient”として胎児中心の新しい診断・治療を進めております。生殖分野ではリプロダクションセンターにおいて“がん生殖”に加えて、プレコンセプションケアなど新たな分野にチャレンジしております。産科麻酔の専門の医師も加入し、無痛分娩のサポートにも力を入れています。新病院棟での診療開始にともない、妊娠をご希望され、さらに出産を希望されるより多くの皆様にご満足頂ける環境が整いました。患者さんにご家族の「笑顔」のためにスタッフ一同、全力でサポートいたします。

2 対象疾患

月経異常、不妊症、不育症、着床前診断、出生前診断、分娩、そして将来妊娠を考えている方に対する子宮内膜症や子宮筋腫等の治療まで、幅広い分野を対象としております。産科麻酔の専門の医師も加入し、無痛分娩のサポートにも力を入れています。

地域周産期母子医療センターではありますが、内科・外科合併症を有する方のみならず、健常な方の妊娠分娩管理も積極的に受け入れております。

3 検査

不妊症・不育症関連検査／内分泌検査／子宮鏡・子宮卵管造影／超音波・CT/MRI 検査（胎児含む）／出生前診断（NIPT、羊水検査）

4 実績

周産期分野では、ハイリスク妊娠の分娩管理とともに、合併症や危険因子を有しない、いわゆるローリスク妊娠、無痛・和痛分娩にも対応しています（775件/2022年・以下同年）。また、NIPT（271件）や羊水検査（40件）による出生前診断も行っております。生殖分野では人工授精（526件）、採卵・体外受精・胚移植（978件）、内視鏡手術（69件）を中心に不妊症診療を行っております。

婦人科

1 概要

産婦人科は、初潮から妊娠・出産そして老年期の諸疾患にいたるまで、「女性のライフサイクル」におけるあらゆるイベントに関わる診療科です。その中で、婦人科腫瘍や更年期医学などを主に「婦人科」で扱っています。当科では、良性、悪性を問わず治療において、妊孕性温存や腹腔鏡やレーザーといった低侵襲手術を念頭に、治療後の妊娠出産およびQOLの向上を可能とする治療を心がけています。また臨床研究中核病院、がんゲノム医療中核拠点病院として最先端の医療の実践も行っています。

2 対象疾患

＜婦人科悪性腫瘍＞子宮頸がん／子宮体がん／卵巣がん／卵管がん／腹膜がん／絨毛がん／外陰がん／膣がん／その他の悪性腫瘍

＜婦人科良性腫瘍＞子宮筋腫／卵巣嚢腫

＜その他＞不正子宮出血／月経困難症／更年期障害／各種感染症／骨盤腹膜炎／クラミジア感染症／子宮内膜症／子宮脱／子宮奇形

3 検査

コルポスコープ診／細胞診／組織診／子宮鏡検査／超音波検査

4 実績

主な実績	2021年	2022年	2023年
子宮頸部悪性腫瘍(治療件数)	106件	101件	126件
子宮体部悪性腫瘍(治療件数)	110件	124件	123件
卵巣悪性腫瘍(治療件数)	57件	75件	80件
良性疾患(手術件数)	629件	531件	636件

眼科

1 概要

眼科では、ほぼすべての眼疾患に対応できる診療体制を整えております。外来は眼科一般診療、特殊外来を行っています。手術、薬治など必要に応じて入院が行なわれています。病診連携を主軸とし、手術加療後は紹介元の先生と連携を取りながら、患者さんの外来通院負担をできるだけ軽減し、適切な治療をご継続いただいています。また網膜剥離、角膜穿孔、緑内障発作などの緊急疾患には専門医が即時対応するよう心がけております。緊急対応が必要な患者さんのご紹介時には、当科外来宛にまずご一報いただけますと幸いです。

2 対象疾患

屈折異常／白内障／ドライアイ／緑内障／水疱性角膜症／円錐角膜／涙道閉塞症／網膜剥離／糖尿病網膜症／黄斑疾患／流行性角結膜炎／近視（進行抑制）／眼瞼下垂／眼瞼腫瘍／眼窩腫瘍／加齢黄斑変性／アレルギー性結膜炎／眼感染症全般／斜視／弱視／小児先天性疾患

3 検査

視野検査（ハンフリー視野計、ゴールドマン視野計）／OCT（光干渉断層計）検査（前眼部、後眼部）／蛍光眼底造影検査（FAG、ICG）／眼圧検査（非接触型、接触型、アイケア手持眼圧計）／広角眼底写真検査（オプティクス社製カリフォルニア）／電気生理検査（VEP、ERG）

4 実績

2023年 外来実績		2023年 手術実績	
初診患者数	3,362人	総件数	3,720件
再診患者数	52,138人		

2023年 分野別手術	
白内障手術	2,002件
眼形成眼窩手術	329件
網膜硝子体手術(硝子体切除術 578件、バックリング 22件)	600件
緑内障手術 (線維柱帯切除術 180件、線維柱帯切開術 39件、 チューブシャント 53件、その他 83件)	505件
角結膜手術(角膜移植 109件、その他 84件)	193件
屈折矯正手術	37件
その他	54件

硝子体注射数	1,626件
--------	--------

皮膚科

1 概要

皮膚科では、皮膚、爪、毛などにあるすべての疾患に対応できるような診療体制を整えております。皮膚科スタッフ一同が協力体制をとり、正確な診断と治療を通じて、最先端の医療を提供できるように努力しております。必要に応じて他科の医師にも相談するなど、連携し医療を提供します。

初診、再診の外来に加えて、専門外来も開設しております。その他、皮膚生検やパッチテスト、日帰りの手術にも対応できるようになっています。重症例に対する入院治療や、悪性腫瘍に対する全身麻酔下の手術療法、天疱瘡・類天疱瘡の初期治療や血漿交換療法、大量ガンマグロブリン静注療法なども行っております。

2 対象疾患

天疱瘡・類天疱瘡・後天性表皮水疱症など／皮膚悪性腫瘍（悪性黒色腫、乳房外パジェット病、有棘細胞癌、メルケル細胞癌、血管肉腫、菌状息肉症、皮膚リンパ腫など）／薬疹／脱毛症／アトピー性皮膚炎／乾癬／皮膚膠原病（皮膚エリテマトーデス、シェーグレン症候群、皮膚筋炎、皮膚血管炎など）／遺伝性皮膚疾患／爪の異常／しみ・あざ／発汗異常

3 検査

皮膚生検／ブリックテスト／皮内テスト／パッチテスト／薬剤内服チャレンジテスト／ダーモスコピー検査／光線過敏試験／超音波検査／発汗試験／センチネルリンパ節生検（SPECT）／遺伝学的検査（様々な遺伝性疾患、腫瘍）

4 実績

○外来患者数（2021年度）：初診 1,449 人、再診 41,485 人

○入院患者数（2021年度）：入院患者延数 5,338 人

○手術件数：全身麻酔 87 件、局所麻酔 306 件

○皮膚悪性腫瘍新規患者数（2020年度）：

悪性黒色腫 21 名

乳房外パジェット病 19 名

有棘細胞癌 14 名

血管肉腫 8 名

隆起性皮膚線維肉腫 4 名

メルケル細胞癌 3 名

○その他：

基底細胞癌

ボーエン病

悪性軟骨様汗管腫

菌状息肉症

未分化大細胞性リンパ腫

泌尿器科

1 概要

泌尿器科では、腎癌、尿路上皮癌（腎盂癌、尿管癌、膀胱癌）、前立腺癌、精巣癌などの悪性腫瘍をはじめ、良性疾患として、副腎腫瘍、腎不全（人工透析、腎移植）、尿路感染症、尿路結石、前立腺肥大症、尿失禁、骨盤臓器脱、男性不妊症、男性機能障害、さらに小児の泌尿器疾患や救急疾患（精巣捻転症、外傷）などの診断と治療を行っています。

特に、治療に関しては、患者さんに優しい低侵襲治療として、経尿道的内視鏡手術、腹腔鏡下手術、ロボット支援手術などを積極的に取り入れて、治療成績も良好です。また、転移をとまなう癌に対する分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬など新たな薬物療法の実績も国内随一です。

2 対象疾患

腎癌／腎盂癌／尿管癌／膀胱癌／前立腺癌／精巣癌／副腎腫瘍／腎不全（含・腎移植）／尿路感染症／尿路結石／神経因性膀胱／前立腺肥大症／尿失禁／骨盤臓器脱／不妊症／勃起不全／男性更年期障害／先天性水腎症／膀胱尿管逆流／尿道下裂／停留精巣／性分化疾患／総排泄腔遺残／総排泄腔外反／精巣捻転症／尿道外傷 など

3 検査

静脈性尿路造影検査／逆行性腎盂尿管造影検査／排尿時膀胱尿道造影検査／逆行性尿道造影検査／尿流動態検査／膀胱尿道鏡検査／前立腺超音波検査／前立腺針生検

4 実績

主要な手術治療	2021年	2022年	2023年
副腎摘除術	26	26	28
根治的腎摘除術(内・ロボット支援手術)	26	28	23(3)
腎部分切除術(内・ロボット支援手術)	28(22)	49(46)	51(49)
腎移植術	6	3	8
腎盂形成術(内・ロボット支援手術)	22(14)	20(14)	19(17)
尿管膀胱新吻合術	19	11	17
腎尿管全摘除膀胱部分切除術(内・ロボット支援手術)	22	16	16(6)
膀胱全摘除術(内・ロボット支援手術)	14(8)	7(5)	13(11)
経尿道的膀胱腫瘍切除術	127	150	159
前立腺全摘除術(内・ロボット支援手術)	99(99)	125(125)	108(108)
前立腺小線源療法	34	48	32
経尿道的前立腺手術(内・CVP)	70(59)	77(67)	100(80)
尿失禁防止術(TVT, TOT, 人工括約筋, SNM, ボトックス注入)	16	13	16
尿道形成術	47	41	55
女児外陰形成術	2	7	3
精巣固定術	23	33	29
精巣摘除術	5	8	4
尿路結石手術(ESWL, PNL, TUL)	83	93	75

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

1 概要

耳鼻咽喉科・頭頸部外科は耳や鼻、のどを中心に、首から上の範囲をカバーする領域科です。脳と脊髄（神経内科や脳神経外科が担当）、眼球（眼科が担当）を除いた頭部および頸部の広い領域を担当します。担当する領域が広いだけでなく、風邪や花粉症、鼻出血、中耳炎、めまいなど、誰もが一度は経験するような疾患の診療（プライマリケア）から、聴力改善手術や頭頸部がんの治療などの専門性の高い診療まで広範な診療内容の特徴としています。

2 対象疾患

中耳炎／耳硬化症／側頭骨腫瘍／聴神経腫瘍／頭頸部がん／唾液腺腫瘍／声帯の病気／めまい／副鼻腔炎／アレルギー性鼻炎／小児耳前瘻孔／小児の顔面・頸部疾患（正中頸嚢胞・側頸嚢、梨状窩嚢）／外耳炎／耳小骨奇形／外耳道閉鎖症／先天性耳瘻孔／耳管狭窄症／耳管開放症／耳鳴症／聴覚過敏／突発性難聴／低音障害型感音難聴／メニエール病／騒音性難聴／機能的難聴／遺伝性難聴／先天性難聴／ムンプス難聴／聴器癌／鼻出血／鼻中隔湾曲症／肥厚性鼻炎／術後性頬部嚢胞／嗅覚障害／鼻副鼻腔腫瘍／アデノイド増殖症／扁桃肥大／急性咽頭炎／急性扁桃炎／扁桃周囲炎／習慣性扁桃炎／扁桃周囲膿瘍／急性声帯炎／急性喉頭蓋炎／喉頭浮腫／喉頭蓋嚢胞／喉頭肉芽腫／反回神経麻痺／吃音／痙攣性発声障害／喉頭癌／喉頭白板症／喉頭血管腫／喉頭奇形／喉頭狭窄／喉頭異物／喉頭外傷／嚥下障害／咽喉頭異常感症／上顎癌／舌癌／口腔底癌／上咽頭癌／中咽頭癌／下咽頭癌／原発不明癌頸部転移／甲状腺癌／耳下腺癌／顎下腺癌／頭頸部悪性リンパ腫／副咽頭間隙腫瘍／頸動脈小体腫瘍／頸部神経鞘腫／ガマ腫／外リンパ瘻／前庭神経炎／ベル麻痺／ラムゼイ・ハント症候群／睡眠時無呼吸症候群／喉頭乳頭腫

3 検査

聴覚機能検査／補聴器適合検査／平衡機能検査／電気眼振検査／VEMP／新生児聴覚スクリーニングとその後の精密検査／耳鳴検査／喉頭内視鏡検査と発声機能検査／ABLB テスト／SISI テスト／Bekesy 検査／プロモントリーテスト／心理テスト／補聴器装用テスト／側頭骨 3D-CT／内耳・内耳道 MRI／中耳 MR（I プロ

ペラ法含む) / ENoG / 難聴の遺伝子診断 / 言語発達検査 / 下咽頭ファイバースコープ / 超音波検査 / CT / シンチグラム (ガリウム・甲状腺・唾液腺・骨) / 穿刺吸引細胞診(cFNA) / 頭頸部 MRI・MRA / 心理検査 / RAST / 鼻腔通気度検査

4 実績

2023年度実績(専門医制度の手術区群による分類)	件数
耳科手術	240件
鼻科手術	125件
口腔咽頭喉頭手術	205件
頭頸部手術	297件

精神・神経科

1 概要

精神神経科では、気分障害・統合失調症・不安障害・摂食障害・睡眠障害・認知症・脳器質疾患・てんかん・発達障害、など全ての精神・神経疾患の診断・治療を行っています。診断のため、血液検査・画像検査だけでなく、さまざまな心理検査・神経心理学的検査を受けることも可能です。実績に示したとおり気分障害・神経症の初診患者さんが多いですが、全ての領域の精神疾患患者さんが来院されています。また電気けいれん療法や精神疾患に伴う身体合併症の管理・治療のための入院を目的として外来受診される方もおられます。

2 対象疾患

気分障害(うつ病、双極性障害) / 統合失調症 / 不安障害(社会恐怖や特定の恐怖症などの恐怖症、全般性不安障害、パニック障害、強迫性障害、外傷後ストレス障害(PTSD)、急性ストレス障害 / 発達障害(自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症など) / 心身症・身体表現性障害・自律神経失調症 / 摂食障害(神経性やせ症、神経性過食症) / 睡眠障害(不眠症、過眠症、睡眠・覚醒リズム障害など) / 身体疾患に伴う精神的問題 / てんかん / 物質関連障害 / 思春期・青年期精神障害 / 認知症 / せん妄 / 老年期精神障害 / 器質性精神障害 / 家庭・学校・職場のメンタルヘルス / 高次脳機能障害 / 頭部外傷後遺症 / 脳器質疾患

3 検査

一般血液検査 / 心理検査 / 神経心理学的検査(認知機能検査) / 頭部 MRI、頭部 CT 検査 / 脳波検査 / 光トポグラフィー検査 / 脳血流シンチ検査

4 実績

外来初診件数	1,307件
外来再診件数	36,463件

(2023年1月1日から12月31日まで)

放射線治療科

1 概要

放射線治療科は、主にがん（悪性腫瘍）に対する放射線治療を専門に行う部門です。
放射線治療は、手術・抗がん剤に並ぶがん治療の柱の一つです。他の臨床各科との連携のもとに各種の悪性腫瘍の放射線による治療を行っています。当科ではリニアックを用いた外部放射線治療のほかに、前立腺がん組織内照射や子宮がん腔内照射といった小線源治療を実施しています。

2 対象疾患

- 悪性腫瘍一般（脳・脊髄腫瘍、口腔がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、縦隔腫瘍、食道がん、胃がん、肝臓がん、胆道がん、膵臓がん、直腸がん、子宮頸がん、前立腺がん、白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、各種悪性肉腫、小児がん、転移性腫瘍など）
- 良性脳腫瘍（髄膜腫、下垂体腺腫など）
- 一部の良性疾患（ケロイドなど）

3 実績

名称	件数	備考
放射線治療患者実人数(新患+再患)	918件	2023年
強度変調放射線治療(IMRT)	254件	2023年
定位放射線治療(脳+体幹部)	133件	2023年
腔内照射	47件	2023年
ヨウ素125密封小線源永久挿入療法	24件	2023年
緩和的放射線治療	257件	2023年

放射線診断科

1 概要

当科は院内各科からの依頼にもとづき、コンピュータ断層撮影（CT）、磁気共鳴画像検査（MRI）、超音波、消化管造影、核医学検査（SPECT、PET）、血管造影などの画像診断を行っています。あらゆる臓器、疾患を対象とし、画像から得られる情報を臨床各科に報告することで、各科の治療方針の決定に貢献しています。また、画像診断を活用しながら行う低侵襲なカテーテル治療（IVR：インターベンショナル・ラジオロジー）を積極的に行っています。画像診断外来では各種画像診断、IVR 外来では内臓動脈瘤、血管腫・血管奇形、動静脈奇形のご紹介を積極的に受け入れています。

2 対象疾患

- <画像診断外来>あらゆる領域のがん・腫瘍などの診断
- <IVR 外来>動脈瘤（腎・脾臓等）／血管腫／動静脈奇形（肺・腎等）

3 検査

消化管X線造影／超音波一般／MRI／CT 一般／血管内治療／PET 検査／SPECT 検査

4 実績

名称	件数(2022年度)
CT(健診含む)	62,911件
MRI(健診含む)	31,214件
超音波(健診含む)	33,677件
核医学 PET+SPECT	12,486件
IVR(画像下治療+血管造影)	1,332件

麻酔科

1 概要

麻酔科は手術・外傷・感染・痛みなどの生体に加わる様々なストレスから患者さんを守ることを専門とした診療科です。手術室センターでは、さまざまな内容の手術に対して、それぞれの患者さんの背景に対応した全身麻酔管理を年間約9,000例実施しています。痛み診療センターでは、難治性の慢性痛を多角的に評価し、複数診療科の専門医が連携して、学際的痛み治療を行います。集中治療センターでは、急性期の重症患者さんの治療を行っています。緩和ケアセンターでは、病気の治療の全経過を通して認められる身体や心のさまざまな苦痛を和らげる医療を提供しています。無痛分娩チームでは、持続硬膜外鎮痛による分娩時鎮痛を提供しています。

2 対象疾患

<手術センター>

全身麻酔・監視下鎮静を必要とする手術・処置・検査全般

<痛み診療センター>

腰痛症／坐骨神経痛／腰部脊柱管狭窄症／腰椎椎間板ヘルニア／腰椎椎間板症／圧迫骨折／頸椎症／頸椎症性神経根症／頸椎ヘルニア／慢性腹痛／緊張性頭痛／非定型顔面痛／三叉神経痛／帯状疱疹・帯状疱疹後神経痛／複合性局所疼痛症候群（CRPS）／閉塞性動脈硬化症／バージャー病／顔面神経麻痺

<集中治療センター>

集中的治療を必要とする重症病態のすべて

<緩和ケアセンター>

緩和ケアを必要とする苦痛

3 検査

血液検査／レントゲン検査／CT・MRI検査／仙骨硬膜外造影検査／サーモグラフィー検査

4 実績

手術麻酔	2023年度
全身麻酔	8,764件
術後PCA管理	3,706件
無痛分娩	2023年度
症例数	227例

救急科

1 概要

救急科は幅広い領域の急病や外傷について適切な初期対応と必要に応じた入院加療を含む継続医療を提供することで地域医療に貢献すると共に、医学教育と研究活動を通じて、救急医療の向上に努めています。救急外来には24時間365日体制で救急科専門医が常駐し、重症度に関わらず救急車で来院する患者さんを中心に適切な医療を提供いたします。

各診療科の専門的治療が必要な場合には、迅速に協働して治療を行います。また、当院は東京都災害拠点病院に指定されており、有事の際には災害派遣医療チーム（DMAT）の派遣を行っております。このような活動を通じて、“災害に強い都市型地域医療の推進”に貢献いたします。

2 対象疾患

以下を中心として、内因性、外因性を問わず対応しております。

院外心肺停止／ショック／意識障害／外傷／熱傷／敗血症／一過性意識障害（失神など）／体温異常（熱中症または偶発性低体温症）／急性冠症候群／脳血管障害／大動脈疾患／急性中毒／急性腹症／上気道閉塞／吐血／喀血／めまい／不整脈／呼吸困難／消化管異物／尿閉／高血圧緊急症／軟部組織感染症／鼻出血／電撃傷／化学損傷／溺水

3 検査

必要な検査については365日24時間体制で行なっております。

（夜間や休日は可能な検査が制限されます）。

4 実績

2023年統計（救急科担当のみ）	
救急車搬入件数	7,550件（3次救急：162件）
救急車応需率	2次：67.2% 3次：45.1%
入院患者数	367件 非外傷：229件 体幹部外傷：26件 頭部外傷：71件 骨盤四肢外傷：41件
手術件数	103件（上半期） 急性期外科：47件、整形外科：46件、その他：10件

歯科・口腔外科

1 概要

歯科・口腔外科では、顎口腔腫瘍・口腔がん・顎変形症・顎骨骨髓炎・薬剤関連顎骨壊死・顎骨再建・顎口腔インプラントなどの口腔外科手術全般、および臨床各科との密接な連携のもと、基礎疾患を有する患者さんの一般歯科治療を行っています。また、歯周病、口腔粘膜疾患、補綴（入れ歯）、顎関節症外来などの特殊外来を設け、それぞれの専門医が診療しています。さらに、慶應病院各科でがん治療、高侵襲手術を受ける方の口

腔関連合併症予防対策として、看護部と協働した口腔機能ケアを行っています。

特に、より低侵襲で精度の高い治療として、コンピュータ支援下手術、サージカルガイド下手術、口腔がんの全周迅速診断などを取り入れ、治療成績は良好です。

2 対象疾患

顎口腔腫瘍・口腔がん／顎変形症／顎口腔インプラント／小児口腔外科疾患／口腔粘膜疾患／顎骨骨髓炎／薬剤関連顎骨壊死／顎骨嚢胞／顎口腔外傷／歯周病／顎補綴／歯性感染症／埋伏歯／う蝕／歯列不正／顎関節症／口腔機能ケア

3 検査

SPECT/CT（口腔がん、薬剤関連顎骨壊死、顎骨骨髓炎）／超音波検査／唾液腺造影法／唾液分泌機能検査（唾液腺シンチグラフィ）／唾液量検査（ガム試験）／味覚検査／口腔腫瘍検査／咬合異常検査／歯周病検査／う蝕検査／歯列不正検査／口腔内細菌検査／歯科金属補綴物分析検査／口臭検査／咀嚼機能検査／精密触覚機能検査

4 実績

初診患者数	2021年度	2022年度	2023年度
歯科	776	832	800
口腔外科	2,335	2,384	2,285
口腔機能ケア	1,844	1,761	1,976
合計	4,955	4,977	5,061

症例数	2021年度	2022年度	2023年度
悪性腫瘍	48	45	48
良性腫瘍	88	4	4
顎変形症	40	50	47
インプラント埋入手術	177	167	197
顎骨再建術	9	9	9
顎骨骨折	25	20	12
顎骨嚢胞	67	51	51
歯性感染症	89	86	86

臨床検査科

1 概要

臨床検査科は病院の診療科部門の一つであり、臨床検査(検体検査と生体機能検査)を専門に行う部署です。大学病院の理念のもと、患者さんに優しく信頼される臨床検査、迅速で質の高い検査と情報の提供、大学病院の専門性を生かした診療・研究・教育の支援、を柱とし、皆様への健康サポートを行うことを業務理念としております。そして、(1) 医療サービス向上、(2) 安全管理の徹底、(3) 経済効率の向上、(4) 医療の進歩に対応できる検査体制の構築、(5) 十分なコミュニケーションを具体的目標として日夜努力を続けております。

臨床検査は診療の基本であると同時に、治験や臨床研究と密接に関係します。診療科との連携を重視し、医

療の変化に柔軟に対応できる検査科を目指しています。さらに教育研究機能の充実は明日の医療に極めて重要であり、臨床検査の立場から医学部や病院をサポートするとともに、検査における病院間連携にも尽力しております。

当検査科は質の高いサービスを患者と診療各科に提供する為に、臨床検査室の国際基準である ISO 15189 の要求事項に基づいた品質マネジメントシステムを構築、運用し、下に記載される品質方針を掲げております。

スタッフは医師、臨床検査技師、看護師、事務員で構成されています。部門は外来採血、一般検査、化学・免疫、血液、微生物、生体検査・健診（心機能、肺機能・神経機能、血管検査）、臨床試験病棟、ゲノム検査室、システム管理に分かれています。

2 対象疾患

臨床検査科ではすべての診療科から依頼される臨床検査を集中して行います。がんを含む悪性腫瘍、脂質異常症、高血圧、糖尿病といった生活習慣病から、各種感染症、膠原病などの自己免疫疾患、心血管病、血液疾患、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病や膵臓病を含む消化器病、神経筋疾患、運動器疾患のほか、先天性や後天性の代謝異常症や内分泌疾患、手術に関係する検査、妊娠出産に関係する検査、薬物検査などを行います。これらは血液、尿、便、体液などを分析する検体検査と、心機能、肺機能・神経機能、血管検査などの生理機能検査に分けられます。特に基本的な検体検査は、365日24時間対応しております。

3 検査

検体検査（血液・尿・便・喀痰・その他）／生理機能検査（心・肺・神経・代謝・血管）／画像検査（心臓および血管超音波）

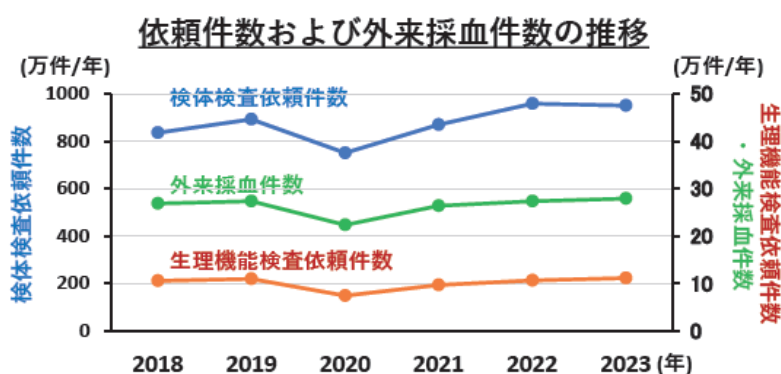
院外で行われる外部委託検査も受付けており、ほぼ全ての保険診療検査に対応可能です。探索的、先端的な研究検査にも力を入れており、遺伝学的検査、腫瘍関連遺伝子検査、感染症遺伝子検査にも対応しております。

ただちに対応しなければ生命に危険を与える異常値（超緊急連絡値）について、これまでのいわゆる「パニック値」とは別に、医師に必ず電話連絡するとともに電子カルテ上に担当医とのやり取りを残すこととし、検査結果を確実に担当医に伝える体制を確立しています。

臨床研究中核病院として精力的に行われている臨床試験や治験において、臨床検査科として採血や検体検査および生理機能検査の支援を行っています。臨床試験病棟には検査室が設置されております。全病棟・外来に設置されている血糖測定器は臨床検査科が精度管理とメンテナンスなど一括管理しております。糖尿病教室にも積極的に協力しています。

4 実績

年間依頼項目件数（2023年実績）は検体検査が約950万件、生理機能検査が約11万件です。コロナ禍の影響で2020年に一時減少したものの、再度増加しています。このほか、全診療科の外来採血1日約1,000名の採血を担当しております。診察前検査が多く、外来採血の約8割を占めています。現在では、採血や採尿だけではなく、心電図や肺機能検査の結果も診察前に報告しております。なお、検査結果報告所要時間に遅延が生じないようにするために、報告の遅延件数を品質指標の一つに定めております。



病理診断科

1 概要

病理診断科では慶應義塾大学病院の各診療科から提出される検体から標本を作製し、肉眼や顕微鏡で形態的に観察し最終診断を行っています。診断対象は全臓器にわたり、生検組織や手術で摘出された臓器の組織診断、体から剥離した細胞や吸引された細胞を診断する細胞診の診断結果に基づいて臨床各科の治療方針が決定されます。ご紹介いただいた患者さんの標本を取り寄せて診断させていただくこともあります。

2 実績

	組織診	細胞診	病理解剖
2018年	22,310件 (術中迅速組織診1,376件を含む)	23,071件	40件
2019年	23,881件 (術中迅速組織診1,510件を含む)	23,016件	48件
2020年	18,944件 (術中迅速組織診1,223件を含む)	19,764件	35件
2021年	21,644件 (術中迅速組織診1,366件を含む)	22,778件	31件
2022年	24,021件 (術中迅速組織診1,379件を含む)	23,564件	31件
2023年	24,785件 (術中迅速組織診1,420件を含む)	24,016件	25件

スポーツ医学総合センター

1 概要

スポーツ医学総合センターの診療はスポーツ選手や愛好家を対象としたアスリート外来と、一般の方に対する運動療法を目的とした運動療法外来とに分かれています。アスリート外来ではスポーツ選手や愛好家のケガや病気に対して、常にスポーツ復帰を念頭に置いた治療を行います。従って、スポーツ活動の中断に伴う体力低下、全身の筋力低下や心機能や肺機能の低下、さらにはパフォーマンス能力の低下などが生じないように、治療中も様々なトレーニング、栄養指導や併用療法を行います。これによって、単にケガや病気を治療するだけでなく、早期のスポーツ復帰を目指したアスリートに特化した治療が可能になります。運動療法外来では様々な病気に対して、運動療法により、その予防や治療を行います。すなわち生活習慣病といわれるメタボリック症候群、糖尿病、高血圧などの内科疾患、心不全、心筋梗塞などの循環器疾患、また骨粗鬆症、変形性脊椎症、変形性膝関節症などの運動器疾患、更には小児科領域の疾患などが対象となります。特に運動療法が必要であるにもかかわらず、膝が痛い、腰が痛いなどの症状のために十分な運動ができない方に対しては、内科的・整形外科的両側面から総合的に診断し、個々人にとって最も適切な運動療法を行えるように致します。生活習慣病で運動療法が必要な方や、どのように運動をすればよいかわからない方、ランニング愛好家からプロのランナーの方まで、運動や歩行、ランニングのお悩みをお持ちの全ての方に、総合的な医学的評価に基づいて、運動や食事の指導を行っております。

2 対象疾患

<整形外科的疾患>

○肘関節 ○野球肘 ○上腕骨小頭離断性骨軟骨炎 ○内側側副靱帯損傷 ○テニス肘・ゴルフ肘 ○変形性肘関節症 ○尺骨神経障害 ○関節内遊離体（関節ねずみ） ○肘関節脱臼・骨折手関節 ○TFCC（三角線維軟骨複合体）損傷 ○腱鞘炎 ○手指循環障害 ○キーンベック病 ○靱帯損傷 ○手舟状骨骨折 ○有鉤骨鉤骨折 ○疲労骨折 ○手指骨折・脱臼肩関節・肩甲帯 ○胸郭出口症候群 ○野球肩 ○腱板損傷 ○反復性肩関節脱臼股関節 ○関節唇損傷 ○関節内遊離体 ○骨軟骨損傷膝関節 ○前十字靱帯損傷 ○膝関節靱帯・半月板損傷 ○膝蓋骨脱臼 ○離断性骨軟骨炎 ○オスグッド・シュラッター病 ○ジャンパー膝 ○ランナー膝大腿・下腿 ○肉離れ ○シンスプリント ○疲労骨折 ○アキレス腱断裂・付着部症足関節 ○靱帯損傷 ○足関節不安定症 ○後脛骨筋機能不全 ○腓骨筋腱脱臼 ○外反拇趾 ○足根管症候群 ○有痛性三角骨 ○足底腱膜炎 ○足根骨癒合症 ○外脛骨 ○モートン病その他 ○スポーツに伴う四肢外傷全般 ○スポーツ障害後のリハビリテーション ○サルコペニア ○ロコモティブシンドローム ○変形性膝関節症 ○骨粗鬆症

<内科的疾患>

○メタボリック症候群 ○糖尿病 ○高血圧症 ○肥満 ○心不全 ○虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞） ○スポーツ貧血 ○運動誘発性喘息 ○その他のスポーツに伴う内科的疾患全般 ○アンチ・ドーピング相談

<その他の診療科>

○スポーツに関連した心理サポート ○小児の運動療法

3 検査

○単純X線撮影 ○CT撮影 ○MRI撮影 ○超音波検査 ○呼気ガス分析器を用いた最大酸素摂取量測定 ○筋力・筋パワー評価 ○柔軟性評価 ○バランス機能評価 ○歩行能力の評価

4 実績

○プロ野球4球団のチームドクター、選手の傷害治療（手術を含む）
○大学体育会、高校運動部のチームドクター
○各種スポーツ団体の帯同、各種スポーツイベントの救急対応
○ご通院・ご入院中の患者さん、運動を始めた方・やり方がわからない方に対する安全かつ効果的な個別の運動処方（年間約400件の心肺運動負荷検査を実施）

内視鏡センター

1 概要

慶應義塾大学病院内視鏡センターでは、5人の専任医師の他、関連各診療科より1週間に延べ100名を超える医師の協力体制のもと、それぞれ専門の立場から診断・治療を担当し、年間約20,000件の内視鏡検査を実施しております。上部・下部内視鏡のスクリーニング検査や炎症性腸疾患の内視鏡診断は連日行われ、食道、胃、大腸の悪性腫瘍に対する内視鏡治療も腫瘍センターのスタッフを中心に、積極的に行っております。特に十二指腸の検査件数が増加しています。また胆膵疾患の内視鏡診断・治療や小腸内視鏡検査（バルーン内視鏡、カプセル内視鏡）、気管支鏡検査などX線透視下での検査・治療も精力的に行っています。

2 対象疾患

○吐血・下血 ○大腸がん ○食道がん ○胃がん ○逆流性食道炎 ○炎症性腸疾患 ○胃潰瘍と十二指腸潰瘍 ○小腸腫瘍、小腸出血 ○炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病など） ○膵腫瘍 ○胆道腫瘍 ○胆道結石 ○小児の消化管病変（全身麻酔下での内視鏡検査を当センターで施行） ○中下咽頭腫瘍 ○肺がん ○肺炎、肺結核

3 検査

上部内視鏡検査、下部内視鏡検査、膵・胆道内視鏡、小腸内視鏡検査（バルーン内視鏡）、小腸内視鏡検査（カプセル内視鏡）、気管支鏡検査、小児内視鏡検査（全身麻酔下での内視鏡検査を当センターで施行）。気管支鏡。内視鏡的止血術、食道静脈瘤結紮術、食道静脈瘤硬化療法、内視鏡的胃瘻造設術、食道・胃・十二指腸・大腸粘膜下層剥離術（ESD）。内視鏡的狭窄拡張術、内視鏡的胃瘻造設術、バルーン小腸内視鏡による止血術、ポリープ切除術。術後腸管に対するバルーン小腸内視鏡を使用した載石術。

4 実績

		2023年度
上部内視鏡		10,862
	うち食道ESD	102
	うち胃ESD	151
	うち十二指腸ESD	102
下部内視鏡		6,434
	うち下部ESD	163
カプセル小腸内視鏡		78
バルーン小腸内視鏡		303

腫瘍センター

1 概要

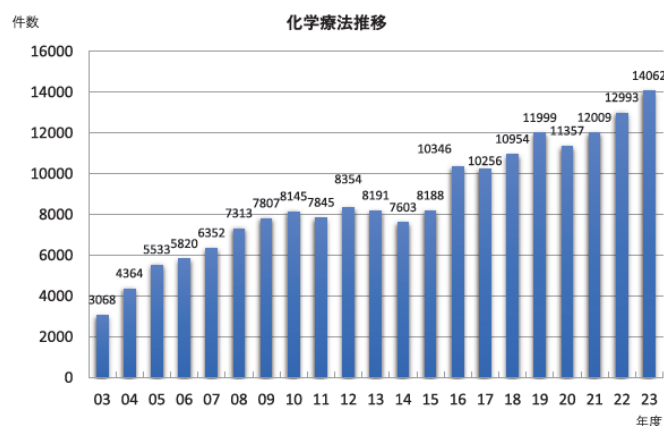
社会の高齢化に伴い、がんは我が国における最も深刻な疾病となりつつあります。がん医療に対する社会的要望の高まりに応え、2009年4月に包括的がん医療を提供する、診療科の枠を超えた横断的組織として、腫瘍センターは発足いたしました。現在、慶應義塾大学病院は、地域がん診療連携拠点病院および、がんゲノム医療中核拠点病院に指定されており腫瘍センターは、その中枢を担っております。今後もスタッフ一同一丸となり、我が国におけるがん医療の新しい形を模索し実現してまいります。

2 対象疾患

○消化器がん ○肺がん ○乳がん ○原発不明がん ○その他診断や治療が困難ながん ○がんゲノム診断 ○希少がん

3 実績

腫瘍センターでは、年間約 10,000 件の外来化学療法と、約 500 人の包括的がん患者初診を行っています。



1 概要

一般的な処方に対応が難しい時には漢方医学的な視点で考えると解決することが多々あります。漢方医学センターでは、「虚」「実」「寒」「熱」「六病位」「気血水」といった伝統的な漢方の診断にこだわり、体質や個人差を重視した治療を行っております。受診患者さんは幅広く、病名に関わらず、どの領域であっても漢方治療が症状改善に導くきっかけになることがあります。使用する漢方薬もエキス製剤のみならず、必要に応じて煎じ薬で細かい調整をしながら処方します。多成分の漢方薬は一剤でも複数の効果が期待でき、結果として患者さんの負担が減ることもあります。

がん治療中の副反応や、治療後の不定愁訴に対するがんサポート外来も行っています。

2 対象疾患

■ 症状に関わらず全人的な治療を行っていますが、下記のような疾患を持つ方が多く受診されます。

<消化器系>

○胃腸障害（胃炎・胃痛・吐き気など） ○逆流性食道炎 ○過敏性腸症候群○便秘・下痢症など

<皮膚系>

○アトピー性皮膚炎 ○じんま疹 ○皮膚そう痒症 ○にきび ○尋常性乾癬など

<婦人科系>

○月経困難症 ○月経不順 ○続発性無月経 ○不妊症 ○更年期障害など

<整形外科系>

○腰痛 ○肩こり ○下肢のしびれ・痛み ○関節痛など

<生活習慣病>

○高血圧 ○糖尿病 ○肥満・脂質異常症など

<精神疾患系>

○不眠症 ○パニック障害 ○不安神経症 ○うつ病など

<小児科系>

○虚弱体質 ○夜泣き ○癇癇 ○おねしょ ○腹痛など

<その他>

○頭痛 ○易疲労 ○癌術後の免疫療法 ○花粉症 ○気管支喘息 ○冷え症○前立腺肥大症 ○膠原病 ○認知症に伴う症状など

※上記以外でも、種々の疾患を対象としています。ただし疾患の種類や程度によっては、現代医学的な治療をお勧めする場合や、現代医学的な治療を併用する場合があります。

各種健康保険の範囲内で外来で治療を行います。必要に応じて他科に入院されている患者さんに対して漢方的なアドバイスを行うことも可能です。

3 実績

頻度の多い患者さんからの訴え	
疲れやすい・だるい・体が重い	イライラする
眠れない	耳鳴り
身体の冷え	月経不順
しびれ	気分が憂鬱になる
のぼせや顔のほてり	アレルギー性鼻炎・花粉症
頭痛	お腹がはる・ガスがよく出る
足腰膝など下半身の痛み	食欲不振・胃もたれ
皮膚がかゆい	便秘
下痢	足がつる
関節痛	

血液浄化・透析センター

1 概要

血液浄化・透析センターでは、急性腎不全・慢性腎不全の患者さんに対して、血液透析や血液ろ過透析を行っています。血液透析の導入や、合併症のために当院の様々な診療科に入院した慢性維持透析患者さんの入院中の透析療法を行っています。また、重症筋無力症、天疱瘡、炎症性腸疾患といった種々の疾患に対して、当院の各診療科と連携して血漿交換療法や免疫吸着療法、白血球除去療法など様々な血液浄化療法を行っています。血液浄化・透析療法を受ける患者さんが安心して治療を受けられるように、医師・看護師・臨床工学技士が協力してチーム医療を行っています。

2 対象疾患

○急性腎不全 ○慢性腎不全 ○重症筋無力症 ○ギラン・バレー症候群 ○天疱瘡 ○炎症性腸疾患 ○難治性ネフローゼ症候群 ○閉塞性動脈硬化症

3 実績

名称	件数	備考
入院患者さんの血液透析	385例 323例 441例 523例 448例	2019年度 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度
血液透析導入	63例 69例 71例 74例 53例	2019年度 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度
血漿交換	41例 34例 32例 28例 37例	2019年度 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度
直接血液吸着灌流・血漿吸着	20例 8例 8例 9例 14例	2019年度 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度
白血球除去	1例 6例 7例 2例 3例	2019年度 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度

臨床感染症センター（感染症外来）

1 概要

臨床感染症センターでは、一般感染症、難治性感染症、性感染症など、診断や抗菌薬の選択が難しい感染症も含めて、あらゆる感染症の診療を行っております。特に非結核性抗酸菌症は日本有数の診療施設となってい

ます。また、東京都のエイズ中核拠点病院に指定されており、チームで HIV 診療を行っています。入院患者さんについては、全ての診療科から、感染症に関するあらゆるコンサルテーションを受けて診療しております。また、感染症は治療することも重要ですが、同様に感染拡大防止や予防も重要です。海外渡航前や、臓器移植前、脾臓摘出後、など様々な状況での予防接種の相談に対応しています。

2 対象疾患

○一般感染症 ○難治性感染症 ○HIV 感染症 ○抗酸菌感染症 ○性感染症 ○海外渡航関連感染症 ○予防接種（渡航前、移植前、脾臓摘出後など）

3 実績

おもな実績 2023年度	
HIV感染症総数	553件 (延べ件数)
その他の感染症総数	1,144件 (延べ件数)
予防接種総数	120件 (延べ件数)
感染症診療コンサルテーション(入院)	1,617件 (患者延べ人数)

免疫統括医療センター

1 概要

免疫統括医療センターは、診療科の垣根を超えて、免疫疾患に対する生物学的製剤治療を専門に行うセンターです。TV モニターを備えた点滴治療専用チェア（腫瘍センターと共用）を設置し、患者さんに快適に治療を受けていただく環境を整えています。診察室と治療室が近接しており、患者さんにとってよりよい環境を作れるよう配慮しています。

また、血液検査と治療、外来受診を待ち時間なくご案内できるシステムとなっており、患者さんの負担の少ないスムーズな診療を心がけております。

2 対象疾患

○関節リウマチ ○クローン病 ○潰瘍性大腸炎 ○ベーチェット病 ○乾癬 ○強直性脊椎炎 ○キャッスルマン病 ○発作性夜間ヘモグロビン尿症 ○全身性エリテマトーデス ○ステイル病 ○乾癬性関節炎 ○掌蹠嚢胞症 ○多発血管炎性肉芽腫症 ○顕微鏡的多発血管炎 ○難治性ネフローゼ症候群 ○慢性特発性血小板減少性紫斑病 ○全身性強皮症

3 実績

2023年度の実績	
免疫統括医療センター外来患者総数	527人
センター治療室 治療実績総数	16,391人

* 専門科外来での生物学的製剤治療もセンター治療室が一括して実施しています。

臨床遺伝学センター

1 概要

遺伝性疾患の患者さんご家族の診断・診療のニーズに幅広く、応えるため、2011年に開設されました。国内外の臨床遺伝専門医資格を有する20名以上の各科医師が国際水準の医療を提供するよう力をあわせております。診療チームには遺伝カウンセラーも加わり、様々な立場におられる患者さんやご家族の心持ちを伺うように努めております。倫理的問題について十分に配慮した上で、必要のある場合に遺伝子検査を行っています。必要に応じて、公的研究助成を受けた遺伝子解析研究、検査会社が提供する遺伝学的検査（一部のみ保険適応）を提供しています。

2 対象疾患

- 先天性疾患：遺伝性疾患全般（5,000以上の疾患について遺伝学的検査が可能）。染色体異常症、先天異常症候群、診断不明等
- 出生前診断、着床前診断：染色体異常症、単一遺伝子疾患（Duchenne型筋ジストロフィー、筋強直型筋ジストロフィー、福山型筋ジストロフィー、先天性水頭症、オルニチントランスカルボミラーゼ欠損症等）、習慣流産、ミトコンドリア病、不妊症、男性の乏精子症、無精子症、性分化異常、不育症等
- 遺伝性腫瘍：遺伝性乳がん・卵巣がん、リンチ症候群、マイクロサテライト不安定性陽性腫瘍、家族性大腸腺腫症、リ・フラウメニ症候群、ポイツ・ジェガース症候群、遺伝的素因が疑われるがんおよび遺伝性腫瘍等
- 皮膚疾患：遺伝性皮膚疾患全般。表皮水疱症、レックリングハウゼン病、白皮症、結節性硬化症、基底細胞母斑症候群等
- 耳鼻科疾患：先天性難聴等
- 神経筋疾患：筋強直性筋ジストロフィー、ハンチントン病等
- 循環器疾患：不整脈、心筋症、肺高血圧症等

3 検査

遺伝性疾患の遺伝学的検査（遺伝子検査）

4 実績

診断のつかない患者さんに対して、多数の遺伝子を同時に解析することで診断をつけようとする国のプロジェクト「未診断疾患イニシアチブ」の拠点施設となっています。全国で4,000名以上が参加し、1/3の患者さんの診断ができました。全体の4割程度を当院が担当しました。

がんゲノム医療中核拠点病院として遺伝性腫瘍の遺伝カウンセリングに取り組んでいます。

2023年度の実績

先天性疾患	790人
遺伝性腫瘍	422人
出生前診断・ 着床前診断	533人
遺伝性難聴	42人
皮膚疾患	25人
内科系疾患	45人

緩和ケアセンター

1 概要

緩和ケアは、病気の治療の全経過を通して認められる身体や心のさまざまな苦痛を和らげ、患者の皆様やご家族にとって可能な限り良好な生活の質（Quality of Life）を実現させるための医療です。

日本ではまだ誤解されることもありますが、「緩和ケア」＝「終末期ケア」ではなく、病状のあらゆる時期において行われる医療であり、緩和ケアセンターでは、患者の皆様それぞれが症状をコントロールしながら、ご自身の生活に合わせた治療を選択し、ご自身らしく生きるためのお手伝いをします。

2 対象疾患

緩和ケアセンターでは、病気や治療に伴う痛み・しびれ・息苦しさなどのからだの症状や、不眠、不安、抑うつなどの精神症状に対する診療を行っています。投薬治療やカウンセリングを通して、ご病気のあらゆる段階において、病気とうまくつきあい、ご自身らしく過ごすためのお手伝いをします。

また、在宅療養支援、公的サービス、緩和ケア病棟、ホスピスの紹介についても、専門の看護師がサポートさせていただきます。

主にがん患者さんを対象としていますが、心不全や呼吸不全などの重症慢性疾患への対応も行っています。家族外来では、がん患者さんのご家族・ご遺族のカウンセリングを行っています。

3 実績

名称	年度	件数
緩和ケアチーム依頼数	2019年度	482件
	2020年度	448件
	2021年度	422件
	2022年度	434件
	2023年度	437件
外来初診件数	2019年度	93件
	2020年度	62件
	2021年度	79件
	2022年度	69件
	2023年度	60件

救急センター

1 概要

2017 年 5 月に主に救急患者の外来診療を行う診療施設部門である「救急センター」が発足しました。救急科医師、初期臨床研修医および専属看護師が 24 時間 365 日体制で常駐し、チーム医療による常に安全で質の高い救急医療を提供しています。また、常時全ての診療科の協力支援体制を整え、初療後の適切な連携により専門処置や専門診療科への入院が滞りなく行われます。また、東京都災害拠点病院として、災害時には医療救護活動の拠点となるとともに、災害派遣医療チーム DMAT を編成し、日本全国の災害地へも迅速に医療支援を行う体制を整えています。

2 対象疾患

通常診療時間内は、救急科が救急搬送される中等症（二次救急）および重症患者（救命救急センターの適応となる三次救急）に対して初期対応を行っています。通常診療時間外である休診日・夜間は全科当直体制を原則としており、自力受診可能な軽症患者（一次救急）を各診療科が、救急搬送患者（二次・三次救急）は救急科が中心となり診療を担当します。

このように、当院救急センターは主に三次救急患者の診療を行う「救命救急センター」と異なり、重症度の区別なく全ての救急患者の診療を行う「全次型救急」を基本方針とする北米型 ER スタイルを導入しています。

3 検査

各種検体検査に加え、画像診断（レントゲン、CT スキャン、急性期脳梗塞や脊髄損傷に対する MRI）は常時可能な体制となっています。緊急消化管内視鏡や緊急心臓カテーテルも常時対応可能です。

4 実績

2023年救急センター実績	人数
自力受診患者数	5,021人
救急車搬送患者数	8,192人
救急センター経由入院患者数	2,975人

救急センター経由	件数
緊急手術	111件
緊急心臓カテーテル	29件
緊急消化管内視鏡	19件
血管造影	29件

手術・血管造影センター

1 概要

手術・血管造影センターは、入院患者さんと外来患者さんの定期・緊急手術、血管造影・IVR（カテーテル治療）が行われる施設です。手術室は 25 室、血管造影・IVR 室が 5 室あり、それぞれが少しずつ異なった機能を持っています。手技が多種多様で、必要とする部屋の機能が様々であるためです。2023 年の実績では、手術は 16,500 件、IVR は 3,500 件を超え、それぞれ全国でトップクラスの実績を上げています。当センターでは、医師（外科系、麻酔科、内科系、放射線科）、看護師、薬剤師に加え、臨床工学技士、放射線技師、その他滅菌・清掃技術員・物流業者などのメディカルスタッフが協力し、センターを利用する患者さんにより安全で質の高い治療、看護を提供できるよう体制を整えております。

2 実績

	手術実績(2023年)	血管造影実績(2023年)
全身麻酔	8,787件	214件
その他(局所麻酔等)	7,901件	3,294件

集中治療センター

1 概要

集中治療センター(General Intensive Care Unit:GICU)は1988年5月に急性期重症患者を収容する病棟として開設されました。1995年日本集中治療医学会研修施設認定を受け、2000年には内4床を特定集中治療室に改修、運営も麻酔科診療部長が兼務するGICU部長と特定集中治療に精通した専従医師の下に統括され、2011年2月特定集中治療室10床とハイケアユニット10床からなる20床の新GICUとして、院外発生の重症患者をはじめ術後を含む院内発生の急性期重症患者の集学的な治療に幅広く対応してきています。2020年8月から最重症患者に特化するために、特定集中治療室12床とハイケアユニット26床を合わせて集中治療センターとし、主科あるいは専門科医師、重症集中ケア認定者を含む看護師、薬剤師、臨床工学技士、理学療法士等との密な連携により、急性期重症患者治療に当たっています。更に本年2022年4月からは特定集中治療室を16床に増床したうえで、人工呼吸をはじめ持続的血液濾過透析や血漿交換、各種吸着療法、大動脈内バルーンポンピングや体外式膜型人工肺などの体外循環補助装置等の高度生命維持装置の導入が常時可能な体制を整え、重症患者治療に当たっています。最近では積極的な早期リハビリテーションの導入を図り、短期のみならず長期的な予後改善に向けて取り組んでいます。GICU専従医は、スタッフ4~5名、レジデント1~2名の計6~7名が24時間体制で治療に当たっています。

2 対象疾患

集中治療センターは、「疾患あるいは外傷等により単一あるいは複数重要臓器機能が低下あるいは低下の危険性にある状態が継続している患者を収容し、迅速かつ持続的に観察並びに治療することにより健康を回復し合併症の発症を防ぐこと」が主たる目的です。そのため治療対象の疾患群は多岐に及び、具体的には意識障害または昏睡、急性呼吸不全または慢性呼吸不全の急性増悪、急性心不全(心筋塞を含む)、急性薬物中毒、ショック、重篤な代謝障害、大手術後、心肺蘇生後、その他外傷、破傷風等で重篤なものとなり、日々様々な事由により生命危機の危険性のある患者治療に当たっています。

3 実績

2023年度	ICU	HCU
入室患者数(人)	1,660	2,539
平均在室日数(日)	3.5	4.9

輸血・細胞療法センター

1 概要

輸血・細胞療法センターは、輸血と細胞療法の業務を担う中央診療部門で、院内のすべての輸血用血液製剤と血漿分画製剤、そして再生医療等製品と臨床試験に用いる特定細胞加工物を一括管理しています。輸血については、輸血に関連する血液型や交差適合試験などの検査、輸血用血液製剤の管理、手術前の自己血の採取・管理などを行っています。細胞療法については、造血幹細胞移植やCAR-T療法を初めとする免疫細胞療法用の細胞採取・処理・凍結保存、造血細胞数の測定、そして、再生医療の細胞調整・管理保存等を行っています。また、臨床研究推進センターと連携して、病院1号館5階の細胞プロセッシングセンター「KHCP」を利用して、学内外の治験や臨床研究を、原料細胞の採取・製造調整から臨床試験までシームレスに支援しています。

2 実績

輸血・細胞療法業務実績(2023年度)	
輸血使用量	
赤血球製剤	16,382単位
新鮮凍結血漿	10,667単位
血小板製剤	31,530単位
自己血製剤(貯血式)	1,498単位
アルブミン製剤	32,208単位
自己血採血	
貯血式自己血採血	294件
成分採血	
末梢血造血幹細胞採取	30件
ドナーリンパ球採取	1件
CAR-T単核球採取	45件
臨床試験関連	9件

再生医療関連の製品管理等実績(2018～2023年)	
再生医療等製品	
テムセル	336件
キムリア	71件
プレヤンジ	13件
アベクマ	1件
コラテジェン	6件
ゾルゲンスマ	3件
アロフィセル	5件
特定細胞加工物管理	
NKT細胞療法	3件
間葉系幹細胞(ARDS)	1件
間葉系幹細胞(脳梗塞)	1件
末梢血造血幹細胞(慢性虚血肢症)	1件
CD19-CAR-T	4件
iPS神経細胞	4件
iPS角膜	1件
脂肪由来血小板(皮膚損傷)	12件
子宮頸癌TIL療法	1件

予防医療センター

1 概要

当センターではハード面、ソフト面ともに、最先端の診断技術による精度の高い健診・検診を提供しております。また、専門性が高くきめ細かな結果説明と、健康指導によるフォローアップ体制を用意しています。もちろん、発見された病気の治療に当たっては、慶應義塾大学病院における高度医療、先進医療へのスムーズな橋渡しを実現しています。予防医学は北里柴三郎先生を祖と仰ぐ慶應医学の原点であり、基礎医学、臨床医学と並ぶ大きな柱の一つです。各診療科の専門医と一致協力して、包括的な健康サポートを提供して参ります。

2 実績

受診者数	6,365人	2023年
一日あたり受診者数	24.2人(休診日を除いた営業日で算出)	2023年
上部消化管内視鏡件数	5,536件 (人間ドック予防医療センター外来等含む)	2023年
下部消化管内視鏡件数	1,008件 (人間ドック予防医療センター外来等含む)	2023年
MRI実施件数	4,983件 (人間ドック予防医療センター外来等含む)	2023年
CT実施件数	6,819件 (人間ドック予防医療センター外来等含む)	2023年
超音波実施件数	11,757件 (人間ドック予防医療センター外来等含む)	2023年
PET-CT実施件数	1,122件(人間ドックのみ)	2023年
各診療科への コンサルテーション件数	2,544件	2023年

看護部

1 概要

看護部は、病院の理念に則り、「患者を尊重し、患者の QOL を高める看護実践」を通して、大学病院の社会的役割遂行に協働する。

■ 基本方針

- (1) 私たちは、チーム医療の中で切れ目のない患者中心の看護を提供します
- (2) 私たちは、高い倫理観を持ち自ら考える看護師を育成します
- (3) 私たちは、お互いの看護観を認め共に成長できる環境を築きます

2 業務内容

- (1) 保健師助産師看護師法等法令に基づき、安全・安心を担保した質の高い看護の提供
- (2) 安全管理体制の確保・推進
- (3) 各部門・診療科との連携を通じたチーム医療の推進および患者サービスの提供
- (4) 診療報酬制度を踏まえた看護提供、病床稼働向上等による病院経営への貢献
- (5) 専門性を有する人材育成
- (6) 大学病院の使命としての臨地実習生教育ならびに学会・研究活動
- (7) 地域医療施設および外部機関等との適切かつ良好な関係維持・向上
- (8) 専門性を活かし対外的な情報発信と社会貢献
- (9) その他、診療目的の達成に必要な業務

3 活動実績・取り組み

■ 病院機能向上に向けた取り組みの推進・定着

- ・夜間緊急処置対応チームの継続的な育成を行い、夜間及び休祭日において各勤務帯にメンバーを配置し、安全な緊急処置に対応可能な環境を整備した。
- ・HCU においては、緊急入院患者の受け入れ増加に対応した。ICU・HCU とともに COVID-19 の影響や週末

の落ち込みもなく高稼働を維持し、一般床も、平日の稼働率が向上し、病床回転率も 3.06→3.17 と上昇した。

- ・入院基本料においても、充実加算の研修受講と稼働率の向上により増収につながった。
- ・診療報酬の看護関連の算定では、算定漏れの取り組みや指導体制の工夫により経営的側面にも貢献できた。

■ 患者ニーズに即した看護の更なる強みの確立

- ・患者の思いや希望を切れ目なく繋げるため、医師との協働を通し、意思決定支援に関わる環境を再整備した。
具体的には、予約枠の設置、看護相談枠の活用、重複業務の整理により、病棟、外来共に IC ノートへの記録件数が増加している。
- ・高齢者ケアの充実を継続するため、認知症・せん妄ケアリンクナースの研修を 63 名が受講した。また、ユマニチュード®のケア技法を習得した実践者の育成も継続し、モデル病棟を 4 病棟に増やし、実践ナース 23 名、リーダー 12 名を育成し、ケアの普及につながっている。

■ 働きやすく一人ひとりが役割発揮できる職場環境づくり

- ・育児による短時間勤務制度を 4 歳まで拡充した。
- ・協生環境推進室と協働し、仕事と育児の両立を支援するナース・キッズプログラムの一つ「キッズ・カフェ」を 2 か月に 1 回、開始した。
- ・心電図遠隔モニタリングシステム (Vitrac®) の試行、テクニカルアラーム軽減、人工呼吸器とナースコールシステムの連動により安全で効率的な業務の取り組みを推進した。
- ・看護師の自己の成長のための計画的なジョブ・ローテーションを促進するために短期研修を開始し、49 人が活用、11 人がローテーションにつながった。
- ・全部署でワークエンゲージメントを高める取り組みを実施し、各部署の実践を共有した。
- ・「カイゼン」に向けたスタッフの意見を 160 件収集し、カイゼン活動に取り組み始めている。
- ・念願の全台電動ベッドの導入により、患者・看護師双方にとっての環境の整備を行った。
- ・手指衛生ライセンス制度を活用し、インストラクター 35 名 (14 部署)、プラクティショナー 289 名 (クラーク・ナースアシスタント含む) を育成し、手指衛生遵守率向上に努めた。
- ・医療上必要な面会を継続した。

■ キャリアパスを活用し未来につながる能力開発の推進

- ・特定行為研修制度を活用した特定行為看護師 1 名が誕生した。
- ・新たに専門看護師 4 名、認定看護師 3 名が誕生した。
- ・抗がん剤の血管確保研修を行い、認定試験に合格した 29 名にライセンスを付与した。
- ・男性の導尿に関わる体制を整備し、20 名が研修を修了した。
- ・師長研修、主任研修を通して、系統的な管理能力の開発を継続している。

薬剤部

1 概要

薬剤部は、調剤、服薬指導、医薬品情報の収集・評価と提供、医薬品管理、院内製剤、注射薬混合調製等、薬剤に関する様々な業務を展開し、院内外の他の医療スタッフと連携しながら、患者さんに信頼される質の高

い安全で安心な医療を提供することを目的としている。また、薬学部と連携し、実務実習生の受け入れを通じ、医療の高度化に対応した薬剤師の育成にも力を注いでいる。

2 業務内容

- (1) 処方せん調剤業務
- (2) 注射薬混合調製業務
- (3) 薬品管理業務
- (4) 医薬品情報業務
- (5) 治験業務
- (6) 薬剤管理指導業務
- (7) 病棟薬剤業務
- (8) 入院前持参薬鑑別業務
- (9) 薬事委員会事務局業務
- (10) 製剤業務
- (11) 診断用放射性医薬品の検定業務
- (12) 学校薬剤師業務

3 活動実績・取り組み

■ 活動実績

- (1) 処方せん調剤業務
 - 1 外来患者
院内処方/調剤:404,717 枚/1,187,043 件
 - 2 入院患者
処方/調剤:342,089 枚/603,439 件
- (2) 注射薬混合調製業務
 - 1 外来患者
腫瘍センター:15,666 枚/31,419 件
(一般薬 8,550 件、抗がん剤 22,869 件)
免疫統括医療センター: 11,710 枚/15,621 件
 - 2 入院患者 159,467 枚/121,213 件
(一般薬 109,659 件、抗がん剤 11,554 件)
- (3) 医薬品情報業務
問い合わせ件数: 831 件
TDM 解析件数: 2,734 件
- (4) 治験業務
171 治験 1,949 件
(内服 1,132 件、注射 817 件)
- (5) 薬剤管理指導業務
 - 1 入院
薬剤管理指導料 1+2: 31,729 件 件
 - 2 外来
外来腫瘍化学療法診察料 1(イ): 12,063 件
連携充実加算: 1,044 件
外来化学療法加算 1(B): 9,624 件
- (6) 入院前持参薬鑑別業務 6,338 件
- (7) 院内製剤業務 10,824 件
- (8) 診断用放射性医薬品の検定業務 7,993 件

■ 取り組み

- ・ 2023 年 4 月、「生食注シリンジ「テルモ」10mL」の出荷停止に伴い、薬剤部で生食注シリンジ 10mL の調

製を開始した。

- ・2023年5月～6月、本年度より慶應義塾大学薬学部1年生全員（158人）の早期体験学習を受け入れた。
- ・2023年10月、麻布台予防医療センターへの薬剤師派遣を開始した。
- ・2023年11月、パーキンソン病薬剤師外来を開設した。
- ・2023年12月、教職員対象の新型コロナワクチン接種に伴い、12/1～12/7（土日除く）に薬剤部でワクチンの調製を行った。

滅菌管理部

1 概要

院内の診療および手術に必要な医療器材に対し、適切な洗浄・消毒・滅菌を行い、感染源にならないよう完全滅菌による感染防止に努め、安全性が確保された滅菌器材を安定的に供給する。

2 業務内容

(1) 管理業務

ア 委託業務の管理・監督

イ 器材の購入、修理、代替器手配に関すること

ウ 借用器械の受付、払い出しに関すること

エ 持ち込み器械の受付、払い出しに関すること

オ 貸出し器材(院内・院外)の受付、払い出しに関すること

カ インプラント資材、特殊資材(高額資材)の発注、資材票記入に関すること

キ 消耗品管理

(2) 委託業務

ア 委託業務・委託スタッフの管理・監督に関すること

イ 手術器材の洗浄、組立、滅菌処理に関することウ 手術器材の供給、回収に関すること

エ 病棟、外来使用の器材洗浄、滅菌処理に関すること

オ 手術器材の定数管理に関すること

カ 病棟、外来器材の供給搬送・回収搬送に関すること

キ 院外滅菌処理器材の検品に関すること

3 活動実績・取り組み

- ・手術センター部門において、トレーサビリティシステム対象手術器材への刻印を開始し、刻印情報の読み込みおよびデータ蓄積を開始した。
- ・病棟・外来部門では、トレーサビリティシステム導入に向けた準備を実施した。
- ・予防医療センターの拡張移転（虎ノ門麻布台）に伴う関連業務の調整を行った。
- ・委託業務管理において、要求水準を満たす安定した業務水準を維持した。

食養管理室

1 概要

治療の一環として、入院患者の病態に適した食事提供を行い、栄養状態の維持改善を目指すと共に、栄養食事指導の実施やチーム医療の一員として多職種と連携した栄養管理を実践する。

2 業務内容

(1) 給食管理業務

- ア 入院患者の食事提供
- イ 委託会社の管理監督

(2) 栄養管理業務

- ア 入院患者の栄養管理
- イ 個人栄養食事指導
- ウ 集団栄養食事指導
- エ 食物アレルギー情報の管理

3 活動実績・取り組み

■活動実績

(1) 入院患者の食事提供数

一般治療食 410,402 食
特殊治療食 286,253 食

(2) 栄養食事指導件数

個人指導

入院 1,507 件
外来 2,165 件
うち情報通信機器使用(MeDaCa)19 件
糖尿病透析予防指導 178 件

集団指導

コロナ禍において糖尿病教室は動画配信で実施したが、6月より対面での開催を再開した。腎臓病教室は対面で開催した。

(3) 栄養サポートチーム介入件数

回診件数 669 件
算定件数 519 件
歯科医師連携加算算定件数 450 件

(4) 早期栄養介入管理件数

介入件数 1,641 件
算定件数(経口・経腸栄養)のべ 546 件
(静脈栄養)のべ 1,465 件

■取り組み

(1) 給食管理業務

- ア 一般患者食および特別食の食事提供業務は、(株)グリーンヘルスケアサービスへ業務委託を継続実施した。
- イ 感染対策として COVID-19 患者に使用していたディスポ食器は4月中旬以降、使用を中止した。

(2) 栄養管理業務

ア 入院患者の栄養管理

入院患者を対象に毎月食事調査を実施して、患者ニーズを抽出し病院食の評価、改善に役立てた。

イ 栄養食事指導(栄養相談)

外来肥満症患者への肥満症治療薬導入に際し、2か月に1回以上の栄養食事指導の実施が要件となり、2024年2月以降、対応を開始した。

ウ 栄養サポートチーム(NST)

管理栄養士のマンパワーにより、2022年4月以降は、管理栄養士の要件を専従から専任へ変更し、今年度も継続した。他職種や他の医療チームと連携として、看護師特定行為研修の栄養分野に係わる研修の受け

入れや、腸管機能リハビリセンターと連携して活動に取り組んだ。

エ 早期栄養介入管理

集中治療室入室患者全例に介入し、多職種連携のもと入室後の早期栄養管理を実施した。

医用工学室

1 概要

医用工学に係る専門知識と医療技術に基づき、病院内に設置されている医療機器の適切かつ安全な運用に寄与するとともに、効率的な運用を目指すことを目的とする。

2 業務内容

- (1)手術センター業務・心臓血管外科の人工心肺業務
- (2)心臓カテーテル業務
- (3)不整脈業務
- (4)血液浄化透析センター業務
- (5)集中治療・人工呼吸器管理業務
- (6)医療機器管理室業務

3 活動実績・取り組み

- ・補助循環装置『インペラー』運用開始
- ・体外設置型補助人工心臓『体外式 VAD』導入準備
- ・病院全体の医療機器の保守管理対応
- ・生体情報モニターのチャンネルの固定化及び送信機の再分配
- ・搬送用人工呼吸器接続対応開始
- ・人工呼吸器とナースコール連携導入

<実績>

- (1)手術センター業務・心臓血管外科の人工心肺業務
 - 術中誘発電位検査 969 件
 - 人工心肺件数 233 件
 - ロボット支援手術業務 565 件
- (2)心臓カテーテル
 - 心臓カテーテル検査 800 件
 - 心臓カテーテル治療 289 件
- (3)不整脈業務
 - 不整脈治療 272 件
 - ペースメーカー, ICD 等（新規・交換） 181 件
 - 遠隔モニター確認患者数 6726 件
- (4)血液浄化透析センター業務
 - 血液透析件数 4166 件
- (5)集中治療・人工呼吸器管理業務
 - 人工呼吸器点検台数 1185 台
 - PCPS（ECMO 含む） 12 件
- (6)医療機器管理室業務
 - 医療機器点検件数 69416 件

放射線技術室

1 概要

放射線技術室は、画像検査および放射線治療業務の適切な管理、運営、環境整備等を行い、患者等に質の高い医療サービスを提供する。また、大学病院の経営効率化および医療安全の確保に資することを目的とする。

2 業務内容

- (1) 安全・安心を担保し、精度の高い画像検査・放射線治療技術の提供
- (2) 法令に基づく放射線診療における医療被ばくの線量評価と適正化の実施
- (3) 法令に基づく医療用放射線関連機器の安全な取り扱いと保守管理
- (4) 診療ニーズを考慮した画像検査・放射線治療の実践と病院経営への貢献
- (5) 各部門・部署との連携を通じたチーム医療の推進および質の高い患者サービスの提供
- (6) 日々進歩する先進的な高度医療技術の実践に必要な業務
- (7) 専門性を有する人材の育成
- (8) 大学病院の使命としての臨地実習生教育ならびに学会・研究活動
- (9) 他施設に対する専門性を活かした情報発信と教育指導・社会貢献
- (10) その他、診療目的の達成に必要な業務

3 活動実績・取り組み

<検査実績>

単純撮影	172,413 件
一般造影	7,653 件
骨密度	7,448 件
乳腺	4,285 件
超音波	34,733 件
MRI	31,406 件
CT	64,543 件
血管造影	4,068 件
PET	8,284 件
SPECT	4,716 件
放射線治療	15,808 件

<取り組み>

- ・CT 検査室、血管造影センターにおける CPM(Clinical Performance Management)を利用した収支改善。
- ・11 月の麻布台への予防医療センター拡大移転に対し、関連部門と連携し開院準備を行った。
- ・3 号館予防医療センター跡地を活用し、CT、MRI 装置更新時の診療への影響を最小限とした。
- ・3 号館予防医療センター跡地にて教職員検診を継続。
- ・画像検査レポート未読対策への取り組みに貢献した。

臨床検査技術室

1 概要

臨床検査技術室は臨床検査科、輸血・細胞療法センター、病理診断科、産科（胚培養士が関わる業務）、また、感染制御部および医療安全管理部に臨床検査技師、胚培養士等を配属し、円滑な業務を遂行する。

2 業務内容

- (1)臨床検査および輸血製剤・細胞療法等にかかわる業務の確実かつ安全な実施
- (2)診療ニーズを考慮した臨床検査業務の実践と病院経営への貢献
- (3)各部門・部署との連携を通じたチーム医療の推進および患者サービスの提供
- (4)日々進歩する先進的な医療展開に必要な業務の実施
- (5)専門性を有する人材の育成
- (6)臨地実習生教育と学会・研究活動
- (7)他施設に対する専門性を活かした情報発信と教育指導・社会貢献
- (8)その他、診療目的の達成に必要な業務

3 活動実績・取り組み

1) 取り組み

- (1) 免疫蛍光分析装置ファディア 200 を導入しアレルギー検査、自己抗体検査を院内検査として導入した。
- (2) サイトメガロウイルス核酸定量 PCR 検査を院内検査として導入した。
- (3) ホルター心電図のシステム化を開始した。
- (4) 採血管マージシステム導入による患者負担の軽減および採血管使用本数の削減を実施した。
- (5) CAR-T 療法の導入による、再生医療等製品イエスカルタ、アベクマの院内採用を開始した。

2) 実績

検体検査	院内検査	9,584,413 件
	微生物検査	145,015 件
	外部委託検査	207,142 件
生理機能検査	心機能	73,679 件
	小児心機能	5,580 件
	肺機能	23,710 件
	神経機能	7,292 件
	血管	3,665 件
病理検査	組織診断	24,967 件
	細胞診	23,805 件
輸血検査		77,530 件
外来患者採血者数		279,742 件
不妊治療外来業務	採卵	458 件
	融解胚移植	444 件
	人工授精	290 件
院内検査、外部委託検査は予防医療センター含む		

臨床研究推進センター

1 概要

当センターの社会的使命 (Mission) は「社会のニーズに応じた最適な医療が提供できるよう、より優れた医療技術を常に探求し、人類の健康増進に寄与する」であり、それを実現するための体制 (Vision) を「専門的スキルを磨き続ける構成員が一体となって、新たな医療技術を創出するために理想的な拠点を形成する」としている。

2 業務内容

医薬品・医療機器・診断薬・再生医療など、様々な分野の研究開発をサポートする。

- ・アカデミア・企業を問わず、基礎・非臨床・研究のどのステージも受け入れる。
- ・最適な知財戦略、産学官連携、非臨床試験および臨床試験計画のデザイン、規制当局対応などの支援パッケージを提案、基礎研究の成果を戦略的に臨床試験まで橋渡しする。
- ・早期・探索段階も含む ICH-JCP 対応の医師主導治験および企業試験の実施を支援する。
- ・早い段階で積極的に企業へ導出し 1 日も早い実用化を目指す。

3 活動実績・取り組み

■橋渡し研究支援

2021 年 12 月に慶應義塾は、大学等の優れた基礎研究の成果を革新的な医薬品、医療機器等としての実用化を目指す橋渡し研究を支援する「橋渡し研究支援機関」として文部科学大臣から認定を受けた。臨床応用を目指すアカデミア等の医療シーズ（医薬品・医療機器・再生医療等製品・体外診断用医薬品）に対して臨床研究推進センター（慶應義塾拠点）が研究開発の支援を行っている。

研究シーズ段階毎のシーズ開発支援状況（2024 年 3 月 31 日現在）

シーズ A：関連特許出願を目指す基礎研究課題	70 件
シーズ B：非臨床 POC（概念実証：Proof of Concept）取得および治験届出を目指す課題	53 件
シーズ C：治験又は高度医療等を実施し、臨床 POC を目指す課題	17 件
シーズ H：医学・歯学・薬学系以外の異分野領域からの医療応用に向けた研究開発課題	33 件

橋渡し研究支援による主要な研究領域

がん	73 件
神経疾患	18 件
再生医療	25 件

■治験・臨床研究

- 治験審査委員会で承認された治験契約件数

企業治験	40 件
医師主導治験	2 件
- 当院で許可した新規研究課題件数 412 件

うち臨床研究（特定、非特定）	20 件
再生医療等提供計画	0 件
倫理指針研究	388 件
その他（医療計画、疫学研究他）	4 件

当センターでは基礎研究から臨床研究・治験、さらに実用化まで各研究開発プロセスを一貫して支援する体制により日本発の革新的な医薬品・医療機器・再生医療等製品・体外診断用医薬品・医療技術の開発につながるよう上記の主要な研究領域を含め幅広く研究課題の支援を実施している。

■特色ある取り組み

【Real World Evidence 創出のための取組み】

慶應義塾大学病院は 2016 年に臨床研究中核病院に承認され、日本発の革新的な医薬品や医療機器、医療技術の開発に欠かせない、国際水準の質の高い臨床研究や医師主導治験の中心的役割を担う病院としての機能を果たしている。この役割の一環として、臨床研究部会により発表されている「臨床研究・治験の推進に関する 今後の方向性について 2019 年版とりまとめ」に記載のあるように、臨床開発を効率化し、医薬品・医療機器等の開発競争力を強化するため、創薬や医療現場での活用を目的として、診療で得られるリアルワールドデータを収集・解析する体制・システムの整備に取り組んでいる。特に多機関からの医療情報の統合解析を可能にするデータの品質管理・標準化の手法を取り入れ、臨床研究中核病院間でのデータの統合を可能とすべくシステム構築を進めている。

臨床研究監理センター

1 概要

臨床研究監理センターは、当院の理念および臨床研究実施方針に基づく臨床研究・治験の適正な実施を確保するため、病院長の責務として適用規制（法令および倫理指針等）に規定された業務の実施を補佐することを目的として、2019 年 8 月に設置された。

2 業務内容

- (1) 臨床研究に係る倫理等の教育研修計画の策定および教育・研修の実施
- (2) 臨床研究の信頼性保証に係る監査等の実施
- (3) 臨床研究に係る有害事象・疾病等の安全性情報への対応
- (4) 臨床研究に係る法令および倫理指針等への適合に必要な業務
- (5) その他、病院長の指示する業務

3 活動実績・取り組み

- (1) 臨床研究に係る倫理等の教育研修計画の策定および教育・研修の実施

7 月、全教職員対象教育研修（E-ラーニング）として「基本研修：臨床研究と治験」を制作し、年度末までに対象者全員が受講を完了した。

また、5 月と 12 月、臨床研究推進センターと共同で開催した臨床研究講習会において、「臨床研究倫理-実践編」として、計 126 名（5/20 臨床研究講習会（2023 年度春期）参加者 95 名（うち外部 27 名）、12/16 臨床研究講習会（2023 年度冬期）参加者 31 名（うち外部 14 名））を対象に教育研修を実施した。

- (2) 臨床研究の信頼性保証に係る監査等の実施

当院内外の研究者より委託を受け実施する個別試験監査を 12 試験、その他の信頼性保証関連業務を 7 件行った。

また臨床研究中核病院として、臨床研究・治験の基盤的機能を担う部門を対象とするシステム監査を、3 部門（医用工学室・薬剤部（治験機器管理部門）、放射線診断部、慶應義塾特定認定再生医療等委員会）を対象に実施した。

通年実施した「法・倫理指針適合性監査」により、計 24 課題を対象に適用規制への適合状況に関する調査を行い、認められた所見計 36 件（Critical3 件、Major10 件、Minor23 件）について、CAPA 対応（是正措置、再発予防措置）に関するフォローアップを行った。

(3)臨床研究に係る有害事象・疾病等の安全性情報への対応

倫理指針（生命・医学系指針、人医学系指針、ゲノム指針）、臨床研究法、再生医療等安全性確保法に基づく各種臨床系研究において認められた重篤有害事象（SAE）・疾病等報告 274 件について評価を行い、病院長による対応を支援した。

(4)臨床研究に係る法令および倫理指針等への適合に必要な業務

各種臨床系研究において提出された定期報告 1164 件、終了・中止報告 285 件、中断・再開報告 22 件、逸脱・不適合報告 90 件について評価を行い、また、臨床研究（特定・非特定）の実施許可申請 228 件（新規 20 件、変更 208 件）に関して病院長による対応を支援した。

(5)その他、病院長の指示する業務

「臨床研究ライセンス制度」の運用を担当し、慶應義塾大学医学部の方針、及び慶應義塾大学病院の理念ならびに臨床研究実施方針に沿った臨床研究の積極的推進のため、医学部・病院教職員への教育研修および資格認証を、延べ 2,699 名（SP ライセンス 101 名、S ライセンス 245 名、A ライセンス 617 名、B ライセンス 1,736 名）（2024 年 3 月時点）を対象に行った。

また医学部・病院臨床研究委員会（CMoC）の事務局を担当し、運営会議（月次：年 12 回）および全体会議（年 2 回：6 月、2 月）の開催、CMoC ニュースレター（月 1 回および臨時）の配信を通じて、各種臨床系研究の研究対象者保護、科学的妥当性と信頼性の確保、及び法令・諸規則の遵守に関する研究者等の適正な資質の涵養、医学部の方針ならびに病院の理念及び臨床研究実施方針に沿った臨床研究の積極的な実施を図った。その他、以下の取り組みを行った。

- ・改正個人情報保護法の施行（2023 年 4 月 1 日）に伴う、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する標準業務手順書」の改訂・薬学部における「臨床研究ライセンス制度」導入（2023 年 4 月）に協力。

- ・新型コロナウイルス感染症の 5 類感染症移行に伴う、2020 年 4 月 28 日発出「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)罹患者を各種臨床系研究の研究対象者とする場合のインフォームド・コンセント(IC)の取得方法について」の廃止

- ・厚生労働省臨床研究総合促進事業「CRB 質向上プログラム」の実施（神戸大学対象）

- ・厚生労働省臨床研究総合促進事業「臨床研究・治験従事者等に対する研修プログラム（委員研修）」の実施、および同プログラム（監査担当者研修）への参画。

- ・AMED Risk-based approach (RBA)研究開発事業（取りまとめ機関：千葉大学）への参画

- ・臨床研究ライセンス制度システムの一部改修

- ・慶應義塾大学病院臨床研究監理センター内規に関する申し合わせ（L1-CREASOP-002）の改正

- ・ARO 協議会第 10 回学術集会（8 月 25 日、26 日）にてポスター演題発表。（1 題）

- ・当院臨床研究・治験の「重大な不適合」に関する web ページ情報公開開始（2024 年 2 月）

- ・臨床研究中核病院に関する当院の広報強化を提案、実施（病院 web サイト）。

- ・医療法に基づく臨床研究中核病院立入検査（2023 年 10 月 26 日）の実施に関する対応

- ・臨床研究中核病院連携協議会による「不適正事案等の取り扱いに関する WG」に参加

卒後臨床研修センター

1 概要

卒後臨床研修センターは、慶應義塾大学病院卒後臨床研修制度(研修医課程)に関する内規に基づく臨床研修体制を整備・管理し、臨床研修に関連する業務を円滑に遂行することを目的とする。

2 業務内容

- (1) 各関係機関との調整により研修プログラムを企画・立案すること
- (2) 研修医を募集・選考すること
- (3) 研修医の在籍状況を管理すること
- (4) 慶應義塾大学病院初期臨床研修管理委員会(以下「研修管理委員会」という。)と協力の上で、臨床研修が滞りなく実施されるよう研修実務全般に関わる調整を行うこと
- (5) 研修指導医を養成すること
- (6) 各研修施設における研修内容を評価すること
- (7) 病院長の指示に基づいて、研修業務の運営のために必要な事項を企画・立案すること
- (8) その他研修業務を円滑に実施するために必要な事項について検討し実施すること

3 活動実績・取り組み

- (1) 次年度研修プログラムを企画・立案、東京都へ年次報告、プログラム変更届を提出
- (2) リクルート活動として各コースのプログラム説明会を3回開催、医科研修医採用試験を3回実施
基礎研究医試験 2023年5月27日
第1回試験 2023年7月22日
第2回試験 2023年9月9日
- (3) 研修医の出退勤をシステムにより管理
- (4) 会議体の開催
ア. 研修管理委員会をメール審議含め5回開催、研修医の修了認定、中断・休止、採用等を審議
イ. 卒後臨床研修センター会議をメール審議含め11回開催、主な議題は、研修プログラム・入職者オリエン
研修診療科ローテーション・指導医ワークショップ運営・リクルートに関する行事企画・採用・医療安全・
感染対策・研修医の労務管理に関する事項等
- (5) 臨床研修協議会主催のプログラム責任者養成講習会へセンター員1名を派遣
- (6) 研修を安全・円滑に実施するために、研修開始前スタンダードプリコーション(感染防御手技)試験合格
を必須とし、合格後に研修開始の方針は2023年度も継続

医療安全管理部

1 概要

医療安全管理部は「質の高い医療の提供」を目指し、組織横断的に院内各部署・各職種と連携して医療に係る安全の向上に取り組み、支援していくことを目的とする。

2 業務内容

- (1)医療安全管理体制の構築
- (2)医療安全に関する職員への教育・研修
- (3)医療事故を防止するための情報収集、分析、対策立案、フィードバック、評価
- (4)院内ラウンドを行い現場環境、医療安全管理マニュアルの遵守状況及び策定した改善対策の実施状況の確認及び指導
- (5)医療事故発生時の対応

3 活動実績・取り組み

- (1)医療安全管理委員会（年間12回）
- (2)セーフティマネジャー会議（年間6回）
- (3)インフォームドコンセント委員会（年間4回）
- (4)薬剤に関する医療安全検討委員会(年間10回)
- (5)特定機能病院監査委員会（年間2回）
- (6)医療安全相互ラウンド
- (7)必須研修の実施（e-learning）（年間2回）
- (8)医療安全ラウンド
- (9)医療安全に関するマニュアルの改訂
- (10)インシデント・アクシデント報告の対策立案
- (11)医療法に基づく医療事故調査委員会
- (12)臨床倫理委員会
- (13)虐待防止委員会
- (14)教職員ポケットハンドブックの作成
- (15)画像等未読防止対策
- (16)未承認等新規医薬品・医療機器評価委員会
- (17)各種委員会傘下のワーキンググループ活動

☆インシデント・アクシデント報告件数

2023 年度報告件数 5,311 件

<内訳>

看護系職員 3520 件

医師 857 件

（うち研修医 173 件）

その他職員 934 件

感染制御部

1 概要

感染制御部は、病院感染対策の整備・充実をはじめ広く医学部・大学病院の危機管理に貢献するとともに、

感染症に関わる診療・研究・教育体制を推進する事を目的とする。

2 業務内容

感染制御部内規に基づく業務

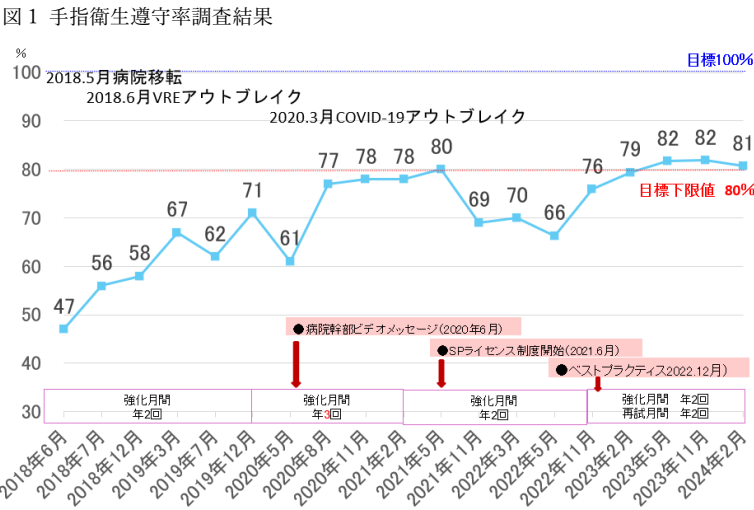
3 活動実績・取り組み

(1) 教育

- (ア) 感染制御（基本）継続勤務者確認テスト
- (イ) 感染対策講習会（1）必須研修：薬剤耐性菌対策～抗菌薬の適正使用と手指衛生～
- (ウ) 感染対策講習会（2）必須研修：スタンダードプリコーションと抗菌薬について学ぼう
- (エ) スタンダードプリコーションライセンス制度

(2) サーベイランス

薬剤耐性菌、血液培養陽性検出菌、医療器関連感染、抗酸菌、アスペルギルス、血液曝露、手指衛生遵守率（図1）、手術部位感染、症候群、その他の感染症



(3) ラウンド

ラウンド名	ラウンド参加者	ラウンド実績
ICT/AST ラウンド（診療 コンサルテーション・抗 菌薬・血液培養陽性・薬 剤耐性菌）	ICD・ICN・薬剤師・臨床検査技師	診療人数 ICT：2,004 人 273 回 AST：2,007 人 240 回
網羅的ラウンド	ICD・ICN・薬剤師・臨床検査技 師・他	22 クール
施設環境ラウンド	ICD・ICN・薬剤師・事務員・ハウ スキーパー・管財課・保健管理セン ター	毎週木曜日 年 40 回 78 部署
発生ラウンド	ICD・ICN・薬剤師・臨床検査技師	適宜
医療器具関連感染ラウン ド	ICN・他	部署により 週 1～月 1 339 回
感染予防策関連ラウンド	ICN・他	年 3 回
ターゲットラウンド	ICD・ICN・臨床検査技師・他	適宜

(4) 他施設連携

(ア) 加算 2 施設との年 4 回のカンファレンス 4/13、7/27、10/12 (訓練)、1/25

(イ) 加算 1 施設との相互ラウンド 東海大学医学部附属病院

(ウ) 指導強化加算における訪問指導 江戸川メディケア病院 (9/5、1/16)

東京衛生アドベンチスト病院 (9/14、2/15)

病院情報システム部

1 概要

病院情報システム部は、電子カルテを中心に診療に必要な様々なシステムを、セキュリティを担保したかたちで提供し、大学病院としての高度な医療・運営を支援することを目的とする。

2 業務内容

(1) 医療情報システムの構築・設計に関すること

(2) 医療情報システムの稼働、運用に関すること

(3) 大学病院内の部門システムの運用支援に関すること

(4) 医療情報システムのセキュリティに関すること。

(5) 所掌する外部委託業務従事者の指導に関すること。

3 活動実績・取り組み

(1) 予防医療センター移転に伴うシステム対応

(ア) ネットワーク敷設

(イ) 各種システム対応

(ウ) 端末設置など

(2) セキュリティ強化の準備

(3) RPA の導入

患者総合相談部

1 概要

患者総合相談部は、当院の理念に則した、患者さんとの信頼関係の維持向上と安心で安全な医の提供を組織横断的に推進するために、患者またはその家族からの相談を受け、対応すべき専門部署との連携を図り、患者等を支援する体制の充実に務める。

2 業務内容

(1) 相談業務 (ア 対面相談 イ 電話相談 ウ web 相談 エ 投書(用紙・web))

(2) 相談の 1 次対応並びに必要なに応じた 2 次対応に関する支援部門との連携・協働

(3) 相談ならびに対応記録作成

(4) 患者の声または患者視点での病院改善に向けた取組

ア カンファレンス (週 1 回)

- イ 患者サポート運営委員会（月初 1 回）
- ウ 支援部門と連携・協働した改善行動
- エ 患者やその家族への情報周知
（おたより・知って得するシリーズ・病院 HP・デジタルサイネージ・院内掲示を利用した調査結果・Q&A 等の広報）
- オ 病院教職員への情報周知（患者さんからのご意見 BOX）
- (5) 調査・統計
- ア 相談記録統計
- イ 患者調査・統計
- ウ 個別調査 笑顔で声かけ（患者・教職員）

3 活動実績・取り組み

(1) 活動実績

患者相談件数	合計	7,531 件
	内訳	
	相談	2,269 件
	問い合わせ	3,079 件
	苦情	1,015 件
	意見	339 件
	要望	512 件
	感謝・礼状	123 件
	その他	194 件
対応方法	面談	1,154 件
	電話	4,243 件
	投書（用紙）	795 件
	投書（Web）	206 件
	相談（Web）	1,068 件
	コロナ専用ダイヤル	21 件
	その他	44 件

(2) 取り組み

- ア 新型コロナウイルス専用ダイヤル（2024 年 3 月終了）
- イ おたより発行（6 月・11 月・3 月）
- ウ ラウンジだより発行（奇数月発行）
- エ 知って得するシリーズ（適宜更新発行）
- オ Q&A 発信（7 月・11 月・3 月）
- カ 患者調査実施 入院患者（9 月 13 日～10 月 15 日）外来患者（9 月 25 日～30 日）

キ 患者の声からの改善取組 9 事例（※支援部門と協働して取り組んだ事案含む）

ク サポートが必要な患者さん対応

・移送介助

ケ 笑顔で声掛け運動の実施（前期：5 月 8 日～5 月 27 日、後期：12 月 8 日～12 月 25 日）

コ 患者さん目線で見回り隊の実施

（4 月 7 日）（4 月 14 日）（4 月 26 日）（6 月 8 日）（6 月 16 日）（11 月 15 日）

（1 月 15 日）（2 月 5 日）（3 月 4 日）

サ 病院機能改革アドバイザー会議（年 1 回）（2 月 29 日）

医療連携推進部

1 概要

医療連携推進部は、地域医療機関との良好な関係を維持し、効果的な連携を図ることで、新規外来患者の紹介数の増加・入院患者数の増加を図ると共に、病床の効率的かつ効果的運用により全体最適化を図ることで当院の経営に貢献する。

2 業務内容

■医療連携室

- (1)医療機関との関係強化、協定に係る業務
- (2)医療機関からの患者の円滑な受け入れ（前方連携）体制の構築
- (3)医療機関からの新規外来患者紹介の増加策対応
- (4)上記項目(1)(2)の業務を円滑に運用するために必要となる診療科等との調整・支援、ならびに事務管理
- (5)医療連携を目的としたセミナー等の企画・運営ならびに支援
- (6)がん相談支援センターの運営及び医療相談

■入退院管理室

- (1)病床の一元的管理による患者の円滑な入退院と効率的な病床運用の実現
- (2)患者の入院から退院までの一連の業務の全体最適化
- (3)上記各号の業務を円滑に実施するための病棟や関連部署との調整
- (4)転退院等に関する相談、ならびに調整（後方連携）

3 活動実績・取り組み

2023 年度は、地域医療機関との連携強化による新規患者の獲得と入院稼働率・回転率の向上を目指して医療連携室及び入退院支援室活動の実を図った。

■医療連携活動

2023 年度は 4 月 7 日、8 月 18 日、2 月 2 日に計 3 回、医療連携推進フォーラムをハイブリッド形式にて開催し、当院の地域連携強化と医療の発展的な取り組みを紹介した。11 月 17 日には「病院と地域との連携強化により患者の“生きる”をともにつくる地域と共に行う ACP～患者の思いや希望を切れ目なくつなげるために～」をテーマに第 4 回看護と介護の意見交換会を開催した。また 2024 年 2 月より医療連携に関する協定契約の名称を「慶應メディカルパートナーシップ」と定め、締結医療機関の登録数 1,258 施設(2022 年度)から 1,339 施

設(2023 年度)へ計 81 施設増加した。

地域医療機関との連携強化に向けて、季節のご挨拶や病院広報誌の送付を実施した。

■がん相談・医療・療養相談

がん相談支援センターでは電話相談 1,549 件、対面相談 2,980 件を行い、患者サロンを 3 回開催した。またがん相談を含めた医療相談の相談患者延べ数は 4,730 件であった。

経済的面の相談、医療社会福祉制度活用の相談、虐待防止委員会への参画で、CAPS 症例（児童虐待・DV・高齢者虐待・障害者虐待）への対応も行った。

■病床管理活動

効率的な病床管理に医療 DX を活用し 10 月に空床管理マップを導入した。導入前は緊急入院の病床調整が 60 分以内に終了した割合は 3～4 割程度であったが、導入後には 5 割程度になり、より効率的に調整ができるようになった。病床稼働率は 88.0%であり前年度より 2.7%上昇した。

COVID-19 は 5 類感染症に移行したが、症状の確認を注意深く行い、陽性者については速やかに個室で管理し感染の拡大を防止した。

■転退院支援

入院患者の増加に伴い、入院前からの患者への情報収集面談や看護師とソーシャルワーカーが協働して行う困難事例への支援が増加した。また、療養調整を速やかに行うため、医師・病棟看護師と協働しながら、患者・家族や地域各関係機関との WEB カンファレンスや対面でのカンファレンスも継続して行い件数も増加した。ソーシャルワーカーは転院先開拓のため近隣医療機関への訪問活動を行った。また円滑な後方連携のため、新規に転退院支援システムを導入し転退院支援に活用した。

<活動実績データ> * 括弧内は前年度比

入院前情報収集実施件数 14,883 件(+2,060 件)

転退院支援件数 1,905 件(-310 件)

入退院支援加算 2 2,645 件(+937 件)

退院時共同指導料 2 134 件(+39 件)

介護連携等指導料 151 件(+75 件)

<患者転帰>

自宅退院 95.6% (2022 年度 98.2%)

■専門領域看護師

病床稼働率が上昇する中で、医療や看護の質を担保できるよう、専門領域看護師および各医療チームの専門的な知識や技術を活かした横断的介入を行った。

また、患者の医療・ケアが地域でも実施できるよう工夫を行ったほか、移植希望患者に関する地域関連機関からの紹介・相談等の問い合わせに迅速丁寧に対応するなど連携も密に行った。

スタッフ構成：

皮膚・排泄ケア認定看護師 2 名、緩和ケア認定看護師 1 名、がん性疼痛看護認定看護師 1 名、精神看護専門看護師 2 名、レシピエント移植コーディネーター 2 名

1 概要

放射性同位元素（RI）や放射線による事故の防止、および安全文化の熟成のため、第三者の立場から、放射線業務従事者等に対する安全教育、各種法令の遵守状況の確認、個人および RI 使用施設等の放射線防護上の安全確認、環境の放射線防護等を行い、公共の安全を確保する。

2 業務内容

放射線安全に関する全般的な業務を行う。

- (1) 放射線業務従事者の教育訓練
- (2) 放射線業務従事者の被ばく管理
- (3) 各種委員会の開催
- (4) 監督官庁への許認可申請等
- (5) 放射線使用施設の作業環境測定
- (6) 放射線使用施設(排気・排気設備を含む)の維持管理
- (7) 放射線の使用に関わる種々の業務等

3 活動実績・取り組み

- (1) 放射線業務従事者の教育訓練
 - ア 放射性同位元素等の規制に関する法律に基づく立ち入る前の研修：4 回
 - イ 放射性同位元素等の規制に関する法律に基づく立ち入った後の研修：2 回（別途 Web 研修実施）
 - ウ 特定放射性同位元素の防護に関する教育訓練：1 回
- (2) 放射線業務従事者の被ばく管理
 - ア 放射線業務従事者数：647 人
- (3) 各種委員会の開催
 - ア 病院放射線障害予防委員会：2 回
 - イ 特定放射性同位元素防護委員会：1 回
- (4) 監督官庁への許認可申請
 - ア 原子力規制委員会：4 件
 - イ 東京都：10 件
 - ウ 労働基準監督署：4 件
 - エ 関東総合通信局：3 件
 - オ 消防署：1 件
- (5) 放射線測定器の校正
 - ア 電離箱式サーベイメータ：1 台
 - イ 電子ポケット線量計：13 台

医療保険指導部

1 概要

医療保険指導部は、健康保険法その他の保険医療各法、保険医療機関及び保険医療養担当規則に基づき、保険診療および診療報酬請求業務を円滑かつ適正に実施することにより、大学病院の運営に寄与することを目的とする。

2 業務内容

- ・各診療科の医師・研修医に対する保険診療に関する教育および指導
- ・社会保険診療報酬支払基金、国民健康保険団体連合会や官公庁との連携・調整
- ・診療報酬明細書の記載・点検および整備に関すること
- ・DPC（診断群分類）のコーディングに関すること
- ・その他、保険診療に関すること

3 活動実績・取り組み

(1) 保険委員会の開催

毎月1回（8月は休会）委員会を開催し、保険診療および保険請求の適正化や診療報酬請求業務の質向上を図る。

(2) DPC コーディング委員会の開催

年4回委員会を開催し、診断群分類において標準的な診断および治療方法の周知、適切なコーディングを図る。

(3) 2022年11月25日、2023年3月17日に実施された関東信越厚生局及び東京都による個別指導・適時調査の結果(2023年6月8日付)を受けた改善報告書の作成など。

国際診療部

1 概要

国際診療部では、日本の公的医療保険に加入していない海外在住の外国人患者について、医療渡航支援業者と連携しながら受入れ調整や診療まわりの支援をしている。また、医療渡航支援業者と効果的な連携を図ることとで、新規患者を増やし、当院の経営に貢献することを目的に活動している。

2 業務内容

- ・治療や医療相談を目的に来日する（医療インバウンド）患者の受診調整
- ・外国人患者が安心・安全に当院の医療サービスを受けるための院内環境整備
- ・海外の医療保険会社等との支払いにかかる業務
- ・外国人患者にかかる外部機関との連携・協力・業務提携等の推進

3 活動実績・取り組み

- ・11月1日 国際診療部設置
- ・12月12日 上海嘉会国際病院来訪
- ・1月 国際診療委員会発足

経営企画室

1 概要

経営企画室は、病院がその社会的な使命を果たすとともに、経営の健全性を確保・維持・向上させていくために、大学病院の高度な判断や意思決定を支援することを目的とする。

2 業務内容

病院内外の情報を戦略的・集中的に管理し、大学病院の経営業務に関連する企画、立案、事業計画、予算、調整に係る業務を行う。

- (1) 業務監督ボードに関する事
- (2) 病院執行部の判断や意思決定を支援すること
- (3) 大学病院の経営に関する企画、立案、事業計画、予算、調整に関する事
- (4) 組織編成に係る企画、調整、支援に関する事
- (5) 病院長選出手続きに関する事
- (6) 立入検査や病院開設許可に関する事
- (7) 室料差額等の料金設定に関する事

3 活動実績・取り組み

(1) 病院業務監督ボードの運営

ボード会議を 11 回（8 月を除く毎月）開催した。主な議題は、以下のとおり。

- ア 2022 年度病院決算報告
- イ 高額医療機器・備品等の購入に関する事項
- ウ 医療安全に関する事項
- エ 病床の適切な配分と運用に関する事項
- オ 次期副病院長・病院長補佐の審査
- カ 予防医療センター拡張移転に関する事項
- キ 医師働き方改革の取り組みに関する事項
- ク 2024 年度病院事業計画・予算に関する事項

(2) 2022 年度病院決算

(3) 2022 年度病院事業計画の点検・評価

(4) 病院長選出手続き

2023 年 5 月 1 日付で、塾長のもとに病院長適任者選考委員会を設置し、次期病院長の選出手続きを行った。

（病院長任期：2023 年 10 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）

(5) 立入検査（特定機能病院・東京都）

2023 年 10 月 25 日、医療法第 25 条に基づく立入検査（特定機能病院・東京都）が実施され、書類作成や当日の運営等の対応を行った。

(6) 病院開設許可（届出）事項一部変更届に係る行政手続き

(7) 病院内の法令等遵守状況に関するアンケート調査

病院組織体制の整備状況や遵守すべき法令等に関する認知度、関係法令規則に対する対応状況等の把握と今後の改善を目的として、病院教職員を対象に「病院内の法令等遵守状況に関するアンケート調査」が実施さ

れた。調査実施者である業務監査室と協働し、準備作業等の支援を行った。

(8)2024 年度病院事業計画策定・予算の編成

(9)診療科ヒアリング

各診療科の診療実績の振り返り、次年度事業目標等の共有を主な目的として、病院長によるヒアリングを毎年実施している。秘書課と協働し、2023 年 11 月～2024 年 3 月にかけて全 31 回（診療科部門 29、診療施設部門 2）のヒアリングを実施した。

医事統括室

1 概要

医事統括室は、総合案内にはじまり、受付、診療費の請求、会計、診療記録の管理等、患者さんに直接的・間接的に関わる多くの業務を行っている部門である。円滑な診療を患者さんに提供すると共に、健康保険法その他の保険医療各法、保険医療機関及び保険医療養担当規則に基づき、診療報酬請求業務を円滑かつ適正に実施することにより、大学病院の運営に寄与することを目的とする。

近年では、医師事務作業補助者（メディカルアシスタント：MA）の人員拡大や診療情報管理士業務の見直しにより、現場のスムーズな医療サービスの提供と診療情報の質向上に貢献している。

2 業務内容

- ・診療の受付・予約業務
- ・外来診察室等の管理・運用
- ・外来予約センター（コールセンター）の運営
- ・診療報酬等の計算・請求
- ・診療報酬等の会計・収納・債権管理
- ・保険診療の施設基準・保険外併用療養費等に関する業務
- ・診療記録等の登録・管理・監査・開示
- ・診療情報の管理・統計・分析に関する業務
- ・クオリティインディケーターに関する業務
- ・医師事務作業補助業務
- ・診療に関する各種診断書・証明書等の発行
- ・3号館3階外来の管理・運営
- ・腫瘍センターの運営
- ・医師等の当直・オンコール表作成業務
- ・所掌する外部委託業務従事者の指導
- ・その他、医療事務に関すること

3 活動実績・取り組み

- ・経営分析ソフトセコム SMASH 導入
- ・マイナンバーカードのオンライン資格確認開始
- ・3B 受付混雑緩和のための分散化
- ・返戻レセプト オンライン提出開始
- ・医師事務作業補助者の名称をメディカルアシスタント（MA）に統一
- ・初診予約 WEB 申込フォーム運用開始
- ・入院時記録フォーマットの作成
- ・未収金回収業務委託開始（一番町綜合法律事務所）

秘書課

1 概要

秘書課は、大学病院担当常任理事、病院長、事務局長の秘書業務を行い、院内各組織とのコミュニケーション支援を行うことを目的とする。

2 業務内容

大学病院担当常任理事、病院長、事務局長の秘書業務全般を担当し、病院運営会議等の会議の事務局業務、外部からの各種要請対応、その他特命事項を行う。

- (1) 大学病院担当常任理事、病院長、事務局長の秘書業務全般に関すること。
- (2) 事務局長当直ならびに当直日誌に関すること。
- (3) 病院執行部会議に関すること。
- (4) 病院運営会議に関すること。
- (5) 外部からの各種要請に関すること。

3 活動実績・取り組み

- (1) 松本守雄病院長 2 期目就任に関する秘書業務

2023 年 10 月 1 日付で、松本守雄病院長が 2 期目となる病院長に再任された。病院長任期と連動する院内各役職交代に伴うサポートを含め、秘書業務全般を担当した。

- (2) 新型コロナウイルス感染症関係の事務局業務

2020 年の新型コロナウイルス感染症発生以降、院内の新型コロナウイルス対策コアミーティングの事務局業務、東京都保健医療局主催の新型コロナウイルス感染症対応に係る情報交換会への出席などを担当した。2023 年 5 月 8 日に感染症法上の位置付けが 5 類感染症に移行し、行政の体制も段階的に縮小、通常の医療提供体制での対応となったことを踏まえ、2024 年 3 月には対応を終了した。

- (3) 各種会議の事務局業務

2023 年度は、病院執行部会議を 43 回、病院運営会議を 12 回開催し、この事務局業務を行った。また、昨年度に引き続き、病院長院内ラウンド事務局や、石井緊急医療基金事務局業務を行った。

- (4) 医療環境整備資金にかかわる業務

医療環境整備資金への寄付のご相談やお礼状の発送、2022 年度活動報告作成の調整役、チラシ改訂などを対応した。

総務課

1 概要

総務課は、病院の業務が適正かつ円滑に執り行われることを目的とし、各種事務手続き、文書管理、電話交換などの業務を行う。また、法務・個人情報の担当として病院のリスクマネジメントを行うこと、広報担当として患者さんやそのご家族、社会全般に対して、病院の情報を正しく適切に発信することも目的とする。

2 業務内容

- (1) 総務

文書の管理、院内周知文書の印刷配布、病院内での押印手続、郵便や配達物、調査、会議室管理、公式行事運営、弔事、会議運営、見学、実習、麻薬施用者免許届出

- (2) 法務・個人情報関連
- (3) 広報
- (4) 電話交換業務
- (5) 補助金・事業
- (6) (一社) 慶應医師会の事務支援

3 活動実績・取り組み

- (1) 予防医療センター拡張移転に関する情報発信

予防医療センターの麻布台ヒルズ森 JP タワーへの拡張移転について、病院 Web サイトおよび病院広報誌を通じて周知を行った。また、関連する取材対応を行い、予防医療センターの新たな取り組みや施設機能について情報発信を行った。

- (2) 災害医療支援に関する情報発信

能登半島地震の被災地への医療支援として、災害派遣医療チーム (DMAT) を派遣したことについて、病院 Web サイトで公表した。あわせて、病院広報誌にも掲載し、当院の災害医療支援に関する取り組みについて情報発信を行った。

- (3) AI ホスピタルに関する視察対応

加藤厚生労働大臣による、AI 技術を活用した当院の取り組みに関する視察について、関係部署と連携して受入対応を行うとともに、病院 Web サイトで公表した。

人事課

1 概要

教職員の採用・任免・異動、出退勤・労務管理、研修、給与支払ならびに福利厚生等の事務を取り扱うことによって、教職員の就労環境を整えるとともに、病院の運営に資することを目的とする。

2 業務内容

主に以下の事項を分掌する。

- (1) 服務および勤務条件に関すること。
- (2) 採用に関すること。
- (3) 給与・報酬・賃金・旅費・災害補償等に関すること。
- (4) 任免に関すること。
- (5) 福利厚生に関すること。
- (6) 人材育成や研修に関すること。
- (7) 安全衛生管理に関すること。
- (8) 労務管理に関すること。

3 活動実績・取り組み

- (1) 助教 (育児支援) の適用範囲を拡大し、男性も対象とした。
- (2) 看護部と協働しながら特定病棟の看護師等の勤務体制として、2 交代制を導入した。

(3)キャリア開発室と協働しながら 2024 年度から始まる医師の時間外労働時間上限規制に向け、適正な体制作りや準備を進め特定労務管理対象機関の指定を受けた。

管財課

1 概要

管財課は、病院運営に必要な物品の調達や支払、敷地における施設・設備の整備、およびそれらの管理を行うとともに、防災防犯の体制確保・強化に努めることをもって病院の円滑な運営に資することを目的とする。

2 業務内容

- (1)経常費等による物品・役務の調達に関すること。
- (2)納品・検収に関すること。
- (3)財産の管理に関すること。
- (4)工事、委託、賃貸借、物品購入の契約事務に関すること。
- (5)防災・防犯に関すること。
- (6)施設・駐車場の整備・管理に関すること。
- (7)清掃・廃棄物処理に関すること。
- (8)所掌する外部委託業務従事者の指導に関すること

3 活動実績・取り組み

(1)用度担当

- ア 予防医療センター移転に伴う機器・備品等の購入および移転作業
- イ 経常費・各種外部資金・補助金等による機器備品購入・委託契約等の管理
- ウ 支出予算管理・決算処理
- エ 新会計システム運用開始
- オ パンデミックや地域紛争等による原材料高騰、人件費増に起因する委託費の上昇圧力に対し、取引業者と継続的な交渉を通じて支出費用の圧縮に努めた。

(2)環境担当

- ア エネルギー価格高騰対策として全館の設備運用を再検討し、節電・省エネルギーに取り組んだ。
- イ 下記の各工事に係る計画および工事実施に伴う管理を行った。
 - ① 大学病院 2 号館地下 1 階～3 階南側洗面所改修工事
 - ② 麻布台ヒルズ森 JP タワー 7 階未来予防医療・ウェルネス共同研究講座研究室など整備工事
 - ③ 大学病院 3 号館南棟 3 階予防医療センター跡地外来診察室およびラウンジ整備工事
 - ④ 大学病院 1 号館 1 階ホスピタルモール内診察室兼待合室整備工事

(3)防災防犯担当

- ア 消防計画に基づく対応
 - ① 自衛消防訓練（消防署届出のもの）を 14 件実施した。
 - ② 防火防災・防犯管理委員会を 11 回実施した。
- イ 院内 DMAT 隊員と協働し、災害時に医療を継続するための実働訓練を実施した。（BCP 関連）
- ウ 能登半島地震への災害支援のための DMAT 隊ならびに JMAT 派遣に際し窓口となり後方支援した。

経理課

1 概要

経理課は、病院における会計諸取引を正確かつ迅速に処理し、財政に関する各種報告書（事業活動収支計算書、資金収支計算書）を作成し、もって病院の運営に資することを目的とする。

2 業務内容

- (1) 経理に関すること
- (2) 大学病院の予算総括ならびに決算に関すること
- (3) 監査に関すること
- (4) 税務申告に関すること
- (5) 金銭等の出納に関すること

3 活動実績・取り組み

- (1) 各種資金の受け入れ・管理
 - ア 緊急医療体制支援積立金
 - イ 慶應義塾大学病院医療支援資金
 - ウ 慶應義塾大学緊急医療体制支援特別事業
 - エ 石井緊急医療基金
 - オ 慶應義塾医療環境整備資金
- (2) 病院予算・決算
- (3) 監査対応（監事による病院監査、監査法人監査、業務監査室監査）
- (4) 新会計システム（Dr.Budget、Campus Plan）導入

キャリア開発室

1 概要

キャリア開発室は、メディカルスタッフの専門職キャリア開発活動を支援し、総合力を備えた専門性の高い医療人を育成することを目的とする。なお、職種ごとの専門能力の開発は、各部門の主体的な活動を尊重する。

2 業務内容

- (1) メディカルスタッフのキャリア支援に関すること
- (2) メディカルスタッフの教育・人材育成・研修に関すること
- (3) キャンパス系技術員のキャリア支援に関すること
- (4) 人事課と共同し、医師働き方改革に関すること
- (5) 経営企画室、医療安全管理部と共同し、病院機能評価に関すること

3 活動実績・取り組み

- (1) メディカルスタッフを対象に、チーム医療の中で役割発揮できるリーダーを育成することを目的とした「現場力向上ワークショップ」の企画運営を行なった。本年度第10期生5名が2年間の研修を修了、累

計で研修修了生は 11 部門 60 名となった。

- (2) 研修運営委員とともに、各部門のキャリアラダーとその教育プログラム、評価システムの拡充に取り組んだ。
- (3) 慶應 BLS プロバイダーコース事務局として、BLS 受講管理を行なった。医師 163 名、看護師 317 名、事務・コメディカル 303 名、合計 783 名（当年受講予定者の 98.3%）に加えて、委託・派遣スタッフの 65 名が受講した。

- (4) 医師働き方改革事務局を人事課と担い、下記の取り組みを行った。

ア 労務管理担当マネージャー会議の企画運営、夜間休日診療体制検討 WG、タスクシェア/タスクシフティング検討 WG の活動を支援した。

イ 2024 年 4 月に施行される医師の時間外労働上限規制に向け、ガイドラインに沿って適正化に取り組み、令和 6 年 3 月 6 日付けで東京都より特定地域医療提供機関（B 水準）および連携型特定地域医療提供機関（連携 B 水準）の指定を受けた。

- ・「2024 年度医師の労働時間短縮計画」を作成した。
- ・内科第 1 当直の宿日直許可申請を行った。
- ・労働時間の実績と診療科ヒアリングより、特例水準を適用する 10 診療科を特定した。
- ・若手医師との意見交換会、病院勤務医師を対象とした講習会、アンケート調査などを実施し、臨床現場からの意見の吸い上げと共に、制度に関する周知を行った。
- ・保健管理センター産業医による面接指導実施体制を構築し、1 月より長時間労働医師への面接指導を開始した。
- ・「労働時間と自己研鑽の考え方」「連続勤務時間制限と勤務間インターバル、代償休息について」「労務管理担当マネージャー会議内規」を改正した。
- ・労務管理担当マネージャーに対する管理者研修を実施した。

ウ 医事統括室はメディカルクラークの業務拡大や夜間救急外来における看護師資格保有者による電話対応の開始、看護師による処置実施範囲の拡大（化学療法用ライン確保が可能なライセンス保有者の育成継続、男性の導尿や胃管抜去などの開始、他）、臨床検査技術室は翌朝採血管準備の締切時間の延長など、関連部門の取り組みによりタスクシフトが促進された。

エ 当直室の利用実績に基づく運用変更を行った。

オ 「病院勤務医の負担軽減および処遇の改善に資する計画」の改正を行った。

- (5) 次年度の医師業務マニュアルの作成および病棟責任医師の更新を行った。

- (6) 病院機能評価 WG の事務局を経営企画室、医療安全管理部と共に担い、院内における質改善活動を支援した。

学術研究支援課

1 概要

病院学術研究支援課は、病院が実施する臨床研究や治験、学術研究事業の事務を行うとともに臨床研究推進センター、臨床研究監理センターの事務局として、臨床研究中核病院と橋渡し研究支援機関の事務支援を行う。また、治験事務局業務や臨床研究に関する各種委員会事務局を担当する。

2 業務内容

- (1) 臨床研究推進センター、臨床研究監理センター事務局
- (2) 臨床研究中核病院 事務局
- (3) 橋渡し研究支援機関 事務局
- (4) 病院学術研究事業の業務（AI ホスピタル事業や厚生労働省「中小企業イノベーション創出推進事業」など）
- (5) 治験事務局（治験審査委員会・医師主導治験審査委員会 事務局含む）
- (6) 臨床研究に関する各種委員会事務局

3 活動実績・取り組み

- (1) 臨床研究中核病院、橋渡し研究支援機関等の業務を行い、大学病院における臨床研究、治験、再生医療等の事務、患者申出療養ならびに先進医療の申請等の業務を行った。
- (2) 治験関連文書を電磁的に取り扱うため、2023 年 4 月新規申請分よりクラウドシステム「DDworks Trial Site」が稼働した。

調達会計課

1 概要

病院研究費等の管理、諸活動に必要な物品、役務の調達、予算執行および会計業務を統括することによって、病院の円滑な運営に資することを目的とする。

2 業務内容

主に病院研究費等に関する以下の事項を分掌する

- (1) 支出予算に関すること
- (2) 会計業務に関すること
- (3) 研究費の申請、受け入れ、報告等に関すること
- (4) 業務委託契約の締結に関すること
- (5) 備品（固定資産）等の発注に関すること
- (6) リース契約の締結に関すること

3 活動実績・取り組み

- (1) 2023 年度の調達会計課発足に伴う関連部門との業務分掌を行った。
- (2) 新会計システム導入に伴う会計業務および運用の平準化と安定化に取り組んだ。
- (3) 電子帳簿保存法、インボイス制度の施行を見据え、会計業務の DX 化を推進した。
- (4) 各種法令等に準拠した電子購買システムの内製化を行った。
- (5) 会計業務の一部アウトソーシング化による新たな業務体制を構築した。
- (6) 研究費等の迅速かつ適正な執行判断をするため業務効率の底上げに取り組んだ。
- (7) 精緻な予算編成と健全な決算業務を実施した。

慶應義塾大学病院 病院年報

2023 年度

発行：慶應義塾大学病院